

答 申 第 6 1 号
平成21年5月11日

大阪府知事
橋 下 徹 様

大阪府環境審議
会長 奥野 武



河川水質環境基準に係る類型指定について (答申)

平成20年11月7日付け環保第1950号で諮問のあった標記について、
別添のとおり答申します。

河川水質環境基準に係る類型指定について

(答 申)

平成21年5月

大阪府環境審議会

目次

1 .	はじめに	1
2 .	BOD等5項目に係る類型の改定について	2
2-1	BOD等5項目の環境基準と類型指定状況	2
2-2	BOD等5項目の環境基準達成状況	2
(1)	BODの環境基準達成状況	2
(2)	pHの環境基準達成状況	2
(3)	DOの環境基準達成状況	3
(4)	SSの環境基準達成状況	4
(5)	大腸菌群数の環境基準達成状況	5
2-3	府内河川の概要と利用状況等	5
2-4	BOD等5項目の類型改定の基本的な考え方	18
2-5	BOD等5項目の類型改定検討結果	20
3 .	水生生物の保全に関する項目の類型指定について	27
3-1	水生生物の保全に関する項目について	27
(1)	水生生物の保全に関する項目の環境基準について	27
(2)	水生生物の保全に関する項目に係る類型の当てはめ状況等	28
3-2	府内河川の水質等の状況	28
(1)	全亜鉛濃度の測定結果	28
(2)	河川水温の測定結果	29
(3)	大阪府内河川に生息している魚類について	29
3-3	水生生物の保全に関する項目の類型指定の基本的な考え方	30
3-4	水生生物の保全に関する項目の類型指定検討結果	31
4 .	まとめ	33

資 料

1	河川の水質環境基準（生活環境項目）の類型指定状況	・・・	資 1
2	河川水質環境基準に係る類型指定・改定の経緯	・・・	資 2
3	河川の水質環境基準達成状況	・・・	資 3
4	BOD年平均値の経年変化	・・・	資 4
5	BOD75%値の経年変化	・・・	資 5
6	河川水質（pH、DO）調査結果（平成19年度）	・・・	資 6
7	河川水質（BOD、大腸菌群数）調査結果（平成19年度）	・・・	資 7
8	中央環境審議会水環境部会（H14.5.17）議事概要	・・・	資 8
9	大腸菌群数に係る環境基準超過事例について	・・・	資 9
10	河川水質（全亜鉛）調査結果概要（平成19年度）	・・・	資 10
11	大阪府内河川の水温	・・・	資 11
12	大阪府内に生息している魚類	・・・	資 12
13	水生生物の保全に関する項目に係る【生物A】の指定 についての検討結果	・・・	資 13
14	水生生物の保全に関する項目の達成期間について の検討結果	・・・	資 14

参 考

1	河川の水質環境基準（生活環境の保全に関する項目）	・・・	参 1
2	審議経過	・・・	参 2
3	大阪府環境審議会委員・臨時委員	・・・	参 3
4	水質環境基準部会委員	・・・	参 4
5	河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）（写）	・・・	参 5

1. はじめに

河川水質の環境基準は、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づき設定されており、その達成・維持が水質保全行政の目標となるものである。

水質汚濁に係る環境基準については、人の健康の保護に関する項目（健康項目）と生活環境の保全に関する項目（生活環境項目）の2つがある。

健康項目については、カドミウム、鉛等の26項目が、河川や湖、海など全ての公共用水域について全国一律に環境基準が設定されている。

一方、生活環境項目については、人の生活に密接な関係のある財産並びに人の生活に密接な関係のある動植物及びその生育・生息環境を含む生活環境を保全するため、河川、湖沼及び海域の利用目的に対応して複数の類型が設けられ、類型ごとに環境基準値が定められている。

各水域の類型については、2以上の都道府県の区域にわたる水域については環境大臣が、それ以外の水域については都道府県知事が指定することとされており、大阪府域の場合、府県をまたがる4河川（淀川、神崎川、猪名川、大和川）については環境大臣が、それ以外の河川については大阪府知事が類型を指定している。

生活環境項目のうち、BOD、pH、DO、SS、大腸菌群数（BOD等5項目）の類型については、昭和45年に国が26水域について指定を行って以来、各水域の利用目的や水質等の変化に応じて適宜、追加指定や改定が行われている。

また、平成15年11月には、生活環境項目の中に、水生生物の保全に関する項目が追加設定され、全垂鉛についての環境基準値が設定されている。

大阪府においては、BOD等5項目について、平成15年5月の類型改定以降5年を経過し、各河川の水質などの状況も変化していると考えられること、水生生物の保全に関する項目についても水質の状況等の把握が行われてきていることから、平成20年11月に、大阪府知事が、府内河川の類型指定について、本審議会に諮問した。

本審議会では、本件について専門的見地からの検討を行うため、水質環境基準部会を設置した。同部会は、3回の会議を持ち検討を進め、平成21年3月26日に検討結果をとりまとめた。本審議会では、この部会の検討結果について報告を受け、検討を行った結果、その内容が適当であるとの結論を得たので、ここに答申する。

2. BOD等5項目に係る類型の改定について

2-1 BOD等5項目の環境基準と類型指定状況

BOD等5項目の河川水質環境基準については、水道、水産、農業用水など利用目的の適応性に対応してAA及びA～Eの6つの類型が設定されており、大阪府域では、昭和45年以降、順次、類型の当てはめや改定が行われてきた。現在、淀川、神崎川、猪名川及び大和川の4河川・7水域について環境大臣が、その他の69河川・73水域については大阪府知事が、個々の水域の利用目的や水質汚濁の状況等に応じてA～Eの類型を指定している(計73河川・80水域)。大阪府内河川の類型別の内訳は、A類型22水域、B類型27水域、C類型14水域、D類型10水域、E類型7水域となっている。(資料1、資料2)

2-2 BOD等5項目の環境基準達成状況について

(1) BODの環境基準達成状況

BODの環境基準値は、AA類型：1mg/L以下、A類型：2mg/L以下、B類型：3mg/L以下、C類型：5mg/L以下、D類型：8mg/L以下、E類型：10mg/L以下となっている。

大阪府の公共用水域水質調査では、6時間間隔で4回試料を採取し、混合試料についてBODの測定を行っている。類型指定された水域におけるBODの環境基準達成状況の評価については、当該水域の環境基準点における日間平均値の年間75%値が当該水域にあてはめられた類型の環境基準値以下の場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。複数の環境基準点をもつ水域においては、当該水域内のすべての環境基準点において、環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

過去5年間のBODの環境基準達成状況を資料3、BOD年平均値を資料4、BOD75%値を資料5に示す。平成19年度は、府内80水域のうち環境基準を達成した水域は58水域(環境基準達成率:72.5%)で、類型別にみるとA類型が22水域中19水域(86.4%)、B類型が27水域中18水域(66.7%)、C類型が14水域中11水域(78.6%)、D類型が10水域中4水域(40.0%)、E類型が7水域中6水域(85.7%)となっている。(資料3、資料4、資料5)

(2) pHの環境基準達成状況

pHの環境基準値は、AA～C類型が6.5以上8.5以下、D・E類

型が 6.0 以上 8.5 以下と定められている。

大阪府の公共用水域水質調査では、6 時間間隔で 4 回試料を採取し、個々の試料について pH の測定を行っている。

平成 19 年度は、調査を行った 3,827 検体のうち 299 検体が pH の環境基準に不適合であった（不適合割合 8 %）。環境基準点 94 地点中、1 回以上環境基準の不適合があったのは、39 地点であった。

不適合状況を類型別にみると、A・B 類型の河川における不適合が大半を占めている。

不適合状況を水系別にみると、淀川水系、神崎川水系、大和川水系で環境基準の不適合が多くみられる一方で、寝屋川水系及び大阪市内河川における不適合はほとんどみられない。

基準値の不適合は、いずれも pH が 8.5 を超えたもので、水質の良好な A・B 類型の水深が比較的浅い水域が大半を占めていること、基準値を超過している際には DO の値も高い傾向が顕著にみられることなどから、光合成による影響が大きいものと考えられる。（資料 6）

（ 3 ） DO の環境基準達成状況

DO の環境基準値は、A A・A 類型が 7.5mg/L 以上、B・C 類型が 5 mg/L 以上、D・E 類型が 2 mg/L 以上である。

大阪府の公共用水域水質調査では、6 時間間隔で 4 回試料を採取し、午後 3 時に最も近い採取時の試料について DO の測定を行っている。

平成 19 年度は、調査を行った 1,112 検体のうち 45 検体で DO の環境基準値を下回っていた（不適合割合 4 %）。淀川、神崎川、大和川水系では環境基準の不適合はなく、寝屋川水系、大阪市内河川、泉州諸河川で環境基準値を下回る値がみられた。類型別にみると、E 類型の河川水域のみ環境基準の不適合はみられなかった。

D O の環境基準不適合状況【水系別】 (平成 19 年度)

水系	不適合検体数 / 調査検体数 (%)	不適合地点数 / 環境基準点数 (%)
淀川水系	0 / 164 (0%)	0 / 15 (0%)
神崎川水系	0 / 240 (0%)	0 / 20 (0%)
寝屋川水系	6 / 108 (6%)	4 / 9 (44%)
大阪市内河川	21 / 144 (15%)	11 / 12 (92%)
大和川水系	0 / 168 (0%)	0 / 14 (0%)
泉州諸河川	18 / 288 (6%)	7 / 24 (29%)
計	45 / 1112 (4%)	22 / 94 (23%)

環境基準点については、年に 1 回でも基準不適合があれば不適合と評価した。

D O の環境基準不適合状況【類型別】 (平成 19 年度)

類型	不適合検体数 / 調査検体数 (%)	不適合地点数 / 環境基準点数 (%)
A	18 / 264 (7%)	7 / 22 (32%)
B	5 / 428 (1%)	4 / 37 (11%)
C	16 / 180 (9%)	7 / 15 (47%)
D	6 / 156 (4%)	4 / 13 (31%)
E	0 / 84 (0%)	0 / 7 (0%)
計	45 / 1112 (4%)	22 / 94 (23%)

環境基準点については、年に 1 回でも基準不適合があれば不適合と評価した。

(4) S S の環境基準達成状況

S S の環境基準値は、A A ~ B 類型で 25mg/L 以下、C 類型で 50mg/L 以下、D 類型で 100mg/L 以下、E 類型では「ごみ等の浮遊が認められないこと」となっている。

大阪府の公共用水域水質調査では、6 時間間隔で 4 回試料を採取し、混合試料について S S の測定を行っている。

平成 19 年度は、大津川上流 (B 類型) 及び櫛井川上流 (B 類型) の 2 地点 (3 検体) で、S S の環境基準値の超過がみられた。

過去 5 年間に環境基準の超過があった地点の状況は以下のとおりで、A 類型又は B 類型の地点での超過が大半を占めている。

平成 19 年度：2 地点 (B 類型 2 地点)

平成 18 年度：5 地点 (A 類型 2 地点、B 類型 3 地点)

平成 17 年度：5 地点 (A 類型 1 地点、B 類型 4 地点)

平成 16 年度：3 地点（B 類型 3 地点）

平成 15 年度：7 地点（A 類型 4 地点、B 類型 2 地点、C 類型 1 地点）

（5）大腸菌群数の環境基準達成状況

大腸菌群数の環境基準値は、A 類型が 50MPN/100mL 以下、A 類型が 1,000MPN/100mL 以下、B 類型が 5,000MPN/100mL 以下であり、C～E 類型では設定されていない。

大阪府の公共用水域水質調査では、6 時間間隔で 4 回試料を採取し、午後 3 時に最も近い採取時の試料について、大腸菌群数の測定を行っている。

平成 19 年度は、大腸菌群数の測定を行っている A、B 類型のほとんどの地点で環境基準値を超過する値がみられた（西除川 狭山池流出端（B 類型）のみ超過なし）。（資料 7）

大腸菌群数については、中央環境審議会においても指標としての意義や適切な対策等について議論があり、環境省においても基準の見直しも含めた検討が行われているが、現時点では、具体的な考え方や対応案は示されていない。（資料 8）

また、BOD と大腸菌群数の個々のデータ間には直接的な相関は見られないものの、大腸菌群数についても下水道整備を中心とした生活排水対策が進捗した水域については BOD と同様の改善傾向がみられる。一方、人為的な有機物による汚濁負荷がもともと小さい水域については、大腸菌群数の改善が進みにくい状況にあるといえる。（資料 9）

2-3 府内河川の概要と利用状況等

現在、府域では計 80 水域について類型指定がされているが、淀川水系（9 水域）、神崎川水系（17 水域）、寝屋川水系（6 水域）、大阪市内河川（12 水域）、大和川水系（12 水域）、泉州諸河川（24 水域）の 6 水系に大別され、水系によって水質の状況や類型指定の状況が異なっている。

BOD 等 5 項目の類型改定の検討に先立って、各水系の特性を考慮する必要があることから、各水系の概要、類型指定の経緯、利用状況の変化等をもとに各水域の“目指すべき類型”を整理し、現在の類型との比較を行うとともに、各水域の近年（平成 15～19 年度）の水質の状況の変化をとりまとめた。

各水系の概要は以下のとおりである。

【淀川水系】

淀川水系は、淀川本川の2水域（淀川下流(1)、淀川下流(2)）、淀川左岸側の支川3水域（船橋川、穂谷川、天野川）、淀川右岸側の支川4水域（檜尾川、芥川(1)、芥川(2)、水無瀬川）の9水域で、淀川本川の2水域を除く7水域が今回の検討対象である。

これらの7水域は、いずれも水道3級相当の上水道水源として利用されている淀川下流(1)の支川であることから、「B類型以上」が“目指すべき類型”と考えられる水域であるが、既に全ての水域がB類型以上に指定されている。

淀川左岸側の船橋川、穂谷川、天野川（いずれもB類型）は、長期的には改善傾向がみられるものの、未達成の状況が続いている。

右岸側の檜尾川（B類型）は、最近4年間達成している。

芥川(1)、芥川(2)、水無瀬川の3水域は現在のA類型を達成しているなど、良好な水質が維持されている。

【神崎川水系】

神崎川水系は、神崎川とその支川7水域（安威川上流、安威川下流(1)、安威川下流(2)、安威川下流(3)、佐保川及び茨木川、大正川、勝尾寺川）、猪名川本川の2水域（猪名川上流、猪名川下流(2)）、猪名川の支川7水域（箕面川(1)、箕面川(2)、余野川、千里川、田尻川、一庫・大路次川、山辺川）の計17水域で、神崎川、猪名川上流、猪名川下流(2)を除く14水域が今回の検討対象である。

このうち、神崎川の支川の7水域は、本川である神崎川がB類型に指定されていることから、「B類型以上」が“目指すべき類型”と考えられる水域であるが、安威川下流(3)については現在C類型となっている。（他の6水域は既にB類型以上となっている。）

安威川上流は、現在のA類型を達成しているなど、良好な水質が維持されている。

現在B類型の安威川下流(1)、安威川下流(2)、佐保川及び茨木川、大正川、勝尾寺川の5水域は、上位のA類型も達成している状況となっている。

安威川下流(3)は、現在C類型であるが、上位のB類型も概ね達成している状況となっている。

猪名川の支川の7水域は、既に全てA類型であり、これを継続して達成しているなど、良好な水質が維持されている。

【寝屋川水系】

寝屋川水系は、寝屋川とその支川の恩智川、古川、第二寝屋川と第二寝屋川の支川の平野川及び平野川分水路の6水域で、寝屋川は、大阪市内で大川に合流する。

水系全体として、固有水量が少なく、低勾配であること、下流部は感潮域であることなどから、水質改善が進みにくい水域となっている。

寝屋川水系の6水域は、都市域を流下する水域であり、水質の状況等を踏まえて現在はD類型に指定されている。しかしながら、一部の水域では親水性に配慮した事業なども実施されているほか、全般的に身近な河川への注目度も高まってきていることなどから、水系全体として魚の生息に良好とされる類型（C類型以上）が“目指すべき類型”と考えられる。

寝屋川の上流部（住道大橋より上流）については、淀川からの導水や渚水みらいセンターの高度処理水の導水が行われるなどもあり、上位のC類型の達成が見込まれる状況にあり、親水性に配慮した事業も実施されている。

恩智川、古川については、長期的には改善傾向がみられるが、D類型を安定して達成しているとはいえない状況である。

第二寝屋川については、長期的には改善傾向がみられ、近年はD類型を安定して達成している。

平野川、平野川分水路については、安定した改善傾向はみられず、D類型を安定して達成しているとはいえない状況である。

【大阪市内河川】

大阪市内を縦横に流れる河川群で、12水域が類型指定されている。このうち、大川は淀川からの分流を受けている。土佐堀川は上流域の寝屋川の水質の影響を大きく受けている。

大阪市内河川は、全ての流域が都市域である河川であり、護岸等の河川の形態や利用目的からはC類型が適当と考えられる水域である。しかしながら、大阪市内河川の流域は既に下水道もほぼ100%整備されているほか、近年は水の回廊といわれる部分を中心として、都市域の潤いの場等としての注目度も高まっている。また、12水域のうち、大川等5水域については、既に、都市域の潤いの場としての利用に十分対応したB類型になっている。これらを考慮すると、現状においては

底質の状況や護岸など、親水性に乏しい状況にある区間もあるものの全水域ともB類型の達成・維持を目標とすることが望ましい。

既にB類型の5水域のうち、大川、道頓堀川、六軒家川、安治川については、安定して達成している状況である。

堂島川については、上流域の寝屋川水系の水質の影響もあり、現在のB類型を安定して達成しているとはいえないが、最近10年間のBOD年平均値は2～3mg/L程度で安定している。

現在C類型の7水域のうち、正蓮寺川、尻無川、木津川、木津川運河、住吉川、東横堀川の6水域については、上位のB類型も概ね達成している状況となっている。

土佐堀川は、上流域の寝屋川水系の水質の影響を大きく受けることから、現在のC類型は概ね達成しているものの、現状では上位のB類型の安定した達成は見込みにくい状況となっている。

【大和川水系】

大和川水系は、大和川本川の2水域（大和川中流、大和川下流）、大和川の支川である石川、東除川、西除川（西除川(1)、西除川(2)）と石川の支川である千早川、天見川、石見川、飛鳥川、梅川、佐備川の計12水域で、大和川本川の2水域を除く10水域が今回の検討対象である。

石川及び石川の支川の計7水域については、石川本川が「水産2級相当（サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用）」に適應しているとされるB類型に指定されていることから、全ての水域がB類型以上が“目指すべき類型”と考えられるが、飛鳥川、佐備川の2水域は現在C類型となっている。（他の4水域は既にB類型以上となっている。）

この7水域のうち、千早川、石見川は、既にA類型でありこれを達成しているなど、良好な水質が維持されている。

石川については、B類型を達成、BODの年平均値も2mg/L程度で安定している。

天見川については、BODの年平均値は3～4mg/L程度と横ばいで、B類型は未達成の状況である。

梅川は、上位のA類型も達成している状況となっている。

飛鳥川は、BODの年平均値は5～6mg/L程度と横ばいで、現在のC類型が達成されていない状況である。

佐備川は、BODの年平均値は3 mg/L程度で安定しており、C類型は連続して達成しているが、現状では上位のB類型の達成は見込めない状況である。

東除川及び西除川は、都市域を流下する水域であり、現状の水質の状況等を踏まえ、東除川はC類型、西除川の上流部（西除川(1)）はB類型、西除川の下流部（西除川(2)）はD類型に指定されている。しかしながら、府民の身近な河川への関心を高めるためにも、全水域が魚の生息に良好とされるC類型以上となることが“目指すべき類型”であると考えられる。

東除川については、既にC類型となっているが、長期的な改善傾向はみられるものの、未達成の状況である。

西除川(1)については、長期的な改善傾向がみられ、B類型を概ね達成している状況にある。

西除川(2)については、長期的な改善傾向はみられるものの、D類型は未達成の状況である。

【泉州諸河川】

泉州諸河川については、石津川、大津川、春木川、津田川、近木川、見出川、佐野川、樫井川、男里川、番川、大川、東川、西川の13河川及びその支流の24水域について類型指定されている。

このうち、特に、津田川、見出川、佐野川など泉州中部の河川の流域は、他の地域と比べて下水道整備が遅れている。男里川以南の河川のうち、特に番川以南の4河川は流域人口も少ない。

泉州諸河川のうち、樫井川以北の河川は、いずれも中流・下流域が市街地化した河川であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支川を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。しかしながら、これらの河川についても近年は、身近な河川としての注目度も高まりつつあることから、より良い水質を目指して、上流部及び支川はB類型以上、下流部は魚の生息に良好とされるC類型以上が“目指すべき類型”であると考えられる。

現在、E類型の7水域のうち、石津川、春木川、近木川下流の3水域については、長期的な改善傾向がみられ、既に上位のD類型の達成も見込まれる状況にある。

これに対して、津田川、佐野川、樫井川下流については、E類型は

概ね安定して達成しつつあるが、現状では上位のD類型の達成が見込まれるまでには至っていない。

見出川については、E類型も達成していない状況である。

大津川下流については、D類型を安定して達成しているが、上位のC類型の達成には至っていない。

石津川の支流である和田川については、C類型の達成には至っていない。

上流部または支川の水域である大津川上流、牛滝川、松尾川、槇尾川、父鬼川、近木川上流、櫻井川上流の7水域は、既にB類型以上となっているが、A類型の父鬼川を除き、現在の類型を達成していない状況である。

男里川以南の8水域は、既にA類型に指定されており、そのうち、男里川及びその支川の金熊寺川、菟砥川、山中川の4水域については未達成の状況が続いているが、番川、大川、東川、西川の4水域はA類型も達成し、BOD年平均値も1.5mg/L程度で安定しているなど、良好な水質が維持されている。

上述の内容の詳細について以下にとりまとめた。

各水域の概要 【淀川水系】

水系	区分等	水域名	【現在の類型】	【水系の概要】	【類型指定の経緯】	【利用状況の変化等】	【“目指すべき類型”】 【現在の類型との比較】	【水質の状況の変化】		
								現在の類型 達成状況	上位類型 達成状況	
淀川	淀川（国指定）	淀川下流(1)	B	淀川水系は、淀川本川の2水域（淀川下流(1)、淀川下流(2)）、淀川左岸側の3支川・3水域（船橋川、樟尾川、天野川）、淀川右岸側の3支川・4水域（樟尾川、芥川(1)、芥川(2)、水無瀬川）からなる。	S45: 上水道水源(水道3級相当)であることからB類型に指定されている。 S46: 当時の水質を考慮してD類型に指定 H15: 水質が改善されたことを受けて、現状水質保全のためC類型に改定	淀川下流(1)は、引き続き上水道水源(水道3級相当)として利用されている。 多くの水域で農業用水としての利水があるほか、河川空間等の施設として利用されている。	(検討対象外)	H3以降、連続して達成	【水質の変化等】 (BODの単位: mg/L) 最近5年間は全て上位類型(A類型)も達成しているなど、良好な水質で安定している。 水質は概ね安定しているが、上位類型(B類型)の達成には至っていない。	
		淀川下流(2)	C						過去15年間のBOD5年間平均値は、7.7→7.3→5.7であり、最近5年間はやや改善の傾向がみられる。	
	船橋川	B	淀川下流(1)は、重要な上水道水源(水道3級相当)として古くから利用されている。		芥川、水無瀬川では内水面汚染種が設定され、アユ及びマス類の放流・遊漁が行われている。			現状では上位類型の達成は見込みがない。	過去15年間のBOD5年間平均値は、12→8.3→5.8であり、長期的には改善の傾向がみられる。	
	樟尾川	B	淀川本川の2水域を除く6河川・7水域が今回の検討対象である。	S50: 淀川下流(1)の支川4水域(船橋川、樟尾川、天野川)は、上水道水源として利用されている淀川下流(1)(B類型)の環境基準の達成・維持に支障を及ぼすことのないよう、淀川下流(1)と同じB類型に指定	今後の自然巡迴路の整備、自然環境の復元、水辺空間の健全な創出などが検討されている。			上位類型は、最近5年間で1回達成している程度である、	過去15年間のBOD5年間平均値は、9.3→4.6→2.3であり、特に最近10年間で大幅に改善されたが、上位類型(A類型)の達成には至っていない。	
	樟尾川	B						H15までは未達成が繰り返していたが、最近4年間(H16~H19)は連続して達成している		
	天野川	B		S50: 芥川の上流部については、良好な水質(A類型)を維持するという観点から、A類型に指定					S50の類型指定以上の達成は見込みがない。	過去15年間のBOD5年間平均値は、10→7.1→4.0であり、長期的には改善の傾向がみられる。
	芥川(1)	A		S50: 淀川下流(1)の支川である芥川の下流部については、上水道水源として利用されている淀川下流(1)(B類型)の環境基準の達成・維持に支障を及ぼすことのないよう、淀川下流(1)と同じB類型に指定 H15: その後の水質状況の悪化(B類型達成)に対応して、良好な水質を保全するためA類型に改定					連続して達成	BOD年間平均値も1程度で安定しているなど、良好な水質が維持されている。
	芥川(2)	A								
	水無瀬川	A		H4: 水質が良好(B類型相当)で、水辺環境の整備も行われており、都市生活に於けるうるおいの場となる河川であると考えられることから、現状水質を保全するためA類型に指定						



各河川水域の類型は、平成20年11月時点の内容。以下の表も同じ。

【豊屋川水系】

水系	区分等	水域名	【現在の類型】	【水系の概要】	【類型指定の経緯】	【利用状況の変化等】	【“目指すべき類型”】 【現在の類型との比較】	現在の類型 達成状況	上位類型 達成状況	【水質の状況の変化】 【水質の変化等】 (BODの単位：mg/L)			
豊屋川	豊屋川	豊屋川	D	<p>○豊屋川水系は、豊屋川とその支川の豊屋川、古川、第二豊屋川、豊屋川及び平野川の6水域で、豊屋川は、大塚市内で大川に合流する。</p> <p>○水系全体として、固有水量が少なく、低勾配であることから、下流部は感潮域であることなどから、水質改善が進みにくい。</p> <p>○豊屋川には淀川からの導水がある。</p> <p>○古くから治水対策が重要視されてきた地域で、感潮域では治水緑地や多目的遊水池事業が実施されている。</p>	<p>S46：豊屋川及び豊屋川について、水質保全を目的としてE類型に指定</p> <p>S50：第二豊屋川及び平野川について、水質保全を目的としてE類型に指定</p> <p>H4：古川及び平野川分水路について、水質保全を目的としてE類型に指定</p> <p>H15：6水域とも「国や大阪府及び関係機関が連携して水質改善に取り組むこと」となっており、上位類型の達成が見込まれる」としてD類型に改定</p>	<p>○豊屋川水系では農業用水及び工業用水としての利水があるが、河川空間としては、川とまちが近い堤防により分断され、河川を空間や景観として利用している場所は限られる。</p> <p>○豊屋川の京阪豊屋川駅周辺では多自然川づくり事業が実施され、豊屋川の上流部には遊歩道や遊歩道アトラクションが実施されているなど、全体的には都市環境における身近な河川として注目を集めている。最近下流部にあたる京橋口付近では、緑地等が整備され歩道や階段等が整備されているほか、水上バスも運行されており、大阪の観光ルートとなっている。</p> <p>○今後の水景を生かしたゆとり・うるおいのある空間づくりや親水性の向上、都市を流れる河川のゆとり・安らぎ空間としての整備などが検討されている。</p>	<p>【“目指すべき類型”】 【現在の類型との比較】</p> <p>豊屋川水系の6水域、都市域を流下する水域であるが、水質の状況等を踏まえ、現在のD類型に引き上げられ、豊屋川中流部から、豊屋川中流部までの一部の水質は、親水性に配慮した事業は、河川への注目度も高まってきていることに加え、風の生息に良好とされる類型（C類型以上）の達成・維持を目標とすることが望ましい水域である。</p>	<p>上流部（住道大橋より上流）については、H12以降8年連続して達成している。</p> <p>下流部（住道大橋より下流）については今津橋地点で未達成の状況が続いている。</p> <p>豊屋川中流部（H16～H18）については、H19は未達成であるが、安定して達成しているとはいえない。</p> <p>豊屋川下流部（H15～H16）については、H17は未達成であるが、安定して達成しているとはいえない。</p> <p>豊屋川上流部（H18）については、H18は未達成であるが、安定して達成しているとはいえない。</p>	<p>上流部は、最近4年間のBOD年平均値は、豊屋川は2～3程度、住道大橋は3～4程度であり、いずれの地点も上位類型（C類型）を達成している。</p> <p>下流部の今津橋は、支川の水質や感潮域による影響もあり、豊屋川上流部のBOD年平均値は10程度で、改善の程度が低い。</p> <p>過去15年間のBOD5年間平均値は、19→10→5.9であり、長期的には改善の傾向がみられる。</p> <p>過去15年間のBOD5年間平均値は、11→8.4→7.6であり、長期的には改善の傾向がみられる。</p> <p>過去15年間のBOD5年間平均値は、8.5→6.4→4.8であり、長期的には改善の傾向がみられるが、現状では上位類型（C類型）の達成は見込めない。</p> <p>過去15年間のBOD5年間平均値は、8.2→5.7→7.3であり、安定した改善傾向がみられるが、現状では上位類型（C類型）の達成は見込めない。</p> <p>過去15年間のBOD5年間平均値は、12→7.2→7.3であり、安定した改善傾向がみられるが、現状では上位類型（C類型）の達成は見込めない。</p>				
				豊屋川	D	○水系全体として、固有水量が少なく、低勾配であることなどから、水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。
				豊屋川	D	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。	○水質改善が進みにくい。

【泉州諸河川（樫井川以北）】

水系	区分等	水域名	【現在の類型】	【水系の概要】	【類型指定の経緯】	【利用状況の変化等】	【“目指すべき類型”】 【現在の類型との比較】	【水質の状況の変化】	
泉州諸河川（樫井川以北）	石津川	石津川	E	泉州諸河川については、石津川、春木川、津田川、近木川、見出川、佐野川、樫井川、男里川、番川、大川、栗川、西川の13河川及びその支流の24水域について類型指定を行っている。	S48：水質保全を目的としてE類型に指定 H4：石津川の支流である和田川は水質保全を目的としてC類型に指定	泉州諸河川では、多くの河川で農業排水としての利水は上水道水源として利水がある。空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、13→9.0→6.5で、長期的には改善傾向がみられる。最近5年間は上位類型（D類型）も概ね達成が見込まれる状況にある。 BOD年平均値は6程度で横ばいの状況となっている。
	大津川	大津川上流	B	このうち、特に、津田川、見出川、佐野川など、他の流域と比べて下水調整設備が遅れている。	S48：大津川は、上水道水源としての利用があったことから、その取水口から上流部（大津川上流）及びその支流である牛滝川、松尾川、樫屋川はB類型に指定、父鬼川は当時の良好な水質の保全を目的としてA類型に指定、大津川下流部（高津取水口より下流）については、水質保全を目的としてD類型に指定 （その後、S55、61で大津川の水質悪化のため、上水道水源としての取水は停止（S61.9浄水場廃止）されたが、類型は改定されていない。）	空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、6.8→4.6→2.8であり、長期的には改善傾向がみられる。 過去15年間のBOD5年間平均値は、8.0→5.0→3.7であり、長期的には改善傾向がみられる。 過去15年間のBOD5年間平均値は、7.5→6.0→4.1であり、長期的には改善傾向がみられる。 BOD年平均値は5程度で横ばいの状況となっている。
	大津川の支流	牛滝川	B	牛滝川	S48：大津川は、上水道水源としての利用があったことから、その取水口から上流部（大津川上流）及びその支流である牛滝川、松尾川、樫屋川はB類型に指定、父鬼川は当時の良好な水質の保全を目的としてA類型に指定、大津川下流部（高津取水口より下流）については、水質保全を目的としてD類型に指定 （その後、S55、61で大津川の水質悪化のため、上水道水源としての取水は停止（S61.9浄水場廃止）されたが、類型は改定されていない。）	空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、6.8→4.6→2.8であり、長期的には改善傾向がみられる。 過去15年間のBOD5年間平均値は、8.0→5.0→3.7であり、長期的には改善傾向がみられる。 過去15年間のBOD5年間平均値は、7.5→6.0→4.1であり、長期的には改善傾向がみられる。 BOD年平均値は5程度で横ばいの状況となっている。
	春木川	津田川	E	春木川	S48：水質保全を目的としてE類型に指定	空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、19→11→6.3であり、長期的には改善傾向がみられる。 BOD年平均値は8程度で横ばいの状況となっている。
	近木川	近木川上流	B	近木川	S48：大阪湾に直接流入する泉州諸河川の中では比較的河川延長が長く（15～16km程度）、流域も山間部から市街地まで多様であることから、上流及び下流の2水域に区分し、上流域についてはB類型、下流域についてはE類型に指定	空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、23→9.5→7.2であり、長期的には改善傾向がみられる。 BOD年平均値は11程度で横ばいの状況となっている。
	見出川	佐野川	E	見出川	S48：水質保全を目的としてE類型に指定	空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、8→10→8.1であり、長期的には改善傾向がみられる。 BOD年平均値は5程度となっている。
	樫井川	樫井川上流	B	樫井川	S48：大阪湾に直接流入する泉州諸河川の中では比較的河川延長が長く（15～16km程度）、流域も山間部から市街地まで多様であることから、上流及び下流の2水域に区分し、上流域についてはB類型、下流域についてはE類型に指定	空利用はあまりされず、主としてコンクリートブロック護岸が施工され、河川が画一的な河川景観の河川が多いが、市民団体等により様々な河川環境活動が行われている。	【目指すべき類型】 【現在の類型との比較】 泉州諸河川のうち、 樫井川以北の河川は、 いすれも中流・下流域であるが、他の流域と比べて生活排水対策の進捗が遅れているため、現状水質の状況等から上流部や支流を除き、現在はDまたはE類型に指定されている。河川にのりて、近年は、身近な高まりとして注目も高まりつつあることから、より良い水質を目指す。上流部及び支流はB類型以上、下流域はB類型（C類型以上）の達成・維持を目標とするべき水域である。	上位類型 達成状況	【水質の変化等】 （BODの単位：mg/L） 過去15年間のBOD5年間平均値は、6～7程度となっている。



各水域の概要 【泉州諸河川（男里川以南）】

水系	区分等	水域名	【現在の類型】	【水系の概要】	【類型指定の経緯】	【利用状況の変化等】	【“目指すべき類型”】 ↓ 【現在の類型との比較】	【水質の状況の変化】				
								現在の類型 達成状況	上位類型 達成状況			
泉州諸河川（男里川以南）	男里川	男里川	A	S48：上水道水源としての利用目的等からA類型に指定	【利用状況の変化等】	【“目指すべき類型”】 ↓ 【現在の類型との比較】	過去15年間のBOD5年間平均値は、4.5→3.6→3.3であり、長期的には改善傾向がみられる。	未達成の状況が続いている。	【水質の変化等】 (BODの単位：mg/L)			
	男里川の支流	金熊寺川	A							過去15年間のBOD5年間平均値は、2.8→2.7→2.5で、平成元年以前(年平均値10以上)に比べると改善されたが、近年は特に改善傾向はみられない。		
		森砥川	A							(既にA類型に指定されている。)		
		山中川	A							過去15年間のBOD5年間平均値は、3.3→2.9→2.9で特に改善傾向はみられない。		
	番川	番川	A							男里川以南の河川は、全て既にA類型に指定されている。	連続して達成している。	(既にA類型に指定されている。)
		大川	A									
		東川	A									
	西川	西川	A							BOD年平均値も1.5程度で安定しているなど、良好な水質が維持されている。	連続して達成している。	(既にA類型に指定されている。)
		西川	A									

2-4 BOD等5項目に係る類型改定の基本的な考え方

2-2に示したとおり、pHの環境基準超過事例は光合成によるもので、水深や水量など流況の影響が大きい。DO、SSについては、達成率は高い。大腸菌群数についても、下水道整備をはじめとするBOD対策が進めば改善される傾向が見られる。これらを踏まえ、BOD等5項目の類型改定にあたっては、これまでと同様に河川の代表的な汚濁指標であるBODの状況に主眼を置いて検討を行うこととした。

なお、BOD以外の項目のうち、特に大腸菌群数については、環境基準の指標としての意義や対応策等についての国の検討状況等について引き続き情報収集を行う必要がある。

各水域の利用状況をみると、近年は、上水道水源や水産利用など類型ごとに掲げられている利用目的だけではなく、遊歩道や広場といった親水性に配慮した河川空間の整備が進められ、身近な散策の場や水とのふれあいの場というような利用が重要視されるようになってきている。また、現在の類型の如何に関わらず、多くの河川で近隣の方々による清掃活動等が活発に行われるなど、府域全体として、身近な河川に対する注目度が高まっている。

このような状況から、BOD等5項目に係る類型については、従来の利用目的や水質汚濁の状況等に加え、魚が棲めるような良好な水質を目指すという観点から、府内の全ての水域についてC類型以上を目指していくことが適当である。

また、既にC類型以上となっている水域についても、水域の特性によってはより上位の類型への改定を積極的に検討すべきであり、少なくとも現在の類型より上位の類型を既に十分達成している水域については、現在の水質を保全する観点から、上位の類型に改定してその達成・維持を図ることが適当である。

なお、BOD等5項目に係る類型は、各水域の当面の水質の目標となるものであり、各水域の状況の変化に即応したものであることが望ましく、水質改善の状況等を考慮しながら、今後も概ね5年間隔をめでに適切な設定を検討すべきである。

また、生活環境の保全に関する環境基準については、水域ごとに施策の推進とあいまちつつ、可及的速やかにその達成維持を図るものとされ、その達成期間についても、概ね以下の考え方により類型とあわせて示すもの

とされている。(「水質汚濁に係る環境基準について」昭和 46 年 12 月 28 日環境庁告示第 59 号、「水質汚濁に係る環境基準の達成期間の取扱について」昭和 60 年 6 月 12 日環水管 126 号)

現に著しい人口集中、大規模な工業開発等が進行している地域に係る水域で著しい水質汚濁が生じているものまたは生じつつあるものについては、5 年以内に達成することを目途とする。

ただし、これらの水域のうち、水質汚濁が極めて著しいため、水質の改善のための施策を総合的に講じても、この期間内における達成が困難と考えられる水域については、当面、暫定的な改善目標値を適宜設定することにより、段階的に当該水域の水質の改善を図りつつ、極力環境基準の速やかな達成を期することとする。上記以外の水域については、設定後直ちに達成され、維持されるよう水質汚濁の防止に努めることとする。

これにより、達成期間の区分は、原則として次のとおりとされている。

「イ」: 直ちに達成

「ロ」: 5 年以内で可及的速やかに達成

「ハ」: 5 年を超える期間で可及的速やかに達成(遅くともおおむね 10 年以内に達成することを目途)

上記を踏まえ、次の水域については、達成期間の見直しを検討するものとする。

現状で達成期間が「ロ」、「ハ」とされているもののうち、定められてから 10 年以上を経過している水域

D 類型あるいは E 類型のまま長期間変更されていない水域

以上を踏まえ、今回の BOD 等 5 項目に係る類型改定の基本的な考え方は以下のとおりとした。

【BOD 等 5 項目に係る類型改定の基本的な考え方】

府内の河川をより魅力あるものとするため、「全水域 C 類型以上」を目指して、近年の水質状況等をもとに、今後概ね 5 年間の目標となる類型・達成期間を示す。

現在既にC類型以上の水域については、各水域の特徴や近年の水質状況等を考慮し、必要に応じてより上位の類型に改定する。

具体的には、

現在、DまたはE類型の水域

C類型以上への改定を目指して、近年の水質状況（上位類型の達成状況、年平均値の推移など）を考慮しつつ、できるだけ上位の類型への改定または達成期間（イ～ハ）の見直しを行う。

-1 当該水域の“目指すべき類型”に合致していない水域

近年の水質状況を考慮しつつ、より適した類型への改定や達成期間へ見直しを行う。

-2 当該水域の“目指すべき類型”に合致している水域

現状水質の保全上、上位類型に改定することが望ましいと考えられる水域については、上位類型に改定する。

2-5 BOD等5項目の類型改定検討結果

「BOD等5項目に係る類型改定の基本的な考え方」に基づき類型改定について検討を行った。検討の流れ及び考え方を次に示す。

○各水域の特徴
○類型指定・改定経緯
○利用状況の変化
○水質の状況(変化)など

各水域の「目指すべき類型」との比較

近年の水質の状況(変化)等
(上位類型達成状況など)

近年の水質の状況(変化)等
(改定後の類型達成状況
年平均値の経年変化など)

類型 指定者	水域数	現在の類型 による区分	検討①: 現在の類型の妥当性の確認		検討②:類型改定の必要性の検討		達成期間の検討		該当水域
			検討方針① (1)	判定 (1)	検討方針②	検討内容②	検討内容③	検討結果	
知事	73	A類型イ	22	22	22	22	22	Aイ(改定なし)	赤川(1)、赤川(2)、水無瀬川、安威川上流、筑面川(1)、筑面川(2)、余野川、千 里川、田原川、一徹、大野次川、山辺川、千早川、五見川、父鬼川、男里川、 金魚寺川、菟野川、山中川、番川、大川、東川、西川
		B類型	24	24	24	24	24	Aイに改定 Aロに改定 Bイに統一 Bロに統一 Bハ(改定なし)	5 Bイ→Aイ:2水域(赤野川下流(1)、佐屋川及び赤木川 ・Bロ→Aイ:3水域(安威川下流(2)、大庄川、梅川) ・Bロ→Aイ:1水域(静屋寺川) 1 Aロに改定 ・Bイ改定なし:8水域(大川、壺島川、六軒塚川、安治川、天尾川、楢尾川、近 木川上流、櫻井川上流) 11 Bイに統一 ・Bロ→Bイ:1水域(楢尾川) ・Bハ→Bイ:2水域(蓮峰川、石川) 3 Bロに統一 ・Bロ改定なし:1水域(大津川上流) ・Bハ→Bロ:2水域(西除川(1)、牛滝川) 4 Bハ(改定なし) ・Bハ改定なし:4水域(船橋川、穂谷川、天野川、松尾川)
		C類型	12	12	12	12	12	Bイに改定 Bロに改定 Cイに統一 Cロに統一 Cロに改定 Bロに改定 Bロに改定 Bロに改定 Cイに統一 Cロに統一 Cロに統一 Cロに改定 Cロに改定 Cロに改定 Cロに統一 Dロに統一 Dロに改定 Eイに統一	0 (該当なし) 0 (該当なし) 0 (該当なし) 2 Cイ→Cロ:2水域(東除川、和田川) 5 Cイ→Bイ:5水域(正連寺川、尻無川、木津川、木津川運河、東津原川) 2 Cイ→Bロ:1水域(安威川下流(3)) ・Cイ→Bロ:1水域(住吉川) 2 Cロ→Cイ:1水域(土佐尾川) ・Cロ→Cイ:1水域(佐備川) 1 Cロ改定なし:1水域(飛鳥川) 1 Dハ→Cイ:1水域(静屋川(1)) 0 (該当なし) 5 Dイ(改定なし):1水域(平野川分水路) ・Dロ→Dイ:1水域(平野川) ・Dハ→Dイ:3水域(鷺野川、第二葦原川、大津川下流) 3 Dハ→Dロ:3水域(葦原川(2)、古川、西除川(2)) 3 Eハ→Dイ:3水域(石津川、香木川、近木川下流) 4 Eハ→Eイ:4水域(津田川、見出川、佐野川、櫻井川下流)
環境 大臣	7	B~D	7	7	7	7	7	(後討対象外)	・湊川下流(1)、湊川下流(2) ・御崎川、霧名川上流、霧名川下流(2) ・大和川中流、大和川下流
計	80		80	80	80	80	80	81	

各水系における検討結果は以下のとおりである。

【淀川水系】

- ・ 船橋川、穂谷川、天野川（現在の類型はB類型八、以下同じ）
既に当該水域の利用目的等に見合った類型であり、現時点では現状水質を考慮して、引き続き「B類型八」とし、B類型の早期達成に向けて流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要（改定なし）
- ・ 檜尾川（B類型ロ）
今後も当該水域の利用目的等に見合った現在のタイプの概ね安定した達成が見込める状況であることを考慮し、「B類型ロ」を「B類型イ」とすることが適当
- ・ 芥川(1)、芥川(2)、水無瀬川（A類型イ）
既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「A類型イ」とすることが適当（改定なし）

【神崎川水系】

- ・ 安威川上流、箕面川(1)、箕面川(2)、余野川、千里川、田尻川、一庫・大路次川、山辺川（A類型イ）
既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「A類型イ」とすることが適当（改定なし）
- ・ 安威川下流(1)、佐保川及び茨木川（B類型イ）
今後も上位タイプの概ね安定した達成が見込める状況であることを考慮し、現状水質を保全することを目的として、「B類型イ」を「A類型イ」とすることが適当
- ・ 安威川下流(2)、大正川（B類型ロ）
今後も上位タイプの概ね安定した達成が見込める状況であることを考慮し、現状水質を保全することを目的として、「B類型ロ」を「A類型イ」とすることが適当
- ・ 安威川下流(3)（C類型イ）
当該水域の利用目的等に見合った類型（B類型）の概ね安定達成を目指して、「C類型イ」を「B類型ロ」とすることが適当
- ・ 勝尾寺川（B類型ロ）
今後も上位タイプの一定程度安定した達成が見込める状況であることを考慮し、現状水質を保全することを目的として、「B類型ロ」

を「A類型口」とすることが適当

【寝屋川水系】

- ・寝屋川（D類型八）

現在は全域を一つの水域（寝屋川）としてD類型に指定しているが、住道大橋より上流（上流部）と住道大橋より下流（下流部）に2分割し、上流部については、一部の区間で親水性に配慮した河川整備も行われていることなどから利用目的等に見合った「C類型イ」とすることが適当

下流部については、「D類型口」とし、引続きC類型以上を見据えて流入負荷の削減等の水質改善対策を進めることが必要

- ・恩智川、第二寝屋川（D類型八）

現在の類型を早期に安定して達成すべく、「D類型八」を「D類型イ」とし、目指すべき類型（C類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

- ・古川（D類型八）

現在の類型を概ね安定して達成すべく、「D類型八」を「D類型口」とし、目指すべき類型（C類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

- ・平野川分水路（D類型イ）

現在の類型を早期に安定して達成すべく、当面は引き続き「D類型イ」とし、目指すべき類型（C類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要（改定なし）

- ・平野川（D類型口）

現在の類型を早期に安定して達成すべく、また、隣接する平野川分水路との関係から「D類型口」を「D類型イ」とし、目指すべき類型（C類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

【大阪市内河川】

- ・大川、堂島川、六軒家川、安治川（B類型イ）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「B類型イ」とすることが適当（改定なし）

- ・土佐堀川（C類型八）

現在の類型を早期に安定して達成すべく、「C類型八」を「C類

- 型イ」とし、目指すべき類型（B類型）に向けて今後も本水域に影響を及ぼす寝屋川水系における水質改善を進めることが必要
- ・道頓堀川（B類型八）

今後も当該水域の利用目的等に見合った現在の類型の概ね安定した達成が見込める状況であることを考慮し、「B類型八」を「B類型イ」とすることが適当
 - ・正蓮寺川、尻無川、木津川、木津川運河、東横堀川（C類型イ）

当該水域の利用目的等に見合った類型（B類型）の早期安定達成を目指して、「C類型イ」を「B類型イ」とすることが適当
 - ・住吉川（C類型八）

当該水域の利用目的等に見合った類型（B類型）の概ね安定達成を目指して、「C類型八」を「B類型ロ」とすることが適当

【大和川水系】

- ・石川（B類型八）

今後も当該水域の利用目的等に見合った現在の類型の概ね安定した達成が見込める状況であることを考慮し、「B類型八」を「B類型イ」とすることが適当
- ・千早川、石見川（A類型イ）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「A類型イ」とすることが適当（改定なし）
- ・天見川（B類型イ）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「B類型イ」とすることが適当（改定なし）
- ・飛鳥川（C類型ロ）

現在の類型（C類型）が未達成の状況であることから、当面は引き続き「C類型ロ」とし、目指すべき類型（B類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要（改定なし）
- ・梅川（B類型ロ）

今後も上位類型の概ね安定した達成が見込める状況であることを考慮し、現状水質を保全することを目的として、「B類型ロ」を「A類型イ」とすることが適当
- ・佐備川（C類型ロ）

現在の類型を安定して達成している状況から、「C類型ロ」を「C

類型イ」とし、目指すべき類型（Ｂ類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

- ・東除川（Ｃ類型八）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であり、現在の類型の概ね安定達成を目指して「Ｃ類型八」を「Ｃ類型口」とすることが適当

- ・西除川(1)（Ｂ類型八）

今後も当該水域の利用目的等に見合った現在の類型の一定程度安定した達成が見込める状況であることを考慮し、「Ｂ類型八」を「Ｂ類型口」とすることが適当

- ・西除川(2)（Ｄ類型八）

現在の類型を概ね安定して達成すべく、「Ｄ類型八」を「Ｄ類型口」とし、目指すべき類型（Ｃ類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

【泉州諸河川】

- ・石津川、春木川、近木川下流（Ｅ類型八）

現在の「Ｅ類型八」を「Ｄ類型イ」とし、目指すべき類型（Ｃ類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

- ・和田川（Ｃ類型八）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であり、現在の類型の概ね安定達成を目指して「Ｃ類型八」を「Ｃ類型口」とすることが適当

- ・大津川上流（Ｂ類型口）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であること及び現状水質を考慮して、引き続き「Ｂ類型口」とすることが適当（改定なし）

- ・大津川下流（Ｄ類型八）

現在の類型を早期に安定して達成すべく、「Ｄ類型八」を「Ｄ類型イ」とし、目指すべき類型（Ｃ類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

- ・牛滝川（Ｂ類型八）

今後も当該水域の利用目的等に見合った現在の類型の一定程度安定した達成が見込める状況であることを考慮し、「Ｂ類型八」を

「B類型口」とすることが適当

・松尾川（B類型八）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であり、現時点では現状水質を考慮して、引き続き「B類型八」とし、B類型の早期達成に向けて流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要（改定なし）

・槇尾川、近木川上流、檜井川上流（B類型イ）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「B類型イ」とすることが適当（改定なし）

・父鬼川（A類型イ）

既に当該水域の利用目的等に見合った類型であることから、引き続き「A類型イ」とすることが適当（改定なし）

・津田川、見出川、佐野川、檜井川下流（E類型八）

現時点では上位類型の安定した達成は見込めないが、「E類型八」を「E類型イ」とし、E類型の早期安定達成と目指すべき類型（C類型）に向けて今後も流入負荷の削減等の水質改善を進めることが必要

・男里川、金熊寺川、菟砥川、山中川、番川、大川、東川、西川（A類型イ）

既に当該水域に見合った類型であることから、引き続き「A類型イ」とすることが適当（改定なし）

3. 水生生物の保全に関する項目の類型指定について

3-1 水生生物の保全に関する項目について

(1) 水生生物の保全に関する項目の環境基準について

水生生物の保全に関する項目は、生活環境項目の一つとして設定され、水質による水生生物への影響を未然に防止する観点から維持することが望ましい水準として、「生物A」、「生物特A」、「生物B」及び「生物特B」の4類型について、以下のとおり定められている。

【水生生物の保全に関する項目の環境基準（河川）】

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下

水生生物の保全に関する項目の類型区分については、淡水域に生息する魚介類が冷水域と温水域では異なっていることから、水温を因子として生物A及び生物Bの2つに区分されており、生物A類型の方がより良好な水質に対応するものとなっている。

また、産卵場及び感受性の高い幼稚仔等の時期に利用する水域については、それぞれ特別域の区分（生物特A、生物特B）が設けられた。

淡水域における水域類型に対応する主な魚介類は以下に示すとおりである。

【淡水域における水域類型に対応する主な魚介類】

類型	主な魚介類
生物 A	アマゴ、サツキマス、ヤマメ、サクラマス、イワナ、アメマス、カラフトマス、シロザケ、ニジマス、スチールヘッド、ヒメマス、ベニサケ、カジカ
生物 B	ウグイ、シラウオ、オイカワ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、キンブナ、オオキンブナ、コイ、ドジョウ、ナマズ、ヨシノボリ、ウナギ、ボラ、スジエビ、テナガエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、ヌカエビ、モクズガニ、マシジミ、ヤマトシジミ

水生生物の保全に関する項目は、現在は全亜鉛の 1 項目のみであり、我が国における当該物質の生産・使用状況、公共用水域等における検出状況等を踏まえて選定された。

環境基準値は、水生生物の集団の維持を可能とする観点から、基本的には慢性影響を防止する上で必要な水質の水準として定められ、全亜鉛の濃度の年間平均値として全類型とも 0.03mg/L 以下と定められている。

(2) 水生生物の保全に関する項目に係る類型の当てはめ状況等

水生生物の保全に関する項目について、大阪府域の河川では、大和川(全域)が環境大臣により平成 18 年 6 月に「生物 B」に指定されており、淀川、神崎川及び猪名川については、現在、国において類型指定に向けた検討が行われている。

3-2 府内河川の水質等の状況について

(1) 全亜鉛濃度の測定結果

大阪府では、公共用水域水質調査として、平成 19 年度に 105 河川、144 地点(うち環境基準点 94 地点)において全亜鉛濃度の測定を実施している。

BOD 等 5 項目の類型が指定されている水域における調査結果を全亜鉛の環境基準値(0.03mg/L)と比較すると、80 水域中 14 水域で環境基準値を上回っている。(資料 10)

環境基準値を上回っている水域は、BOD 等 5 項目の類型別で見ると、A 類型：1 水域、B 類型：2 水域、C 類型 2 水域、D 類型：6 水域、E 類型：3 水域である。

【全垂鉛の環境基準値超過状況】 (平成19年度)

類型	環境基準値の超過割合(%)		
A	1 / 22 (4.5%)	5 / 63 (7.9%)	14 / 80 (18%)
B	2 / 27 (3.7%)		
C	2 / 14 (13%)		
D	6 / 10 (60%)		
E	3 / 7 (43%)		
		9 / 17 (53%)	

(2) 河川水温の測定結果

水生生物保全に関する項目の類型区分については、淡水域に生息する魚介類が冷水域と温水域では異なっていることから、水温を因子として大きく2つに区分(生物A、生物B)されている。

平成15～19年度の5年間の水温の測定結果の概況は以下のとおりで、寝屋川水系及び大阪市内河川の最低水温、平均水温が他の水系に比べて高い傾向にある。(資料11)

淀川水系 : 最低0.3、最高37、平均水温17.2
 神崎川水系 : 最低0.3、最高35、平均水温16.9
 寝屋川水系 : 最低3.4、最高35、平均水温19.8
 大阪市内河川 : 最低6.0、最高31、平均水温18.3
 大和川水系 : 最低1.2、最高34、平均水温17.2
 泉州諸河川 : 最低0.4、最高39、平均水温17.6

なお、夏季に流量が非常に少なく、川の流れがほとんどないような水域においては、相当高い水温が記録される場合がある。

(3) 府内河川に生息している魚類について

水生生物生息状況に係る調査等についての資料の情報をもとに、府内河川の確認魚類等について水域ごとにとりまとめた。(資料12)

これによると、オイカワ、ギンブナなどの温水性の魚類が府内のほとんどの水域で確認されているが、冷水性の魚類であるアマゴやアカザが確認されている水域や、大阪府レッドデータブックの絶滅危惧種であるカジカやアジメドジョウなどが確認され自然環境が十分に保全されている水域もある。

3-3 水生生物の保全に関する項目の類型指定の基本的な考え方

府域の河川は、水温や確認されている魚種などから、基本的には温水性の魚類の生息環境と考えられ、全般的には生物B類型が適当な水域と考えられる。

しかし、猪名川の支流など、上流域には水質が非常に良好で豊かな自然環境を有し、冷水性の魚類や大阪府域では希少とされる魚類も生息できると考えられる環境を有する水域もある。

また、BOD等5項目の類型区分では、C類型以上が魚類の生息に適したものとされている。

以上を踏まえ、今回の水生生物の保全に関する項目の類型指定の基本的な考え方は以下のとおりとした。

【水生生物の保全に関する項目に係る類型指定の基本的な考え方】

流域に豊かな自然環境を有し、かつ水質が非常に良好であることから、冷水性の魚種や府域で絶滅が危惧される魚種が生息している可能性のある水域については、以下の条件を総合的に考慮し、「生物A」に指定する。

- ・ 上流域が山間部であるなど、自然が豊かな流域を持つこと。
- ・ BODがA類型の環境基準に十分に適合していること。
- ・ 冷水性の魚種やカジカ、アジメドジョウ、ナガレホトケドジョウなど希少種の生息する可能性があると考えられること。
- ・ 冷水性の魚種についての漁業権が設定されていること。

以外の水域で、BOD等5項目に係る指定類型がC類型以上となる水域を「生物B」に指定する。

また達成期間は、原則として、近年の水質が概ね環境基準値を下回るなど、現状の水質を維持すべき水域については「イ」(直ちに達成)、それ以外の水域については「ロ」(5年以内で可及的速やかに達成)とすることが適当である。

なお、現在D類型又はE類型の水域においても、コイ、フナをはじめとする魚類が生息していることから、引き続き水質の状況を把握する必要がある。また、府内の水域については、今後も必要に応じて水生生物の調査を実施するなど水生生物に関するデータを集積していくことが必要である。

3 - 4 水生生物の保全に関する項目の類型指定検討結果

「水生生物の保全に関する項目に係る類型指定の基本的な考え方」に基づき、水生生物の保全に関する項目の類型指定の検討を行った。その結果は以下のとおりである。(資料 13)

「生物 A」類型に指定する水域(9 水域)

流域に豊かな自然環境を有していること、BOD が A 類型の環境基準を十分達成していること、冷水性であるますの漁業権の設定状況、冷水性の魚種や希少種の生息する可能性を総合的に考慮し、下記の 9 水域については、生物 A 類型に指定する。

【淀川水系】(2 水域)

芥川(1)、水無瀬川

【神崎川水系】(6 水域)

安威川上流、箕面川(1)、余野川、田尻川、一庫・大路次川、山辺川

【大和川水系】(1 水域)

石見川

「生物 B」類型に指定する水域(50 水域)

以外で、BOD 等 5 項目の類型が魚類の生息に適しているとされる C 類型以上の下記水域については、生物 B 類型に指定する。

【淀川水系】(5 水域)

船橋川、穂谷川、檜尾川、天野川、芥川(2)

【神崎川水系】(8 水域)

安威川下流(1)、安威川下流(2)、安威川下流(3)、佐保川及び茨木川、大正川、勝尾寺川、箕面川(2)、千里川

【寝屋川水系】(1 水域)

寝屋川(1)

【大阪市内河川】(12 水域)

大川、堂島川、土佐堀川、道頓堀川、正蓮寺川、六軒家川、安治川、尻無川、木津川、木津川運河、住吉川、東横堀川

【大和川水系】(8 水域)

石川、千早川、天見川、飛鳥川、梅川、佐備川、東除川、西除川(1)

【泉州諸河川】(16 水域)

和田川、大津川上流、牛滝川、松尾川、槇尾川、父鬼川、近木川上流、櫻井川上流、男里川、金熊寺川、菟砥川、山中川、番川、大川、東川、西川

なお、達成期間は、近年の水質が概ね環境基準値を下回っている状況ではない寝屋川(1)、東除川及び男里川については「ロ」、それ以外の水域については「イ」とする。(資料14)

4. まとめ

河川水質環境基準に係る類型については、以下のとおり改定又は指定することが適当である。

水系	水域名	BOD等5項目 類型改定案	水生生物項目 類型指定案	
淀川水系	淀川下流(1)	B八	***	
	淀川下流(2)	Cイ	***	
	船橋川	B八	生物Bイ	
	穂谷川	B八	生物Bイ	
	檜尾川	B口→Bイ	生物Bイ	
	天野川	B八	生物Bイ	
	芥川(1)	Aイ	生物Aイ	
	芥川(2)	Aイ	生物Bイ	
神崎川水系	水無瀬川	Aイ	生物Aイ	
	神崎川	B口	***	
	安威川上流	Aイ	生物Aイ	
	安威川下流(1)	Bイ→Aイ	生物Bイ	
	安威川下流(2)	B口→Aイ	生物Bイ	
	安威川下流(3)	Cイ→B口	生物Bイ	
	佐保川及び茨木川	Bイ→Aイ	生物Bイ	
	大正川	B口→Aイ	生物Bイ	
	勝尾寺川	B口→A口	生物Bイ	
	猪名川上流	Aイ	***	
	猪名川下流(2)	Dイ	***	
	箕面川(1)	Aイ	生物Aイ	
	箕面川(2)	Aイ	生物Bイ	
	余野川	Aイ	生物Aイ	
	千里川	Aイ	生物Bイ	
	田尻川	Aイ	生物Aイ	
	一庫・大路次川	Aイ	生物Aイ	
山辺川	Aイ	生物Aイ		
寝屋川水系	寝屋川	D八	寝屋川(1)：住道大橋より上流 →Cイ	生物B口
			寝屋川(2)：住道大橋より下流 →D口	***
	恩智川		D八→Dイ	***
	古川		D八→D口	***
	第二寝屋川		D八→Dイ	***
	平野川分水路		Dイ	***
平野川		D口→Dイ	***	
大阪市内河川	大川		Bイ	生物Bイ
	堂島川		Bイ	生物Bイ
	土佐堀川		C八→Cイ	生物Bイ
	道頓堀川		B八→Bイ	生物Bイ
	正蓮寺川		Cイ→Bイ	生物Bイ
	六軒家川		Bイ	生物Bイ
	安治川		Bイ	生物Bイ
	尻無川		Cイ→Bイ	生物Bイ
	木津川		Cイ→Bイ	生物Bイ
	木津川運河		Cイ→Bイ	生物Bイ
	住吉川		C八→B口	生物Bイ
東横堀川		Cイ→Bイ	生物Bイ	

水系	水域名	BOD等5項目 類型改定案	水生生物項目 類型指定案
大和川水系	石川	Bハ→Bイ	生物Bイ
	千早川	Aイ	生物Bイ
	天見川	Bイ	生物Bイ
	石見川	Aイ	生物Aイ
	飛鳥川	Cロ	生物Bイ
	梅川	Bロ→Aイ	生物Bイ
	佐備川	Cロ→Cイ	生物Bイ
	大和川中流	Cハ	生物Bイ
	大和川下流	Dハ	生物Bイ
	東除川	Cハ→Cロ	生物Bロ
	西除川(1)	Bハ→Bロ	生物Bイ
	西除川(2)	Dハ→Dロ	***
泉州諸河川	石津川	Eハ→Dイ	***
	和田川	Cハ→Cロ	生物Bイ
	大津川上流	Bロ	生物Bイ
	大津川下流	Dハ→Dイ	***
	牛滝川	Bハ→Bロ	生物Bイ
	松尾川	Bハ	生物Bイ
	槇尾川	Bイ	生物Bイ
	父鬼川	Aイ	生物Bイ
	春木川	Eハ→Dイ	***
	津田川	Eハ→Eイ	***
	近木川上流	Bイ	生物Bイ
	近木川下流	Eハ→Dイ	***
	見出川	Eハ→Eイ	***
	佐野川	Eハ→Eイ	***
	檜井川上流	Bイ	生物Bイ
	檜井川下流	Eハ→Eイ	***
	男里川	Aイ	生物Bロ
	金熊寺川	Aイ	生物Bイ
	菟砥川	Aイ	生物Bイ
	山中川	Aイ	生物Bイ
	番川	Aイ	生物Bイ
	大川	Aイ	生物Bイ
	東川	Aイ	生物Bイ
	西川	Aイ	生物Bイ

淀川、神崎川、猪名川、大和川については、国が類型指定を行うため、今回の検討対象外である。なお、猪名川上流については、水質環境基準部会での検討終了後の平成21年3月31日付け環境省号外第67号によりB類型からA類型に改定されたため、これを反映させている。

なお、今後の類型指定に関する検討にあたっては、以下の事項に留意する必要がある。

(留意事項)

今回の類型指定は、今後、概ね5年間の目標となる類型・達成期間について検討を行ったものであり、これらの類型は、各水域の水質の状況や水辺環境の整備状況等の変化に即応したものであることが望ましいことから、今後も、概ね5年ごとを目途に検討を行うことが適当である。

生活環境の保全に関する項目のうち、特に、大腸菌群数については、環境基準の指標としての意義や対応策等についての国の検討状況等について引き続き情報収集を行う必要がある。

水生生物の保全に関する項目について、BOD等5項目に係る類型指定がD類型又はE類型の水域についても引き続き水質の状況を把握することが必要である。

今後も、水生生物の生息状況など水生生物に関するデータを集積することが必要である。

資 料

1	河川の水質環境基準（生活環境項目）の類型指定状況	・・・	資 1
2	河川水質環境基準に係る類型指定・改定の経緯	・・・	資 2
3	河川のBOD環境基準達成状況	・・・	資 3
4	BOD年平均値の経年変化	・・・	資 4
5	BOD75%値の経年変化	・・・	資 5
6	河川水質（pH、DO）調査結果（平成19年度）	・・・	資 6
7	河川水質（BOD、大腸菌群数）調査結果（平成19年度）	・・・	資 7
8	中央環境審議会水環境部会（H14.5.17）議事概要	・・・	資 8
9	大腸菌群数に係る環境基準超過事例について	・・・	資 9
10	河川水質（全亜鉛）調査結果概要（平成19年度）	・・・	資 10
11	大阪府内河川の水温	・・・	資 11
12	大阪府内に生息している魚類	・・・	資 12
13	水生生物の保全に関する項目に係る【生物A】の指定 についての検討結果	・・・	資 13
14	水生生物の保全に関する項目の達成期間について の検討結果	・・・	資 14

1 河川の水質環境基準（生活環境項目）の類型指定状況（平成20年11月末現在）

<類型指定状況>

水系	河川水域名	範囲	該当類型	
			BOD等	水質検査
淀川水系	淀川下流(1)	京都府府から長峰村まで	B/A	—
	淀川下流(2)	長峰村以上	C/I	—
	橋本川	全流域	B/A	—
	谷川	全流域	B/A	—
	尾川	全流域	B/A	—
	天野川	全流域	B/A	—
	芥川(1)	奈良県奈良市から塚原村まで	A/I	—
	芥川(2)	塚原村以上	A/I	—
	水無瀬川	全流域	A/I	—
	神崎川	全流域	B/C	—
神川水系	安威川上流	安威町水取口より上流	A/I	—
	安威川下流(1)	安威町水取口から戸伏まで	B/I	—
	安威川下流(2)	戸伏から大田川合流点まで	B/C	—
	安威川下流(3)	大田川合流点より下流	C/I	—
	大正川	全流域	B/I	—
	尾寺川	全流域	B/C	—
	猪名川上流	猪名川合流点より上流	B/A	—
	猪名川下流(1)	猪名川合流点から瀬川合流点まで	B/I	—
	其面川(1)	其面川取水口より上流	A/I	—
	其面川(2)	其面川取水口から兵庫県界まで	A/I	—
養父水系	余野川	全流域	A/I	—
	千里川	全流域	A/I	—
	尻川	全流域	A/I	—
	一庫・大踏次川	兵庫県界より上流	A/I	—
	迎川	全流域	A/I	—
	岩屋川	全流域	D/A	—
	古智川	全流域	D/A	—
	第二養父川	全流域	D/A	—
	平野川分水路	全流域	D/I	—
	平野川	全流域	D/C	—
大淀川水系	大淀川	大川合流点より上流	B/I	—
	土佐川	全流域	B/I	—
	運田川	全流域	C/A	—
	正六川	全流域	B/A	—
	安治川	全流域	C/I	—
	安無川	全流域	B/I	—
	木津川	全流域	C/I	—
	木津川運河	全流域	C/I	—
	住吉川	全流域	C/A	—
	東横川	全流域	C/I	—

水系	河川水域名	範囲	該当類型	
			BOD等	水質検査
大和川水系	石川	全流域	B/A	—
	早川	全流域	A/I	—
	千見川	全流域	B/I	—
	石見川	全流域	A/I	—
	熊鷹川	全流域	C/D	—
	梅川	全流域	B/C	—
	佐和川	全流域	C/A	—
	大和川中流	桜井市初瀬入口から深香山まで	C/A	生物B-I
	大和川下流	深香山より下流	D/A	—
	重隆川	全流域	C/A	—
泉州	瀬川	瀬川取水口より上流	B/A	—
	西川(1)	瀬川取水口より上流	D/A	—
	西川(2)	瀬川取水口より下流	D/A	—
	和田川	全流域	E/A	—
	大津川上流	泉大津市高津取水口より上流	C/A	—
	大津川下流	泉大津市高津取水口より下流	D/A	—
	津川	全流域	B/A	—
	牛久保川	全流域	B/A	—
	松尾川	全流域	B/A	—
	横尾川	全流域	B/I	—
河川	鬼木川	全流域	E/A	—
	春木川	全流域	E/A	—
	近木川	全流域	B/I	—
	近木川下流	稲谷川合流点より上流	B/I	—
	出野川	全流域	E/A	—
	佐野川	全流域	E/A	—
	野井川上流	野井川取水口より上流	B/I	—
	野井川下流	野井川取水口より下流	E/A	—
	勇利川	全流域	A/I	—
	金剛川	全流域	A/I	—
大淀川水系	釜山川	全流域	A/I	—
	中川	全流域	A/I	—
	大川	全流域	A/I	—
	東川	全流域	A/I	—
	西川	全流域	A/I	—
	東川	全流域	A/I	—
	西川	全流域	A/I	—
	東川	全流域	A/I	—
	西川	全流域	A/I	—
	東川	全流域	A/I	—

注1 網掛け()は、国が類型指定を行う水域を示す。

注2 「—」は類型指定がされていないことを表す。

達成期間

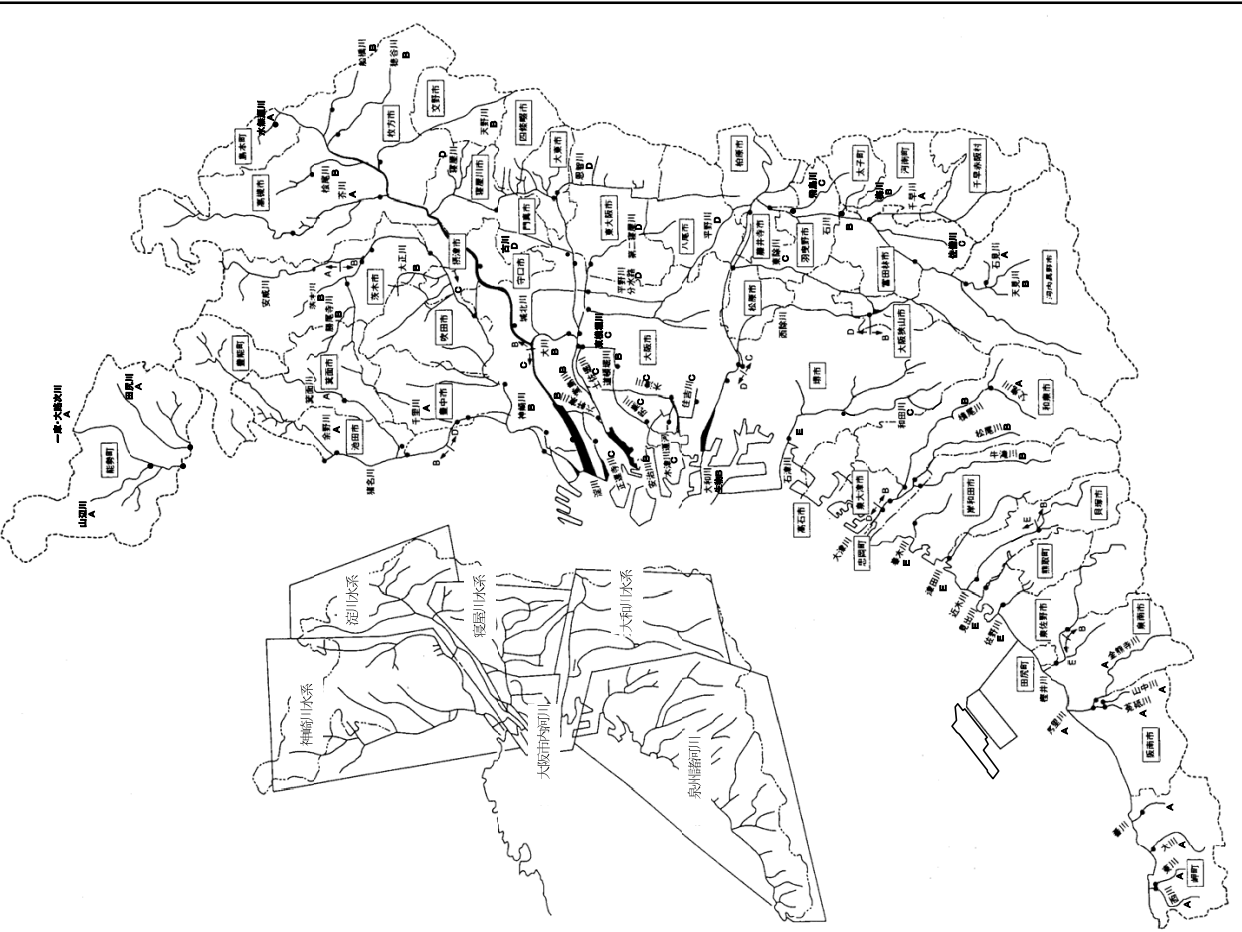
イ：直ちに達成

ロ：5年以内に可及的速やかに達成

ハ：5年を超える期間で可及的速やかに達成

<<水系別、類型別の類型指定状況>>

水系別	A		B		C		D		E		水系別	
	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ		
淀川水系	3	0	1	4	5	1	0	0	1	0	0	9
神崎川水系	8	2	4	1	7	1	0	0	1	0	0	17
養父川水系	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	6
大淀川内河川	0	4	0	1	5	5	0	2	7	0	0	12
大和川水系	2	1	1	2	4	0	2	2	4	0	0	12
泉州諸河川	9	3	1	2	6	0	0	1	1	0	0	24
計	22	10	7	10	27	7	2	5	14	2	7	80



3 河川のBOD環境基準達成状況

年度 項目 類型 [基準値 mg/L]	平成15		平成16		平成17		平成18		平成19	
	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)
A [2]	17 22	77.3	19 22	86.4	19 22	86.4	19 22	86.4	19 22	86.4
B [3]	15 27	55.6	18 27	66.7	18 27	66.7	17 27	63.0	18 27	66.7
C [5]	10 14	71.4	11 14	78.6	9 14	64.3	10 14	71.4	11 14	78.6
D [8]	6 10	60.0	6 10	60.0	4 10	40.0	5 10	50.0	4 10	40.0
E [10]	5 7	71.4	5 7	71.4	6 7	85.7	6 7	85.7	6 7	85.7
合 計	53 80	66.3	59 80	73.8	56 80	70.0	57 80	71.3	58 80	72.5

(注)達成状況の上段は達成水域数を表し、下段が類型全水域数を表す。

4. BOD年平均値の経年変化

大阪府内河川のBOD年平均値の経年変化(淀川水系)

単位:mg/L

河川水質	年度	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19				
淀川下流(1)B ¹	枚方大橋流心	3.9	3.7	5.4	3.3	2.5	2.6	3.9	4.3	4.1	3.2	3.7	4.7	3.8	3.9	3.3	3.6	3.7	3.1	2.9	2.3	1.9	2.1	2.2	2.2	2.2	1.8	1.4	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4	1.2	1.0	1.2	1.1	1.0				
	枚方大橋左岸	3.7	3.9	4.9	3.3	2.6	3.6	3.8	4.2	3.5	3.2	3.6	5.0	3.7	3.9	3.2	3.7	3.9	3.3	2.9	2.5	2.0	2.0	2.1	2.2	2.4	2.2	1.8	1.9	1.6	1.6	1.7	1.4	1.2	1.4	1.1	1.1					
	枚方大橋右岸	4.6	4.4	6.8	3.9	3.1	3.3	4.2	4.5	4.6	3.5	3.8	5.3	4.0	3.9	3.6	3.8	4.0	3.5	3.2	2.6	2.2	2.3	2.3	2.6	2.3	1.9	1.5	1.7	1.6	1.5	1.5	1.2	1.0	1.3	1.1	0.9					
	枚方大橋平均	4.1	4.0	5.7	3.5	2.7	3.2	4.0	4.3	4.1	3.3	3.7	5.0	3.8	3.9	3.4	3.7	3.9	3.3	3.0	2.5	2.0	2.1	2.2	2.3	2.3	2.0	1.6	1.7	1.6	1.5	1.5	1.3	1.1	1.3	1.1	1.0					
	鳥飼大橋流心	3.2	3.7	4.2	2.8	2.5	2.8	3.2	3.7	3.2	2.5	2.9	2.9	3.2	2.9	3.0	3.1	3.0	2.8	2.5	2.4	1.9	2.2	1.8	2.1	1.7	1.6	1.3	1.5	1.4	1.3	1.5	1.8	1.3	1.1	1.4	1.0	1.1				
	鳥飼大橋左岸	3.2	3.3	4.3	2.4	2.3	2.8	3.2	3.7	3.0	2.6	2.8	3.2	3.1	3.0	2.6	2.8	2.6	2.8	2.8	2.4	2.1	1.9	2.1	1.9	2.0	2.0	1.8	1.3	1.4	1.5	1.4	1.6	1.7	1.0	1.3	1.1	1.0				
	鳥飼大橋右岸	3.3	4.0	4.9	2.8	2.9	3.4	3.5	3.5	3.2	2.6	2.8	3.3	3.0	2.9	2.6	2.7	2.7	3.1	2.7	2.6	2.4	2.2	2.1	2.2	1.9	1.6	1.2	1.7	1.5	1.2	1.5	1.6	1.6	1.0	1.3	1.1	1.0				
	鳥飼大橋平均	3.2	3.7	4.5	2.7	2.6	3.0	3.3	3.6	3.1	2.6	2.8	3.1	3.1	2.9	2.7	2.9	2.8	2.9	2.5	2.4	2.1	2.2	1.9	2.1	1.9	1.7	1.3	1.5	1.5	1.3	1.5	1.7	1.5	1.0	1.3	1.1	1.0				
	JR西日本赤川鉄橋	3.9	2.3	2.5	3.2	3.0	3.3	2.9	2.5	2.9	3.0	2.5	2.9	3.0	2.6	2.7	2.6	2.8	3.0	2.5	2.6	2.5	1.8	1.8	2.0	2.5	2.1	1.9	1.4	1.9	1.5	1.6	1.7	1.8	1.4	1.3	1.6	1.2	1.1			
	基準点3地点平均	4.7	2.8	2.6	3.1	3.4	3.8	3.4	2.8	3.4	3.4	3.2	3.1	3.7	3.2	3.2	2.9	3.1	3.2	2.9	2.7	2.4	2.0	2.0	2.0	2.3	2.1	1.8	1.4	1.7	1.5	1.5	1.6	1.7	1.4	1.1	1.4	1.1	1.0			
同上5年間平均	***	***	***	3.3	***	***	3.4	***	***	***	3.4	***	***	3.1	***	***	3.1	***	***	2.4	***	***	***	***	1.9	***	***	***	1.6	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***		
淀川下流(2)C ¹	区 法 大 橋	2.8	2.8	4.8	3.9	3.8	3.0	5.2	8.6	2.5	3.0	3.4	4.6	5.3	5.2	7.7	8.2	7.2	5.0	3.1	3.7	2.5	3.1	3.1	5.4	2.7	2.8	3.0	2.8	3.1	3.5	2.7	4.7	2.8	1.8	3.1	2.7	4.3				
同上5年間平均	***	***	***	4.1	***	***	4.4	***	***	***	***	***	***	6.7	***	***	***	***	***	3.5	***	***	***	***	3.4	***	***	***	3.4	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***		
船 橋 川B ¹	新 登 橋 上 流	23	9.4	3.2	5.0	3.5	2.9	4.3	5.6	9.3	11	8.1	8.3	6.6	7.9	4.9	9.3	7.8	7.0	8.5	7.1	7.5	5.8	7.0	12	8.3	5.6	6.3	6.0	7.9	8.9	7.3	5.1	6.2	7.8	4.9	4.7	***	***	***		
	同上5年間平均	***	***	***	4.8	***	7.7	***	***	***	***	***	***	***	7.4	***	***	***	***	7.6	***	***	***	***	7.7	***	***	***	7.3	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***		
種 谷 川B ¹	淀川合流直前	23	27	22	20	13	20	21	8.9	12	11	12	14	19	19	14	28	16	16	18	14	17	11	14	14	12	8.0	6.1	8.2	7.9	12	7.2	5.6	5.7	8.9	4.6	4.0	***	***			
	同上5年間平均	***	***	***	20.4	***	13.0	***	***	***	***	***	***	***	18.8	***	***	***	***	16.2	***	***	***	***	11.8	***	***	***	8.3	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***		
檜 尾 川B ¹	警 手 社 神 社	***	***	***	***	***	***	***	9.2	3.2	7.4	16	9.4	7.4	9.0	9.9	15	8.2	9.7	11	7.8	6.5	8.4	10	10	10	9.0	7.5	6.5	6.0	3.9	3.4	3.3	2.9	2.3	1.7	2.3	2.2	***	***		
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	9.0	***	***	***	***	***	***	***	9.9	***	***	***	***	8.7	***	***	***	***	***	9.3	***	***	***	4.6	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***		
天 野 川B ¹	淀川合流直前	12	14	14	14	9.7	14	15	9.0	19	9.9	9.3	15	12	13	8.3	17	15	14	12	9.7	12	7.8	11	12	12	12	7.0	6.5	7.1	7.8	7.6	6.6	3.5	3.3	6.2	4.0	2.8	***	***		
	同上5年間平均	***	***	***	13.1	***	12.4	***	***	***	***	***	***	***	13.1	***	***	***	***	12.5	***	***	***	***	***	10.0	***	***	***	7.1	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***		
芥 川 (1)A ¹	塚 脇 橋	***	***	***	***	***	***	***	1.6	2.3	1.8	1.2	1.6	1.2	1.2	1.1	1.2	0.8	0.9	1.1	0.7	0.7	0.8	0.7	1.1	0.9	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.1	0.8	1.1	0.8	0.9	***	***		
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	1.4	***	***	***	***	***	***	***	1.0	***	***	***	***	0.8	***	***	***	***	***	0.8	***	***	***	0.9	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
芥 川 (2)A ¹	鷺 打 橋	15	11	9.8	8.6	7.4	5.1	4.5	4.4	4.4	4.4	6.7	4.2	4.1	5.7	5.2	5.8	5.3	4.1	3.9	4.4	3.3	3.4	3.4	5.1	4.8	3.9	2.8	2.9	2.2	1.6	1.6	1.4	1.3	1.0	1.5	1.0	0.9	***	***		
	同上5年間平均	***	***	***	8.4	***	4.8	***	***	***	***	***	***	***	5.2	***	***	***	***	3.8	***	***	***	***	***	4.0	***	***	***	1.9	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
水 無 瀬 川A ¹	名神高速道路高梁橋下	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	0.5	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	1.0	0.6	1.0	0.6	***	***	
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	0.6	0.5	0.6	0.8	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	1.0	0.6	***	***	
同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7

※各河川水質の類型は、平成20年1月時点の内容を、以下同じ。

単位:mg/L

大阪府内河川のBOD年平均値の経年変化(神崎川水系)

河川水域		年度																																										
		S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19						
神崎川(小松橋)	(左門蔵川を含む)	14	13	16	9.5	5.2	5.6	6.2	7.6	5.8	5.1	4.7	4.7	4.8	5.0	5.2	6.2	4.9	4.3	4.5	4.2	4.0	2.6	2.8	3.7	4.1	3.4	3.0	2.4	3.4	3.1	3.8	2.8	3.0	1.7	1.6	2.3	2.0	1.7					
	千船橋	11	14	13	8.3	5.3	5.5	5.6	6.6	6.5	4.8	7.2	4.7	4.4	5.7	5.0	4.2	3.7	4.3	3.8	3.8	2.3	2.0	2.4	4.1	3.6	2.6	3.7	1.8	2.0	2.9	3.5	2.8	2.8	1.4	2.4	1.8	1.8						
	底已橋	23	28	23	12	8.8	6.2	7.0	8.6	8.7	6.1	5.9	6.3	4.0	3.4	3.7	3.6	3.5	2.9	3.0	3.0	3.0	2.6	2.0	2.2	3.2	2.6	2.2	2.3	1.4	2.0	2.3	2.6	2.5	2.1	1.6	2.2	2.1	1.7					
	基準点3地点平均	16	17	16	9.4	6.2	5.6	6.1	7.4	6.4	5.0	4.7	4.9	4.2	4.1	4.2	4.4	4.0	3.4	3.5	3.3	3.0	2.2	2.2	3.4	3.1	2.6	2.6	1.8	2.5	2.6	2.8	2.6	2.4	2.0	2.2	2.3	1.9						
	同上5年間平均	8.7	5.7	3.1	4.2	1.3	1.4	1.6	1.0	1.4	0.8	0.7	0.9	0.9	0.7	0.8	0.8	1.0	1.0	0.6	1.1	1.8	1.3	1.1	1.0	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7			
安威川上流A1	桑ノ原橋	2.3	2.1	2.8	1.9	1.1	1.5	1.5	1.8	1.4	1.5	1.1	1.2	1.3	1.4	1.6	1.0	1.4	0.8	0.7	0.9	0.9	0.7	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	0.6	1.1	1.8	1.3	1.1	1.0	0.9	0.7	0.7	1.2	0.9	0.7	1.2			
同上5年間平均	1.8	1.4	0.8	1.3	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8			
安威川下流(1)B1	千歳橋	2.9	2.8	4.4	3.0	2.3	2.2	2.3	4.5	2.2	2.2	1.8	3.0	2.4	2.4	3.4	1.7	2.3	1.5	1.7	1.9	1.9	0.9	1.3	3.9	3.5	1.6	1.3	0.9	1.6	2.2	2.0	2.0	1.4	1.3	2.2	1.0	1.4	1.3	2.2	1.0	1.4		
同上5年間平均	2.8	2.7	1.6	2.4	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
安威川下流(2)B0	菅馬橋	3.2	4.5	7.9	4.3	3.1	2.1	2.2	3.1	4.0	1.9	2.0	2.7	3.5	2.3	1.9	1.6	2.9	5.0	1.9	1.9	2.1	1.1	1.5	2.9	2.6	1.7	1.3	0.8	1.8	2.5	2.3	1.9	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	
同上5年間平均	3.9	2.7	2.4	2.4	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
安威川下流(3)C1	新京阪橋	18	13	14	10	9.1	13	11	14	11	8.6	9.7	8.8	10	12	10	7.1	7.5	5.9	7.5	6.5	7.0	6.6	5.7	6.6	6.7	4.3	3.6	4.0	4.2	3.9	4.2	3.5	3.3	1.6	2.2	2.0	2.5	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
同上5年間平均	11.4	10.4	6.7	9.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
佐俣川及び安威川合流直前	菜木川	3.7	4.7	3.0	4.2	6.3	2.8	4.5	3.4	4.6	3.4	3.9	3.8	3.1	4.3	3.4	3.4	3.2	2.8	2.0	1.9	3.2	3.1	2.3	2.7	1.7	1.9	2.6	2.2	2.1	1.5	1.6	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	
同上5年間平均	4.3	3.7	3.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	
大正川B0	安威川合流直前	17	14	16	16	13	15	13	15	17	21	14	21	15	17	21	14	21	15	8.6	11	6.7	3.5	3.1	4.1	3.7	2.3	1.9	1.8	2.1	2.8	2.6	2.0	2.3	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	
同上5年間平均	14.6	9.0	3.0	17.6	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9		
勝尾寺川B0	中河原橋	5.0	5.8	7.1	6.8	4.6	4.0	2.2	2.7	3.4	3.1	2.5	2.1	1.9	1.9	1.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	
同上5年間平均	5.7	2.8	1.8	2.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8		
猪名川上流B1	銀	14	1.9	1.7	2.6	5.3	3.9	4.3	3.1	2.9	2.3	2.4	2.4	2.2	2.2	2.6	2.9	3.2	2.9	2.3	2.2	1.7	1.7	1.9	2.0	1.7	1.9	1.6	1.4	0.9	1.2	1.3	1.2	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8		
同上5年間平均	4.3	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	
軍行橋	安威川合流直前	22	15	21	22	8.6	3.6	3.9	3.7	2.4	2.0	2.5	2.1	1.7	1.8	2.1	1.9	2.3	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
同上5年間平均	14.6	9.0	3.0	17.6	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	
基準点2地点平均	18	8.5	11	12	7.0	3.8	4.1	3.4	2.7	2.2	2.5	2.3	2.0	2.0	2.4	2.4	2.8	2.4	2.1	2.1	1.5	1.6	1.7	1.8	1.5	1.7	1.5	1.2	0.9	1.2	1.3	1.2	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8			
同上5年間平均	7.7	2.6	1.9	2.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
猪名川下流(2)D1	利倉橋	22	45	34	17	33	15	11	12	11	13	16	8.9	7.2	8.4	8.2	7.5	9.5	11	10	10	9.5	9.3	12	9.8	10	9.3	10	6.3	7.0	6.8	10	7.9	6.0	6.0	8.2	8.6	9.0	8.6	9.0				
同上5年間平均	22.0	12.2	10.0	8.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6			
箕面川(1)A1	箕面市取水口	0.8	0.9	1.2	0.8	1.0	0.8	0.9	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
同上5年間平均	0.9	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
箕面川(2)A1	府界	3.8	2.1	2.1	2.2	2.3	1.8	1.3	1.3	1.4	1.4	0.9	0.8	0.9	0.7	0.8	1.1	1.4	0.7	0.8	1.0	0.6	0.9	1.2	2.0	1.0	1.1	1.7	1.1	1.5	1.0	1.2	1.2	1.1	1.5	1.0	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1		
同上5年間平均	1.7	1.1	0.9	1.1	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9			
余野川A1	猪名川合流直前	1.3	1.0	0.9	1.4	1.3	1.0	1.4	1.1	1.2	1.1	0.9	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6																								

単位:mg/L

大阪府内河川のBOD年平均値の経年変化(寝屋川水系)

河川水域	年度																			H19																			
	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元		H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	
寝屋川D八(清水橋)			24	23	26	26	25	33	25	21	30	25	26	31	27	18	29	18	15	18	12	13	11	14	11	7.7	4.6	4.2	3.6	5.2	4.0	3.5	5.4	3.1	3.4	2.3	2.8		
	董島橋	4.8	4.8	11	5.2	5.3	4.0	9.8	9.4	4.7	5.4	6.9	4.2	5.5	6.9	5.9	8.2	4.5	3.5	4.5	4.3	3.1	4.4	5.3	4.5	2.3	2.0	2.1	3.2	3.8	3.3	2.6	4.4	2.5	2.8	1.9	1.9		
	住連大橋	11	14	23	11	13	13	19	22	11	15	17	10	15	19	18	17	20	16	11	12	14	13	16	15	14	11	6.7	6.8	6.7	6.0	6.0	4.6	3.0	3.6	3.0	3.9	3.9	
	今津橋	17	20	26	16	14	14	15	19	14	12	14	10	13	15	14	12	16	11	11	11	11	11	9.7	11	12	9.3	6.3	7.3	9.4	9.8	9.6	9.1	6.7	10	11	7.3	7.3	
	京橋	25	20	23	16	14	13	11	11	9.0	8.2	8.8	6.4	6.2	6.3	6.6	7.5	5.9	5.8	5.5	5.7	5.1	4.4	4.7	5.8	6.8	5.3	4.6	3.4	5.4	5.2	4.2	4.9	4.9	4.4	6.4	6.8	3.9	
	基準点4地点平均	15	12	17	11	9.7	8.5	10	10	6.9	6.8	7.9	5.3	5.9	6.6	6.3	6.6	7.1	5.2	4.5	5.1	4.7	3.8	4.6	5.6	5.7	3.8	3.3	2.8	4.3	4.5	3.8	3.8	4.7	3.5	4.6	4.4	2.9	
	同上5年間平均	***	***	11.2						7.4					6.5				4.6					4.6							3.8							4.0	
	恩智川D八(福茶橋下流100m)	54	150	63	65	30	26	34	21	27	30	21	25	20	17	15	20	22	17	17	17	17	21	16	16	19	17	14	13	11	10	14	14	10	7.8	8.1	11	10	
	(三池橋)															21	16	21	20	21	18	17	15	15	16	16	18	14	17	8.9	12	14	13	12	12	9.7	10	12	9.9
	大東新橋			55	59	31	26	23	26	23	22	22																											
住連新橋	33	44										24	25	24	28	23	28	26	21	21	22	20	21	22	20	19	15	12	10	11	9.5	8.5	7.3	5.3	5.8	4.9	6.3		
同上5年間平均	***	***	38.8						23.4					25.6				22.0								19.4					10.2						5.9		
古川D八(徳栄橋)	31	33	24	26	20	19	25	20	17	18	17	18	17	18	17	19	13	17	17	10	11	11	13	14	12	9.3	8.7	9.4	8.0	7.8	8.5	8.1	6.6	6.0	8.8	9.6	7.0		
同上5年間平均	***	***	24.4						20.4					18.2				12.4								11.4					8.4						7.6		
第二寝屋川D八(巨摩橋)										26	24	28	19	20	22	17	26	16	17	21	19	19	15	14	17	13	10	9.5	10	13	9.3	7.1	7.4	4.3	8.1	3.8	4.3		
新金吾郎橋	25	23	22	17	17	13	14	12	9.9	12	11	14	9.7	10	10	7.9	5.9	8.5	11	8.1	5.9	8.6	11	7.8	9.2	6.0	6.1	7.2	5.2	8.5	5.0	6.0	4.1	4.5	5.1	4.2			
同上5年間平均	***	***	18.4						11.8					10.3				7.9								8.5					6.4						4.8		
(下城見橋)										15	13	10	8.6	9.5	8.4	10	7.7	7.3	7.5	7.0	6.5	7.2	12	10	12	14	10	9.2	7.4	7.2	6.0	7.8	9.0	8.3	9.0	8.9	6.2		
平野川分水路D一(天王田大橋)	85	81	73	70	47	24	23	18	25	18	12	8.9	8.3	9.5	10	10	7.5	8.2	6.1	5.5	5.3	9.2	6.9	9.1	8.8	7.1	5.5	6.0	5.7	4.6	6.8	6.4	8.4	8.1	7.3	6.5			
同上5年間平均	***	***	59.0						19.2					9.3				6.5							8.2						5.7					7.3			
平野川D口(奥竹洲橋)										58	34	30	26	46	23	21	24	28	23	28	22	22	21	34	27	31	21	20	15	14	17	20	16	9.3	10	13	16		
(南弁天橋)						33	35	34	30	32	30	25	16	23	14	17	16	19	18	12	18	15	14	22	16	18	14	6.9	8.4	8.2	7.7	6.4	9.5	7.8	7.5	6.2	5.2		
城見橋	39	38	40	37	22	17	18	16	20	14	12	12	9.0	7.8	8.7	8.3	8.8	9.8	9.4	8.1	8.1	12	11	12	14	11	8.9	7.3	7.2	6.1	6.6	7.7	7.0	8.4	7.8	5.8			
同上5年間平均	***	***	30.8						16.0					9.2				8.8							12.0						7.2					7.3			

大阪府内河川のBOD年平均値の経年変化(大和川水域)

単位:mg/L

河川水域	年度	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19							
石川	高橋	4.5	4.4	6.6	4.4	2.8	3.4	4.0	5.8	3.9	3.3	5.3	5.4	4.1	6.1	4.7	5.2	7.0	4.6	4.2	3.7	4.2	3.1	3.8	5.4	5.7	4.0	2.9	2.5	3.3	2.7	3.2	2.4	2.5	1.8	1.8	2.0	1.6							
	石川橋	6.9	8.0	8.0	3.6	3.5	4.4	4.4	5.4	5.0	4.1	5.1	4.0	3.9	5.4	5.7	4.0	4.2	4.1	4.0	3.8	2.9	3.1	3.3	6.3	5.1	3.8	3.2	2.5	2.7	2.6	3.5	3.5	1.9	1.7	2.2	1.7	1.8							
	基準点2地点平均	5.7	6.2	7.3	4.0	3.2	3.9	4.2	5.6	4.5	3.7	5.2	4.7	4.0	5.8	5.2	4.6	5.6	4.4	4.1	3.8	3.6	3.1	3.6	5.9	5.4	3.9	3.1	2.5	3.0	2.7	3.4	3.0	2.2	1.8	2.0	1.9	1.7							
	同上5年間平均	***	***	***	4.5	4.7	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	5.0	***	***	4.4	3.8	***	***	***	***	4.4	***	***	***	2.9	2.9	***	***	***	1.9	1.9	***	***							
千早川	A1	***	***	3.2	2.8	1.4	2.8	3.7	2.6	1.2	2.2	1.2	1.4	1.8	1.6	1.3	2.3	1.4	1.0	1.0	1.2	1.0	1.0	0.8	0.8	1.3	1.1	1.4	0.7	1.0	1.0	1.2	1.1	1.2	0.8	0.8	1.2	1.2							
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	2.2	***	***	***	***	***	1.7	***	***	1.1	1.1	***	***	***	***	***	1.1	***	***	***	1.0	1.0	***	***	***	1.0	***	***	***							
天見川	B1	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	3.0	3.4	6.5	7.6	7.2	6.2	2.4	3.9	4.1	4.4	4.0	4.3	2.9	3.7	3.0	3.1							
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	6.2	***	***	***	***	***	***	6.2	***	***	***	3.8	***	***	***	***	***	3.4	***	***							
石見川	A1	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	0.9	0.8	3.2	1.6	1.2	1.1	0.7	0.9	0.7	1.2	1.2	1.1	0.7	0.7	1.2	0.7	0.7						
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	1.6	***	***	***	0.9	***	***	***	***	***	0.9	***	***							
飛鳥川	川口	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	5.4	4.1	6.8	5.7				
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	5.6	***				
梅川	川口	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	1.9	1.5	1.4	1.6		
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	7.5	***		
佐備川	川口	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	3.0	3.0	3.2	3.0
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	3.1	***
大和川	中流	9.6	10	13	13	11	15	9.8	12	9.6	9.8	8.6	9.1	10	10	10	11	9.4	10	9.4	7.9	7.7	8.3	11	10	8.6	7.4	6.5	6.6	5.4	5.8	5.9	4.7	5.0	5.1	4.5	4.5	4.8	4.8						
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
大和川	下流	17	18	12	11	18	21	24	22	16	16	16	21	17	20	15	14	15	8.5	8.3	6.6	6.9	9.5	11	20	13	10	8.6	4.1	5.0	4.5	5.4	6.4	5.4	4.5	5.3	4.1	4.2	4.2						
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
東除川	A	26	25	43	21	58	26	56	26	31	29	33	38	33	***	***	34	33	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
	大堀小橋	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
	明治小橋	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
西除川(1)	B	9.6	6.1	5.9	7.1	8.8	8.0	10	11	7.7	9.1	8.0	9.2	9.4	8.7	7.3	9.4	6.9	6.3	4.7	5.0	5.7	5.2	3.6	3.3	3.0	3.8	4.3	5.8	3.6	3.2	2.9	2.9	2.6	2.5	2.5									
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
西除川(2)	A	55	52	48	55	49	82	89	62	39	42	44	39	35	28	29	30	26	22	15	16	15	20	15	14	15	16	10	13	11	14	15	11	10	9.8	10	8.9	8.9							
	同上5年間平均	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	

単位:mg/L

5. BOD75%値の経年変化

大阪府内河川のBOD75%値の経年変化(淀川水域・神崎川水域)

単位:mg/L 0.5 は「<0.5」を示す。

地点	年度																																							
	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19			
淀川	淀川下流(1)(枚方大橋流心)	4.8	4.2	6.7	3.0	2.7	3.0	4.0	4.8	4.4	3.7	3.9	5.7	4.2	4.5	3.6	4.6	4.4	3.8	3.7	2.8	2.4	2.3	2.7	2.5	2.4	2.2	1.6	1.9	1.9	1.8	1.6	1.7	1.5	1.1	1.2	1.2	1.2		
	(枚方大橋左岸)	3.8	5.1	5.0	3.0	3.1	4.6	4.5	4.4	3.6	3.7	3.8	6.4	4.5	4.5	3.7	4.8	4.8	4.3	3.3	2.9	2.2	2.4	2.3	2.4	3.4	2.5	2.0	2.2	2.0	2.0	2.0	2.0	1.6	1.2	1.6	1.3	1.4		
	(枚方大橋右岸)	6.1	4.8	8.6	3.7	3.3	4.6	3.3	5.2	5.2	3.9	4.1	6.1	4.4	4.5	3.7	4.4	4.7	4.2	4.2	3.2	2.6	2.6	2.9	3.1	2.6	2.3	1.6	1.9	1.9	1.8	1.7	1.7	1.3	1.0	1.6	1.3	1.0		
	(鳥飼大橋流心)	3.8	4.6	4.6	3.0	2.7	3.1	3.6	3.9	3.4	3.0	3.1	3.6	3.5	3.5	3.2	3.5	3.0	3.6	2.8	2.8	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.0	2.0	1.5	1.7	1.5	1.5	2.1	1.3	1.5	1.6	1.1	1.1		
	(鳥飼大橋左岸)	4.0	3.9	5.0	2.7	2.7	3.1	3.7	3.8	3.3	3.0	3.0	3.7	3.1	3.3	2.6	3.0	2.8	3.2	2.7	2.0	2.2	2.0	2.0	2.3	2.1	2.0	1.3	1.5	1.5	1.6	1.4	1.7	1.7	0.9	1.4	1.2	1.1		
淀川	(鳥飼大橋右岸)	4.3	4.5	5.4	3.3	3.0	3.9	3.7	3.7	3.5	2.8	3.1	3.9	3.0	3.2	2.6	2.7	2.4	3.9	3.1	2.8	3.0	1.9	2.2	2.1	2.2	1.9	1.2	1.7	1.4	1.2	1.6	1.7	1.9	0.8	1.4	1.4	1.1		
	(鳥飼大橋右岸)			4.1	2.8	3.0	3.3	3.3	3.6	3.2	2.8	3.1	3.0	2.7	3.0	2.6	3.0	3.2	2.9	3.1	2.8	2.1	2.0	1.9	2.2	1.8	2.2	1.4	2.2	1.4	2.0	2.1	2.2	1.6	1.4	1.7	1.3	1.3		
川	淀川下流(2)(伝法大橋)	3.7	2.5	5.6	2.6	2.4	3.5	8.2	7.2	2.9	3.1	4.7	5.7	7.1	6.6	11	12	8.7	4.5	2.5	2.9	2.5	3.8	3.0	6.6	3.2	3.2	4.5	3.9	3.7	4.2	3.4	5.7	3.4	2.5	3.8	4.1	4.8		
	船橋川(新登橋上流)	39	12	3.3	6.1	6.0	3.4	5.5	7.2	12	13	8.9	8.3	6.9	9.8	5.5	13	9.2	8.5	9.4	8.7	7.6	7.7	8.2	10	9.4	6.0	8.6	6.1	10	10	8.6	5.6	8.0	8.9	4.6	5.7			
	穂谷川(淀川合流直前)	28	20	24	21	14	19	11	14	12	12	12	12	18	23	25	17	29	17	19	17	14	19	13	17	18	14	8.2	8.7	11	8.7	12	9.4	6.3	6.1	11	4.7	5.1		
	檜尾川(磐手社神社)																																							
	天野川(淀川合流直前)	15	15	16	15	12	15	19	10	24	12	9.3	19	12	15	13	22	17	16	18	10	13	8.2	11	15	16	7.9	8.3	9.0	10	8.3	8.9	3.8	4.0	7.5	4.5	3.4			
	芥川(1)(塚脇橋)																																							
	芥川(2)(鷺打橋)	17	14	9.6	9.8	9.0	6.6	5.1	5.4	5.9	7.4	5.7	4.6	6.8	4.5	6.9	7.1	5.2	5.1	6.0	4.2	3.7	4.5	6.0	6.3	4.8	3.3	3.7	2.6	1.8	1.5	1.4	1.5	1.1	1.8	1.1	0.9			
	水無瀬川(名高遠道路高架橋下)																																							
	神崎川(新三国橋)	16	16	19	10	5.9	6.7	7.0	8.5	6.8	6.6	5.3	5.3	5.4	5.9	6.0	6.7	5.7	4.6	5.8	4.6	4.0	3.3	3.4	4.3	5.5	3.2	3.4	3.2	4.2	3.7	4.8	3.2	3.8	1.9	2.3	2.4	2.2		
	左門殿川(辰巳橋)	16	12	11	7.6	5.7	5.9	5.5	6.8	4.8	4.5	4.2	4.3	3.9	4.1	4.4	4.3	4.7	3.5	3.0	3.6	2.5	2.1	2.0	4.1	3.2	2.3	2.9	1.7	2.5	2.5	2.5	3.0	2.2	2.1	2.8	2.8	2.0		
安威川上流(桑原橋)	2.3	2.1	3.2	2.3	1.5	1.9	1.8	2.0	2.1	1.8	1.3	1.3	1.9	1.6	2.1	1.2	2.2	0.9	0.7	1.0	1.0	0.6	0.8	0.8	0.7	1.2	1.1	0.6	1.4	1.9	1.5	1.2	1.2	1.1	0.8	0.8	1.4			
安威川下流(1)(千歳橋)	3.3	3.3	4.3	3.4	2.5	3.0	2.9	4.6	2.5	2.7	2.4	3.3	2.4	3.4	4.9	2.6	3.4	1.8	2.2	2.0	2.3	1.2	1.5	5.1	5.2	2.6	1.4	1.0	2.3	2.4	2.3	2.1	1.7	1.5	1.8	1.1	1.5			
安威川下流(2)(宮島橋)	3.5	4.4	1.3	4.4	3.0	2.8	2.8	3.9	3.4	2.2	2.2	3.3	3.5	2.2	2.1	1.6	2.9	8.7	2.4	2.2	2.3	1.2	2.4	4.0	3.6	2.3	1.5	1.0	2.3	3.2	2.6	2.3	1.6	1.5	1.8	1.5	1.9			
安威川下流(3)(新京阪橋)	24	16	17	11	11	15	11	13	13	10	11	10	14	14	13	9.7	10	7.1	9.1	8.3	9.2	8.5	7.2	7.3	9.2	5.3	4.2	5.0	5.6	3.9	5.8	4.1	3.9	1.7	2.7	2.4	3.3			
茨木川(安威川合流直前)																																								
大正川(安威川合流直前)																																								
勝尾寺川(中河原橋)																																								
猪名川上流(銀橋)	2.3	2.6	2.5	2.2	3.3	4.3	5.0	3.8	3.3	2.6	2.8	2.7	2.9	2.5	2.8	2.8	4.3	3.1	2.6	2.5	1.9	2.0	2.3	2.2	2.0	2.3	1.6	1.5	0.9	1.4	1.5	1.2	1.1	1.0	1.1	1.0	0.9			
猪名川下流(2)(利倉橋)	27	21	22	31	5.3	4.0	4.5	4.6	2.6	2.4	2.6	2.7	1.7	1.8	2.4	2.3	2.5	2.1	2.6	2.2	1.5	1.8	1.7	1.9	1.5	1.6	1.6	1.3	1.0	1.3	1.2	1.3	1.2	1.0	1.0	0.9	0.8			
猪名川下流(1)(箕面市取水口)	32	54	45	20	41	17	13	17	13	14	18	9.4	8.4	8.9	8.9	8.7	11	13	11	12	10	10	12	9.3	12	12	12	7.0	8.5	7.9	10	10	7.1	7.0	10	11	11			
箕面川(1)(府県境)																																								
箕面川(2)(猪名川合流直前)																																								
猪名川(猪名川合流直前)																																								
千里川(猪名川合流直前)																																								
田尻川(兵庫県界)																																								
一庫・大路次川(兵庫県界)																																								
山辺川(一庫・大路次川合流直前)																																								

※各河川水域の類型は、平成20年11月時点の内容を、以下同じ。

大阪府内河川のBOD75%値の経年変化(寝屋川水域・大阪市内河川・大和川水域)

単位:mg/L 0.5は「0.5」を示す。

地点	年度																																							
	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19			
寝屋川	5.5	6.5	15	6.9	7.5	4.8	13	10	5.8	5.7	8.7	4.2	8.4	8.6	5.3	9.0	14	5.4	4.4	4.6	6.4	3.4	5.4	7.9	7.3	2.7	2.3	2.1	2.9	3.9	4.0	3.3	3.3	2.9	3.2	1.8	2.6			
	23	18	26	14	17	16	26	27	11	15	17	15	13	14	18	18	16	21	15	14	14	20	16	27	20	18	12	9.2	8.1	8.1	8.0	6.8	6.4	5.2	3.5	4.1	3.4	4.1		
	33	24	24	18	16	15	11	12	9.0	10	10	7.9	6.3	7.4	7.6	7.5	7.1	6.9	6.3	6.8	6.0	5.7	5.2	6.0	8.9	6.0	5.4	3.6	5.3	5.9	5.1	6.6	5.4	4.8	5.9	8.3	4.3			
	44	56										30	28	28	29	30	31	33	26	21	25	26	28	25	23	21	17	14	13	13	11	9.7	8.3	6.3	7.3	6.6	8.5			
屋古川	33	41	23	32	19	16	28	24	24	18	20	22	23	23	19	22	16	24	12	16	13	19	17	13	9.5	11	13	9.6	9.2	12	12	7.3	7.4	10	12	10	10			
第二寝屋川	28	21	19	19	19	14	16	15	13	14	17	9.3	13	11	10	6.9	10	9.3	6.8	8.7	15	9.6	14	6.1	6.4	9.1	5.9	8.7	4.9	8.0	4.6	4.8	5.9	5.2	5.2	5.2				
平野川分水路	91	110	91	92	50	29	24	24	22	18	12	9.1	9.1	11	10	9.0	8.7	8.8	6.6	5.9	6.4	10	7.3	10	9.4	8.6	5.8	6.2	5.7	7.9	8.4	9.7	9.3	7.4	9.2	9.2				
平野川	42	48	55	39	27	20	22	17	19	17	14	14	12	10	9.7	8.8	10	10	11	9.2	9.7	13	12	12	17	13	9.8	8.3	8.5	8.3	6.8	7.7	8.4	9.5	8.4	7.2				
大川	3.6	4.3	3.6	3.7	3.3	2.9	2.6	3.3	2.9	3.1	2.8	2.8	2.8	3.2	2.4	2.8	4.2	3.3	2.7	2.9	2.2	2.2	2.1	3.0	2.5	2.3	2.2	1.6	2.1	1.9	1.5	1.4	1.3	1.4	2.5	1.5	1.6			
堂島川	12	8.3	13	4.7	3.2	4.3	4.9	5.3	4.5	4.5	3.4	3.9	3.1	3.6	3.1	3.4	4.5	3.7	3.5	3.2	2.7	3.2	4.2	4.7	5.4	3.9	4.7	3.7	3.9	2.3	2.3	2.6	3.1	2.2	3.9	3.1	2.6			
大土佐堀川	15	20	20	11	11	10	8.9	9.4	8.1	7.7	6.7	8.7	5.6	5.8	6.3	5.5	5.7	6.2	6.7	5.6	4.5	6.0	6.1	6.5	6.7	7.7	6.1	4.2	5.1	4.3	3.0	4.3	4.8	5.0	6.2	5.6	3.4			
阪道頓堀川	20	21	15	8.7	9.9	10	7.2	9.8	4.0	3.5	4.5	6.7	6.9	3.4	3.5	3.2	4.1	2.8	2.9	3.4	3.3	2.9	2.8	3.7	3.3	2.7	2.5	2.8	3.3	3.8	2.3	3.3	2.3	1.9	2.7	2.0	2.7			
市正蓮寺川																																								
内六軒家川	11	7.4	5.2	4.5	4.9	4.9	4.1	3.6	4.2	3.7	3.8	3.5	3.0	3.0	3.0	3.6	3.6	2.7	3.4	2.9	2.4	2.4	2.6	5.1	4.0	3.2	2.6	2.1	2.8	2.6	2.2	2.4	2.2	1.2	2.1	2.1	1.6	1.8		
河安治川	5.7	3.4	3.0	3.1	2.4	2.6	2.0	2.2	2.2	2.2	2.5	1.9	2.0	2.1	2.3	2.1	2.7	2.0	1.8	2.3	2.0	1.8	2.5	2.7	1.9	1.9	2.0	2.0	1.7	1.8	1.2	1.8	1.4	1.5	1.8	1.4	1.4			
川尻無川																																								
木津川	14	12	10	11	14	11	7.8	9.4	4.7	4.2	3.9	3.7	3.5	3.2	3.4	4.0	4.3	3.4	3.7	3.1	3.0	3.3	4.2	2.8	2.9	3.3	2.7	2.3	2.3	2.1	1.9	2.4	2.4	2.3	3.9	2.0	1.7	1.6		
木津川運河	7.8	4.5	4.9	4.6	6.2	3.3	4.1	3.7	3.0	3.8	3.1	3.3	2.9	3.1	3.7	2.7	3.1	3.1	3.1	3.0	2.8	2.3	2.4	3.1	3.1	2.9	2.2	2.2	2.4	2.1	2.1	2.0	2.2	2.0	3.2	2.1	1.6			
住吉川																																								
東横堀川					9.7	12	7.0	7.1	3.8	4.7	4.4	4.7	4.1	4.0	4.0	5.1	5.6	3.9	4.3	4.1	3.9	4.3	4.6	5.5	4.6	5.3	3.8	3.5	3.7	5.3	4.3	3.7	2.8	2.6	3.6	2.0	2.3			
石川	4.2	4.7	7.4	4.2	3.4	4.6	4.6	7.2	4.7	4.2	7.0	6.0	4.9	6.4	5.1	7.6	9.8	6.3	6.5	3.9	5.5	5.7	5.4	5.2	8.6	5.7	3.2	3.8	4.2	3.5	4.5	2.7	2.7	2.3	2.5	2.3	2.0			
千早川	7.0	9.7	8.7	3.7	4.0	6.4	5.6	6.6	6.3	5.3	6.3	4.6	5.3	8.1	8.4	5.7	5.1	5.2	4.7	4.5	3.8	3.9	4.4	5.5	6.3	4.7	3.9	3.0	3.2	3.0	5.1	3.2	2.4	2.1	2.5	1.8	2.1			
大天見川					2.3	2.7	0.9	2.4	4.2	4.2	2.2	1.7	1.4	2.7	1.9	1.6	3.6	1.2	1.2	1.3	1.3	1.1	0.9	0.8	1.7	1.2	1.7	0.5	1.2	1.2	1.5	1.2	1.4	1.1	0.9	1.3	1.6			
石見川																																								
飛鳥川																																								
梅川																																								
佐備川																																								
大和川	8.8	12	13	10	10	11	12	9.6	11	7.6	11	7.5	9.4	12	12	9.5	11	11	10	8.1	6.9	7.8	6.7	8.9	9.1	6.6	6.7	5.6	6.9	5.8	5.9	5.1	4.7	4.7	5.4	4.5	5.0			
大和川中流																																								
大和川下流																																								
大和川(狭山池流出端)																																								
西除川																																								
西除川(2)	68	57	57	56	48	100	96	70	52	51	51	48	39	32	29	36	33	24	19	17	18	18	17	16	15	17	13	15	13	15	13	16	16	12	11	10	11	11		

大阪府内河川のBOD75%値の経年変化(泉州諸河川)

単位: mg/L 0.5 は「<0.5」を示す。

地点	年度																																							
	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19			
泉州	石津川(石津川橋)	E/A	32	29	32	33	31	24	21	18	16	19	21	16	18	17	16	13	18	15	14	12	13	14	19	15	13	17	11	10	11	10	12	10	6.5	8.1	7.0	6.1		
	和田川(小野々井橋)	C/A		13	11	7.6	8.2	6.0	8.8	8.0	6.7	7.1	7.1	4.5	5.6	5.2	11	6.3	7.8	7.5	6.1	5.1	7.8	7.3	10	15	12	11	8.7	9.7	11	8.3	10	13	10	6.7	6.2	5.5	5.2	
	大津川上流(高津取水口)	B口		5.6	6.2	6.6	5.4	5.0	6.7	7.6	6.6	4.9	6.6	8.7	7.3	7.3	9.5	9.0	9.6	8.8	8.2	7.2	8.0	8.4	10	13	14	9.4	7.4	6.1	5.3	8.8	10	7.7	5.1	6.8	7.6	4.7	3.9	
	大津川下流(大津川橋)	D/A	8.5	5.9	7.2	6.2	5.5	7.5	8.5	7.5	6.8	4.3	6.5	5.9	6.1	7.9	7.5	8.9	9.1	7.7	6.9	6.7	7.5	8.8	11	14	18	10	7.5	5.5	7.4	12	9.8	8.5	7.5	6.5	7.7	6.7	5.9	
州	牛滝川(高橋)	B/A		7.3	5.9	6.3	5.4	5.4	8.1	7.8	6.6	6.1	6.8	6.6	8.5	9.5	7.5	8.8	8.1	9.0	6.6	6.2	7.5	7.0	7.3	9.1	10	6.8	6.0	4.3	5.3	6.5	6.6	3.7	2.8	3.2	2.8	3.2	2.5	
	松尾川(新緑田橋)	B/A		5.6	7.1	6.3	5.4	6.3	9.0	9.8	6.9	6.2	11	12	11	10	12	14	13	14	12	9.1	9.6	9.9	10	11	11	9.8	6.7	4.3	5.1	6.7	6.9	4.9	3.9	4.3	5.1	3.9	3.7	
	磯尾川(繁和橋)	B/A		3.1	6.9	5.9	13	14	19	16	9.6	23	16	8.7	7.9	6.7	8.8	8.1	8.7	5.4	6.9	5.9	8.3	10	14	9.5	6.4	6.4	4.1	9.1	7.4	8.8	8.4	4.6	4.8	5.5	3.7	4.1		
	父鬼川(神田橋)	A/A		2.1	0.9	1.2	0.7	1.1	1.6	1.5	1.5	1.1	1.4	1.7	1.4	2.1	1.6	1.9	1.7	1.7	1.6	1.7	2.6	2.0	2.0	1.6	1.5	2.8	1.8	1.7	2.2	2.0	2.5	2.1	1.9	1.9	1.6	1.6	2.0	
諸	春木川(春木橋)	E/A	26	25	27	25	20	33	28	29	27	21	34	34	31	32	37	30	31	29	25	22	29	23	29	26	27	19	17	16	14	14	12	10	7.1	7.4	7.0	7.2	5.5	
	津田川(昭代橋)	E/A	13	10	9.9	7.9	8.9	9.8	11	10	8.9	10	12	9.1	11	20	11	11	15	16	11	8.9	11	13	13	16	15	12	10	12	15	13	13	11	10	11	10	9.3	8.9	
	近木川上流(厄除橋)	B/A		13	5.7	2.6	1.7	1.9	3.1	2.6	2.0	2.8	3.2	2.1	5.2	5.3	5.9	3.9	6.9	3.1	4.8	3.0	3.8	3.3	3.6	7.4	8.8	6.1	3.5	3.5	2.4	2.8	3.0	3.1	2.2	2.3	2.5	2.0	2.6	
	近木川下流(近木川橋)	E/A	19	25	37	18	12	18	19	24	11	21	30	28	50	39	44	42	35	23	24	36	25	26	25	31	30	22	23	12	9.1	11	13	9.9	9.1	6.6	9.2	7.7	7.5	
河	見出川(見出橋)	E/A	11	12	11	10	17	14	20	20	16	16	16	11	15	17	18	19	19	17	15	14	16	18	16	14	14	12	8.3	16	15	14	16	13	11	12	13	13		
	佐野川(昭平橋)	E/A	17	20	28	20	10	18	19	20	24	27	34	28	22	20	21	18	19	18	15	14	16	19	16	18	17	14	12	8.2	10	14	13	11	9.9	9.2	10	9.6	9.0	
	榎井川上流(兔田橋)	B/A		2.6	1.9	1.7	2.5	2.0	3.4	4.2	2.7	4.0	3.7	3.7	3.8	4.2	2.4	2.9	2.6	4.1	4.7	3.7	4.8	3.1	4.0	5.5	6.3	6.0	5.7	6.1	4.6	3.8	9.2	8.4	5.4	5.8	5.4	7.2	9.2	
	榎井川下流(榎井川橋)	E/A	24	37	35	19	25	22	28	26	18	14	15	15	14	13	13	16	16	13	13	11	15	13	19	15	20	11	18	35	23	12	18	25	12	7.9	7.1	8.0	8.6	
川	男里川(男里川橋)	A/A		3.5	4.0	3.5	3.7	2.7	5.5	9.0	6.8	4.9	9.9	4.2	4.6	13	7.0	8.2	20	5.7	6.7	3.2	3.5	3.7	4.1	9.8	6.0	5.2	3.1	6.0	4.5	3.9	5.0	3.6	5.0	4.3	3.8	3.4	3.5	
	金熊寺川(男里橋)	A/A		4.8	2.7	5.9	6.8	5.4	13	41	13	13	82	11	42	70	29	41	130	40	15	20	2.7	2.7	3.0	2.9	4.6	3.2	2.6	2.5	3.0	3.8	4.1	2.7	2.9	3.3	3.0	2.2	2.9	
	菟砥川(西打合橋)	A/A		2.8	11	2.5	2.4	2.7	3.0	3.6	2.7	2.5	2.5	2.3	3.7	3.9	2.8	3.7	3.6	4.3	2.7	2.3	3.5	3.1	3.5	4.0	5.3	4.0	3.1	1.9	3.3	3.3	4.3	3.2	3.4	4.3	3.1	3.4	3.4	
	山中川(東打合橋)	A/A		1.9	1.4	1.1	2.2	1.8	1.2	1.9	1.5	1.3	1.4	1.3	1.3	2.5	1.9	2.8	2.4	3.7	2.0	1.9	2.5	2.7	3.6	2.6	3.2	2.9	2.3	1.6	1.6	2.4	3.1	1.8	2.2	1.8	1.7	1.5	2.0	
大	番川(田身輪橋)	A/A		1.5	0.6	0.7	0.9	1.9	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.5	1.1	1.4	1.2	1.5	1.3	1.3	1.0	1.1	1.3	1.7	1.9	1.1	1.2	1.3	1.2	0.8	1.1	1.8	1.9	0.9	1.3	1.2	1.2	0.9	1.2	
	大川(昭南橋)	A/A		4.0	7.2	2.0	2.2	2.4	2.1	3.1	1.9	1.5	2.3	4.9	3.0	4.2	2.0	3.1	2.3	2.0	2.1	1.6	2.0	1.8	1.7	3.8	3.0	2.5	2.1	1.1	1.9	2.1	3.2	1.7	1.6	1.5	1.7	1.1	1.7	
	東川(一軒屋橋)	A/A		2.3	1.4	1.2	1.6	1.5	3.4	2.5	1.3	1.5	2.3	1.2	1.1	1.3	1.5	1.8	1.7	1.8	1.3	1.6	1.9	2.0	1.9	2.3	2.0	2.0	2.3	1.2	1.6	1.9	2.7	1.6	1.8	1.6	1.9	1.4	2.0	
	西川(こうや橋)	A/A		2.5	1.0	1.3	0.7	1.4	1.3	1.6	0.9	1.1	1.2	0.9	1.0	0.9	1.2	2.0	1.4	1.2	1.3	1.2	1.5	1.7	1.4	1.0	1.0	1.5	1.3	0.9	1.3	1.7	2.5	1.1	1.2	1.3	1.5	1.0	1.5	

6 河川水質 (pH、DO) 調査結果 (平成19年度)

水域	河川	測定地点	類型	水素イオン濃度 [pH]				溶存酸素量 [DO (mg/L)]			
				最小	最大	m / n	最小	最大	平均	m / n	
淀川水系	淀川	枚方大橋流心	B	7.4	7.9	0 / 12	7.5	11	9.2	0 / 12	
		枚方大橋左岸	B	7.4	7.9	0 / 12	7.5	11	9.2	0 / 12	
		枚方大橋右岸	B	7.4	7.9	0 / 12	7.6	12	9.6	0 / 12	
		鳥飼大橋流心	B	7.5	7.8	0 / 12	7.2	11	9.0	0 / 12	
		鳥飼大橋左岸	B	7.5	7.6	0 / 4	8.6	11	9.4	0 / 4	
		鳥飼大橋右岸	B	7.5	7.6	0 / 4	7.8	11	9.1	0 / 4	
		西日本旅客鉄道榊赤川鉄橋	B	7.5	7.8	0 / 12	6.7	11	9.1	0 / 12	
		伝法大橋	C	7.7	8.8	2 / 12	6.3	18	11	0 / 12	
	船橋川	新登橋上流	B	7.6	9.5	11 / 48	9.6	20	14	0 / 12	
	穂谷川	淀川合流直前	B	7.4	9.7	11 / 48	9.8	19	14	0 / 12	
	檜尾川	磐手杜神社	B	7.6	9.1	5 / 45	7.6	13	10	0 / 12	
	天野川	淀川合流直前	B	7.6	10.0	10 / 48	7.2	17	12	0 / 12	
	芥川	塚脇橋	A	7.9	8.8	3 / 12	8.2	14	11	0 / 12	
		鷺打橋	A	7.5	9.4	8 / 12	8.5	15	12	0 / 12	
水無瀬川	名神高速道路高架橋下	A	7.1	9.1	6 / 48	8.6	14	12	0 / 12		
神崎川水系	神崎川	新三国橋	B	6.9	8.2	0 / 48	5.3	11	7.4	0 / 12	
		千船橋	B	7.2	8.0	0 / 48	5.1	11	7.3	0 / 12	
	左門殿川	辰巳橋	B	7.1	8.4	0 / 48	5.0	10	6.7	0 / 12	
		桑ノ原橋	A	7.4	9.1	3 / 48	7.9	13	9.9	0 / 12	
	安威川	千歳橋	B	7.8	9.6	29 / 48	9.6	16	13	0 / 12	
		宮島橋	B	7.6	9.4	25 / 48	8.4	17	12	0 / 12	
		新京阪橋	C	6.6	8.1	0 / 48	6.1	10	7.9	0 / 12	
	佐保川及び茨木川	安威川合流直前	B	7.5	9.5	15 / 48	8.2	15	12	0 / 12	
	大正川	安威川合流直前	B	7.4	9.3	10 / 48	7.6	15	11	0 / 12	
	勝尾寺川	中河原橋	B	7.4	9.3	12 / 48	9.3	15	12	0 / 12	
	猪名川	銀橋	B	7.8	8.1	0 / 12	8.8	15	11	0 / 12	
		軍行橋	B	7.8	8.2	0 / 12	9.5	16	12	0 / 12	
		利倉橋	D	7.2	7.7	0 / 12	6.1	8.6	7.0	0 / 12	
	箕面川	箕面市取水口	A	7.3	8.6	1 / 48	8.2	12	10	0 / 12	
		府県境	A	7.2	9.7	16 / 48	8.1	17	14	0 / 12	
	余野川	猪名川合流直前	A	7.2	8.7	1 / 48	8.3	13	10	0 / 12	
	千里川	猪名川合流直前	A	7.6	9.8	19 / 30	7.6	17	12	0 / 12	
	田尻川	兵庫県界	A	7.2	8.7	3 / 48	8.0	13	10	0 / 12	
	一庫・大路次川	兵庫県界	A	7.1	8.5	0 / 48	8.4	13	10	0 / 12	
	山辺川	一庫・大路次川合流直前	A	7.1	8.1	0 / 48	8.3	13	10	0 / 12	
寝屋川水系	寝屋川	萱島橋	D	6.8	8.2	0 / 48	7.3	20	11	0 / 12	
		住道大橋	D	6.9	8.2	0 / 48	3.6	9.7	7.4	0 / 12	
		今津橋	D	7.0	7.3	0 / 48	1.8	6.6	4.3	1 / 12	
		京橋	D	6.9	7.6	0 / 48	1.6	11	7.5	1 / 12	
	恩智川	住道新橋	D	6.9	8.0	0 / 48	3.1	10	5.5	0 / 12	
	古川	徳栄橋	D	6.9	7.3	0 / 48	1.2	6.7	4.0	2 / 12	
	第二寝屋川	新金吾郎橋	D	6.6	7.5	0 / 48	4.2	8.3	6.7	0 / 12	
	平野川分水路	天王田大橋	D	6.7	7.2	0 / 48	3.4	6.6	5.0	0 / 12	
平野川	城見橋	D	6.8	7.2	0 / 48	1.2	6.9	4.2	2 / 12		
大阪市内河川	大川	桜宮橋	B	7.0	7.9	0 / 48	8.2	12	9.8	0 / 12	
	堂島川	天神橋	B	7.1	7.6	0 / 48	4.9	11	8.3	1 / 12	
	土佐堀川	天神橋	C	7.0	7.5	0 / 48	4.0	11	7.6	2 / 12	
	道頓堀川	大黒橋	B	7.0	7.7	0 / 48	3.4	10	7.3	2 / 12	
	正蓮寺川	北港大橋下流 700m	C	7.2	8.5	0 / 12	2.9	16	7.0	3 / 12	
	六軒家川	春日出橋	B	7.3	8.7	1 / 48	4.9	11	8.0	1 / 12	
	安治川	天保山渡	B	7.1	8.1	0 / 48	4.5	10	7.3	1 / 12	
	尻無川	甚兵衛渡	C	7.1	7.8	0 / 48	2.9	8.7	6.4	1 / 12	
	木津川	千本松渡	C	7.1	7.8	0 / 48	4.1	8.1	6.4	2 / 12	
	木津川運河	船町渡	C	7.0	8.0	0 / 48	3.3	10	7.1	2 / 12	
	住吉川	住之江大橋下流 1100m	C	7.1	7.5	0 / 48	4.1	7.0	5.7	3 / 12	
	東横堀川	本町橋	C	7.0	7.6	0 / 48	2.1	10	6.4	3 / 12	

水域	河川	測定地点	類型	水素イオン濃度〔pH〕				溶存酸素量〔DO (mg/L)〕			
				最小	最大	m / n		最小	最大	平均	m / n
寝屋川水系	寝屋川	萱島橋	D	6.8	8.2	0 / 48	7.3	20	11	0 / 12	
		住道大橋	D	6.9	8.2	0 / 48	3.6	9.7	7.4	0 / 12	
		今津橋	D	7.0	7.3	0 / 48	1.8	6.6	4.3	1 / 12	
		京橋	D	6.9	7.6	0 / 48	1.6	11	7.5	1 / 12	
	恩智川	住道新橋	D	6.9	8.0	0 / 48	3.1	10	5.5	0 / 12	
	古川	徳栄橋	D	6.9	7.3	0 / 48	1.2	6.7	4.0	2 / 12	
	第二寝屋川	新金吾郎橋	D	6.6	7.5	0 / 48	4.2	8.3	6.7	0 / 12	
	平野川分水路	天王田大橋	D	6.7	7.2	0 / 48	3.4	6.6	5.0	0 / 12	
平野川	城見橋	D	6.8	7.2	0 / 48	1.2	6.9	4.2	2 / 12		
大阪市内河川	大川	桜宮橋	B	7.0	7.9	0 / 48	8.2	12	9.8	0 / 12	
	堂島川	天神橋	B	7.1	7.6	0 / 48	4.9	11	8.3	1 / 12	
	土佐堀川	天神橋	C	7.0	7.5	0 / 48	4.0	11	7.6	2 / 12	
	道頓堀川	大黒橋	B	7.0	7.7	0 / 48	3.4	10	7.3	2 / 12	
	正蓮寺川	北港大橋下流700m	C	7.2	8.5	0 / 12	2.9	16	7.0	3 / 12	
	六軒家川	春日出橋	B	7.3	8.7	1 / 48	4.9	11	8.0	1 / 12	
	安治川	天保山渡	B	7.1	8.1	0 / 48	4.5	10	7.3	1 / 12	
	尻無川	甚兵衛渡	C	7.1	7.8	0 / 48	2.9	8.7	6.4	1 / 12	
	木津川	千本松渡	C	7.1	7.8	0 / 48	4.1	8.1	6.4	2 / 12	
	木津川運河	船町渡	C	7.0	8.0	0 / 48	3.3	10	7.1	2 / 12	
	住吉川	住之江大橋下流1100m	C	7.1	7.5	0 / 48	4.1	7.0	5.7	3 / 12	
	東横堀川	本町橋	C	7.0	7.6	0 / 48	2.1	10	6.4	3 / 12	
	大和川水系	石川	高橋	B	7.2	9.1	6 / 48	8.4	14	11	0 / 12
石川橋			B	7.8	8.2	0 / 12	8.4	13	11	0 / 12	
千早川		石川合流直前	A	7.1	8.9	1 / 48	7.8	12	9.7	0 / 12	
天見川		新喜多橋	B	7.6	8.5	0 / 48	7.7	11	9.2	0 / 12	
石見川		新高野橋	A	7.7	8.6	1 / 48	8.2	12	9.8	0 / 12	
飛鳥川		円明橋	C	7.2	8.4	0 / 48	5.0	10	8.0	0 / 12	
梅川		石川合流直前	B	7.2	7.9	0 / 48	8.0	12	9.6	0 / 12	
佐備川		大伴橋	C	7.3	9.3	6 / 48	8.5	12	10	0 / 12	
大和川		河内橋	C	7.7	8.1	0 / 12	7.6	11	9.3	0 / 12	
		浅香新取水口	C	7.7	8.3	0 / 12	7.5	13	10	0 / 12	
		遠里小野橋	D	7.6	8.0	0 / 12	7.8	12	9.8	0 / 12	
東除川		明治小橋	C	7.1	8.3	0 / 48	5.4	9.6	7.3	0 / 12	
西除川		狭山池流出端	B	7.3	10.4	42 / 48	11	20	13	0 / 12	
	大和川合流直前	D	7.4	9.1	1 / 48	6.0	11	8.3	0 / 12		
泉州諸河川	石津川	石津川橋	E	7.3	8.0	0 / 48	6.0	11	7.6	0 / 12	
	和田川	小野々井橋	C	7.6	9.1	2 / 48	8.4	13	11	0 / 12	
	大津川	高津取水口	B	7.0	8.8	3 / 48	8.1	13	10	0 / 12	
		大津川橋	D	6.9	8.5	0 / 48	8.7	13	11	0 / 12	
	牛滝川	高橋	B	6.7	9.0	1 / 48	10	16	12	0 / 12	
	松尾川	新緑田橋	B	7.2	9.1	7 / 48	8.6	14	11	0 / 12	
	横尾川	繁和橋	B	7.0	9.3	4 / 48	7.0	14	10	0 / 12	
	父鬼川	神田橋	A	7.3	8.9	1 / 48	7.2	12	10	1 / 12	
	春木川	春木橋	E	6.2	8.1	0 / 48	7.0	10	8.2	0 / 12	
	津田川	昭代橋	E	6.8	8.5	0 / 48	7.3	13	9.6	0 / 12	
	近木川	厄除橋	B	7.4	8.5	0 / 48	7.3	13	10	0 / 12	
		近木川橋	E	7.1	8.1	0 / 48	6.0	11	8.6	0 / 12	
	見出川	見出橋	E	7.1	8.1	0 / 48	5.3	10	8.0	0 / 12	
	佐野川	昭平橋	E	6.9	8.3	0 / 48	7.5	13	9.3	0 / 12	
	櫻井川	兔田橋	B	7.5	10.2	18 / 48	9.2	23	15	0 / 12	
		櫻井川橋	E	7.0	9.3	3 / 48	7.5	16	10	0 / 12	
	男里川	男里川橋	A	7.2	8.5	0 / 48	7.4	12	10	1 / 12	
	金熊寺川	男里橋	A	7.2	8.6	2 / 48	7.8	14	11	0 / 12	
	菟砥川	西打合橋	A	7.2	9.3	2 / 48	7.1	16	9.3	2 / 12	
	山中川	東打合橋	A	7.0	9.2	3 / 48	7.9	15	11	0 / 12	
	番川	田身輪橋	A	7.4	8.7	1 / 48	7.4	14	10	1 / 12	
	大川	昭南橋	A	7.2	8.2	0 / 48	5.9	11	8.1	6 / 12	
	東川	一軒屋橋	A	7.3	9.3	4 / 48	6.3	16	10	3 / 12	
西川	こうや橋	A	7.0	8.2	0 / 48	6.0	11	8.6	4 / 12		

7 河川水質（BOD、大腸菌群数）調査結果（平成19年度）

水域	河川	測定地点	類型	生物化学的酸素要求量				大腸菌群数			
				BOD (mg/L)				Coli-G (MPN/100mL)			
				最小	最大	平均	m / n	最小	最大	平均	m / n
淀川水系	淀川	枚方大橋流心	B	0.5	1.2	1.0	0 / 12	4.9E+02	2.2E+04	6.3E+03	4 / 12
		枚方大橋左岸	B	0.6	1.5	1.1	0 / 12	7.9E+02	2.3E+04	7.9E+03	3 / 12
		枚方大橋右岸	B	0.6	1.2	0.9	0 / 12	7.9E+02	1.7E+04	7.2E+03	6 / 12
		鳥飼大橋流心	B	0.8	1.4	1.1	0 / 12	7.0E+02	7.9E+03	3.4E+03	1 / 12
		鳥飼大橋左岸	B	0.6	1.4	1.0	0 / 4	1.4E+03	1.7E+04	6.3E+03	1 / 4
		鳥飼大橋右岸	B	0.8	1.1	1.0	0 / 4	1.1E+03	2.3E+04	7.8E+03	1 / 4
		西日本旅客鉄道(株)赤川鉄橋	B	0.6	2.3	1.1	0 / 12	4.6E+02	1.7E+04	3.7E+03	1 / 12
	船橋川	新登橋上流	B	2.7	9.0	4.7	10 / 12	7.0E+01	7.9E+05	9.9E+04	6 / 12
	穂谷川	淀川合流直前	B	1.7	6.9	4.0	7 / 12	1.3E+03	1.7E+05	4.8E+04	9 / 12
	檜尾川	磐手杜神社	B	1.3	3.5	2.2	1 / 12	3.3E+03	7.9E+04	3.6E+04	11 / 12
	天野川	淀川合流直前	B	1.6	4.9	2.8	5 / 12	7.8E+00	7.9E+04	2.2E+04	8 / 12
	芥川	塚脇橋	A	<0.5	3.4	0.9	1 / 12	3.3E+02	3.3E+04	8.7E+03	10 / 12
		鷺打橋	A	0.6	1.3	0.9	0 / 12	4.9E+01	4.9E+04	9.3E+03	6 / 12
	水無瀬川	名神高速道路高架橋下	A	<0.5	0.8	0.6	0 / 12	1.7E+02	2.4E+04	6.4E+03	9 / 12
神崎川水系	神崎川	新三国橋	B	0.5	2.9	1.9	0 / 12	3.3E+03	4.9E+05	7.7E+04	11 / 12
		千船橋	B	1.1	5.1	2.0	1 / 12	3.3E+02	7.9E+04	2.1E+04	5 / 12
	左門殿川	辰巳橋	B	0.6	2.8	1.7	0 / 12	1.3E+03	2.4E+05	3.6E+04	6 / 12
	安威川	桑ノ原橋	A	<0.5	2.0	1.2	0 / 12	3.3E+01	1.1E+04	2.1E+03	6 / 12
		千歳橋	B	0.6	2.5	1.4	0 / 12	2.3E+01	7.9E+03	2.7E+03	3 / 12
		宮鳥橋	B	0.6	2.7	1.5	0 / 12	4.9E+01	2.2E+04	3.7E+03	2 / 12
	佐保川及び茨木川	安威川合流直前	B	0.6	2.6	1.5	0 / 12	4.9E+01	2.2E+04	4.2E+03	3 / 12
	大正川	安威川合流直前	B	0.7	2.5	1.6	0 / 12	2.4E+03	1.3E+05	3.3E+04	9 / 12
	勝尾寺川	中河原橋	B	0.9	2.7	1.6	0 / 12	3.3E+02	1.3E+05	1.5E+04	4 / 12
	猪名川	銀橋	B	0.6	1.0	0.8	0 / 12	2.4E+02	1.3E+04	4.4E+03	4 / 12
		軍行橋	B	0.5	1.1	0.8	0 / 12	4.9E+01	7.9E+03	1.8E+03	1 / 12
	箕面川	箕面市取水口	A	<0.5	1.3	0.7	0 / 12	1.7E+02	4.9E+04	8.5E+03	8 / 12
		府県境	A	0.5	2.3	1.1	1 / 12	1.7E+02	1.4E+04	4.6E+03	7 / 12
	余野川	猪名川合流直前	A	<0.5	0.8	0.6	0 / 12	3.3E+02	1.7E+05	2.0E+04	9 / 12
	千里川	猪名川合流直前	A	0.7	3.5	1.5	1 / 12	2.3E+02	3.3E+04	1.3E+04	8 / 12
	田尻川	兵庫県界	A	<0.5	1.2	0.7	0 / 12	4.9E+02	4.9E+04	1.7E+04	11 / 12
	一庫・大路次川	兵庫県界	A	0.5	1.4	0.8	0 / 12	7.9E+02	2.4E+05	2.8E+04	10 / 12
山辺川	一庫・大路次川合流直前	A	<0.5	1.0	0.7	0 / 12	7.9E+02	3.3E+04	1.4E+04	9 / 12	

水域	河川	測定地点	類型	生物化学的酸素要求量				大腸菌群数			
				BOD (mg/L)				CoLi-G (MPN/100mL)			
				最小	最大	平均	m / n	最小	最大	平均	m / n
大阪市内河川	大川	桜宮橋	B	0.9	1.9	1.3	0 / 12	3.3E+02	7.9E+03	2.4E+03	1 / 12
	堂島川	天神橋	B	1.2	3.1	2.1	1 / 12	1.3E+03	1.7E+05	3.7E+04	7 / 12
	道頓堀川	大黒橋	B	0.7	4.5	2.2	3 / 12	1.7E+02	2.2E+04	7.0E+03	4 / 12
	六軒家川	春日出橋	B	0.9	3.7	1.5	1 / 12	3.3E+02	1.1E+05	1.6E+04	3 / 12
	安治川	天保山渡	B	0.8	1.8	1.3	0 / 12	1.3E+02	4.9E+04	9.1E+03	3 / 12
大和川水系	石川	高橋	B	0.7	3.7	1.6	1 / 12	3.3E+03	4.9E+04	2.4E+04	10 / 12
		石川橋	B	0.8	3.1	1.8	1 / 12	3.3E+03	4.9E+04	1.7E+04	10 / 12
	千早川	石川合流直前	A	<0.5	2.3	1.2	1 / 12	2.2E+03	2.4E+05	4.6E+04	12 / 12
	天見川	新喜多橋	B	1.2	8.0	3.1	5 / 12	2.3E+03	1.3E+05	4.6E+04	11 / 12
	石見川	新高野橋	A	<0.5	1.2	0.7	0 / 12	1.7E+03	7.9E+04	3.9E+04	12 / 12
	梅川	石川合流直前	B	0.6	2.7	1.3	0 / 12	4.9E+03	7.9E+04	3.3E+04	11 / 12
西除川	狭山池流出端	B	1.0	7.0	2.9	4 / 12	<1.8	2.4E+03	7.1E+02	0 / 12	
泉州諸河川	大津川	高津取水口	B	2.2	4.8	3.5	8 / 12	4.9E+03	1.4E+05	4.3E+04	10 / 12
	牛滝川	高橋	B	0.9	3.1	2.0	1 / 12	3.3E+02	2.2E+04	9.9E+03	7 / 12
	松尾川	新緑田橋	B	2.4	4.9	3.6	10 / 12	1.7E+03	4.9E+04	2.4E+04	10 / 12
	横尾川	繁和橋	B	2.4	15	4.9	10 / 12	4.9E+03	2.4E+05	6.9E+04	9 / 12
	父鬼川	神田橋	A	0.6	2.5	1.7	3 / 12	2.4E+03	1.1E+05	2.0E+04	12 / 12
	近木川	厄除橋	B	1.5	4.0	2.5	2 / 12	4.9E+03	1.7E+05	5.9E+04	11 / 12
	櫻井川	兔田橋	B	2.7	11	6.8	10 / 12	1.1E+02	4.9E+04	6.5E+03	2 / 12
	男里川	男里川橋	A	1.1	4.9	2.9	9 / 12	4.9E+02	4.9E+04	1.2E+04	11 / 12
	金熊寺川	男里橋	A	1.1	4.8	2.5	8 / 12	7.0E+02	3.3E+04	7.6E+03	11 / 12
	菟砥川	西打合橋	A	1.8	5.8	3.2	11 / 12	7.0E+02	7.9E+04	1.4E+04	11 / 12
	山中川	東打合橋	A	0.7	2.4	1.7	2 / 12	3.3E+02	3.3E+04	1.2E+04	11 / 12
	番川	田身輪橋	A	<0.5	1.5	1.0	0 / 12	4.9E+02	2.2E+04	6.5E+03	10 / 12
	大川	昭南橋	A	0.6	2.4	1.5	1 / 12	7.0E+02	1.3E+04	4.3E+03	11 / 12
	東川	一軒屋橋	A	0.8	3.1	1.7	3 / 12	4.9E+02	2.4E+04	7.1E+03	11 / 12
西川	こうや橋	A	0.5	2.2	1.4	2 / 12	2.2E+02	7.9E+04	1.8E+04	9 / 12	

(注) 大腸菌群数の環境基準が適用されるA類型、B類型の水域について記載

8 中央環境審議会水質環境基準部会（H14.5.17）議事概要

中央環境審議会水環境部会（第3回）（平成14年5月17日）議事録抜粋（要旨）

【委員】 生活環境項目は、現在の制度の中ではBODとpHとDOとSSと大腸菌群数をもって生活環境項目として、それぞれの基準値に対して発生しているかどうかということ判断する、それが現行の制度。大腸菌群数が適合していないところがあるにも関わらず、どうして上位の類型に上げることができるのか。

【事務局】 大腸菌群数については、大変難しい問題。結論的には、今回の見直しに当たって、基本的に有機物の代表的な指標であるBOD、CODを中心として検討している。その結果、大腸菌群数については現状でもその基準を達成していないような河川についても検討の対象になっている。これについてはさらに今後検討をする必要がある。

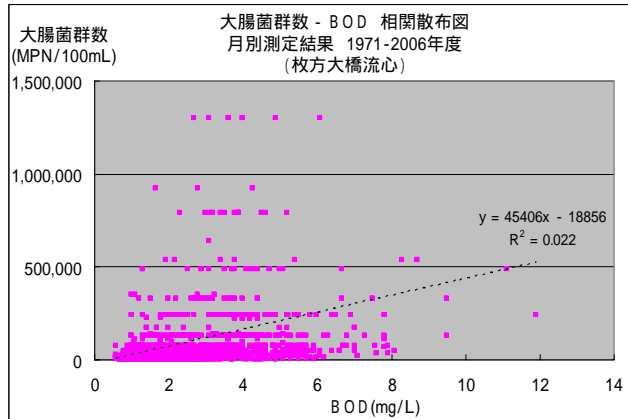
大腸菌群数については、確かに達成率は悪いが、細菌系の問題であるので、値が非常に大幅に変化する。その中で発生源の対策もそれなりに進められており、汚染のベースラインは抑えられているが、まだ課題が多いということは事実である。

【専門委員】 従来から、環境基準の適合率は、基本的にBODを基にしている。いろいろ項目があるが、BOD、CODを中心として見てきているという実態があるので、今回もそれで行かざるを得ないのではないか。

確かに大腸菌は非常に難しい処理の対象である。大腸菌だけについては塩素消毒をそれぞれの発生源で徹底すれば、対応策になるが、下流に塩素の問題が出てくる。総体的な判断もあり、従来からBODを一つの非常に重要な指標として扱ってきたということに鑑みて、今回はこれでいいのではないか。しかし、今後検討すべき課題である。

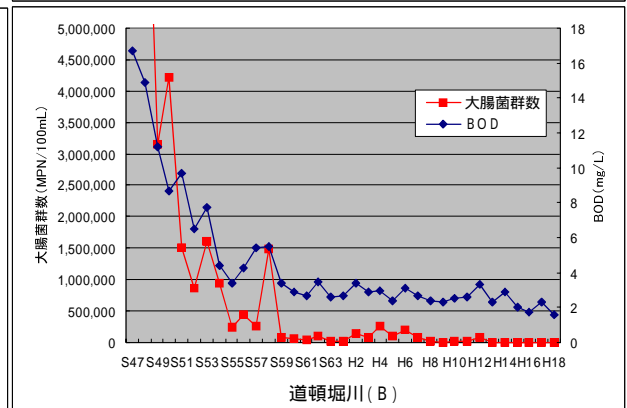
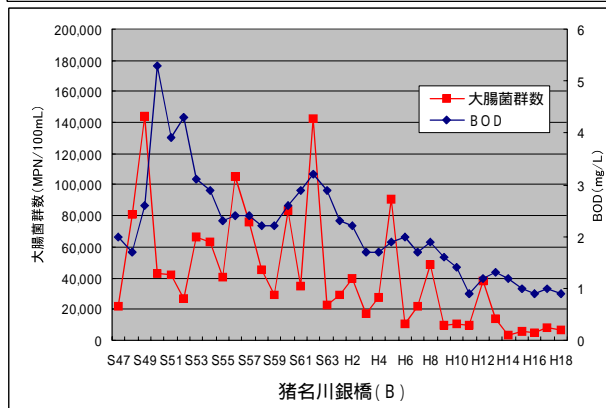
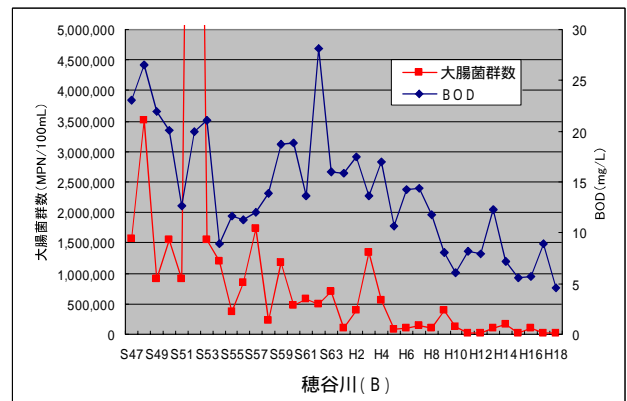
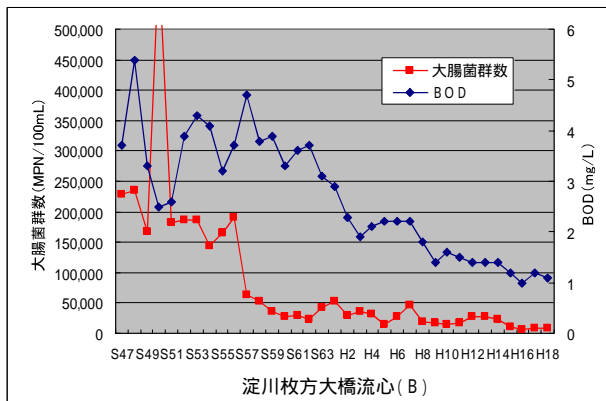
9 大腸菌群数に係る環境基準の超過事例について

大腸菌群数とBODの相関散布図

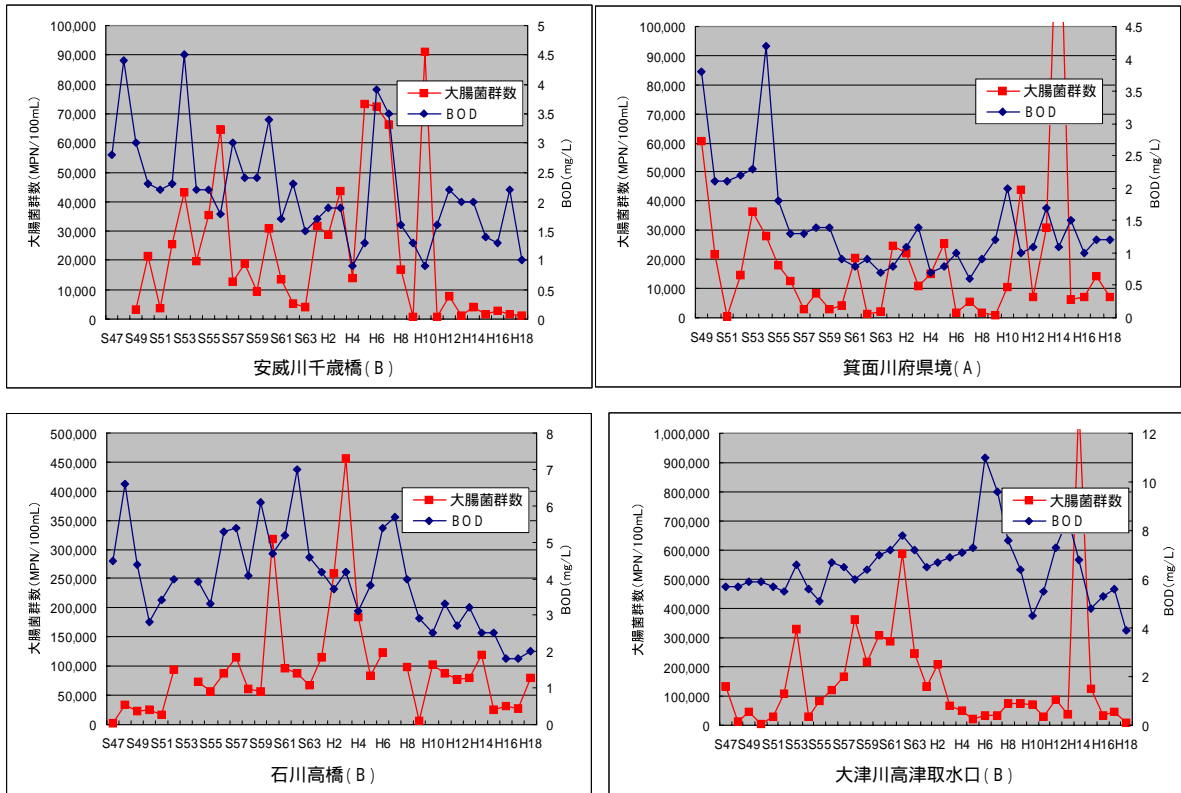


大腸菌群数とBODの経年変化 (年平均値)

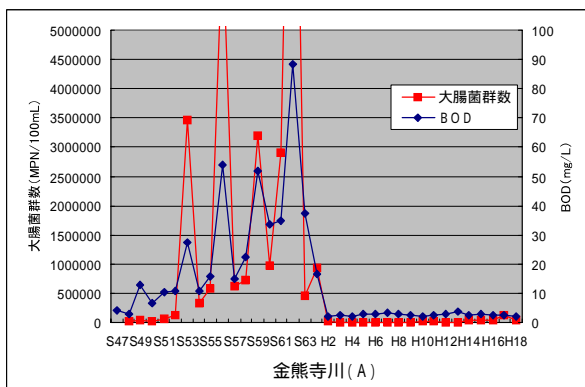
〔事例1〕 BODの低下とともに大腸菌群数も低下傾向がみられる事例



〔事例2〕 BOD、大腸菌群数ともに明確な傾向がみられない事例



〔事例3〕 主たる汚濁発生源が廃止された事例



10 河川水質（全亜鉛）調査結果 概要

水生生物保全環境基準の類型指定がされている河川

河川名	類型	地点名	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		評価
			年平均	m/n	年平均	m/n	年平均	m/n	年平均	m/n	年平均	m/n	
大和川	生物B	河内橋	0.017	0/12	0.018	0/12	0.017	0/12	0.016	0/12	0.016	0/12	
		浅香新取水口	0.016	0/12	0.017	0/12	0.017	0/12	0.015	0/12	0.016	0/12	
		遠里小野橋	0.021	0/12	0.019	1/12	0.023	0/12	0.019	0/12	0.019	0/12	

(注) 単位：mg/L。 m：0.03mg/Lを超える検体数、 n：全検体数

BOD等環境基準（A～E）の類型指定がされている河川（水系別）

水系名	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		(参考) 水域の法・条例対象事業場数 (H18年度末)
	最小～最大	m/n (%)	最小～最大	m/n (%)	最小～最大	m/n (%)	最小～最大	m/n (%)	最小～最大	m/n (%)	
淀川水系	0.001～0.043	1/9 (11%)	0.001～0.017	0/9 (0%)	<0.001～0.029	0/9 (0%)	<0.001～0.014	0/9 (0%)	0.003～0.046	1/9 (11%)	約460
神崎川水系	0.002～0.032	1/17 (5.9%)	0.001～0.053	3/17 (18%)	<0.001～0.038	1/17 (5.9%)	<0.001～0.035	1/17 (5.9%)	0.003～0.040	1/17 (5.9%)	約660
寝屋川水系	0.020～0.11	5/6 (83%)	0.022～0.12	4/6 (67%)	0.022～0.12	6/6 (100%)	<0.001～0.064	5/6 (83%)	0.022～0.076	5/6 (83%)	約1,430
大阪市内河川	0.007～0.076	7/12 (58%)	0.006～0.046	2/12 (17%)	0.003～0.035	2/12 (17%)	0.001～0.030	0/12 (0%)	0.005～0.045	1/12 (8.3%)	約20
大和川水系	0.008～0.031	1/12 (8.3%)	0.006～0.064	3/12 (25%)	<0.001～0.072	2/12 (17%)	0.008～0.032	1/12 (8.3%)	0.011～0.063	2/12 (17%)	約770
泉州諸河川	0.004～0.26	6/24 (25%)	0.002～0.32	8/24 (33%)	0.003～0.27	4/24 (17%)	0.002～0.30	5/24 (21%)	0.009～0.32	4/24 (17%)	約1,830
大阪府全域	0.001～0.26	21/80 (26%)	0.001～0.32	20/80 (25%)	<0.001～0.27	15/80 (19%)	<0.001～0.30	12/80 (15%)	0.003～0.32	14/80 (18%)	約5,150

(注) m：年平均濃度が0.03mg/Lを超える地点があった水域の数、 n：全水域数

BOD等環境基準（A～E）の類型指定がされている河川（類型別）

類型	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	m/n (%)		m/n (%)		m/n (%)		m/n (%)		m/n (%)	
A	1/22 (4.5%)		2/22 (9.1%)		2/22 (9.1%)		1/22 (4.5%)		1/22 (4.5%)	
B	7/27 (34%)	11/63 (17%)	3/27 (11%)	9/63 (14%)	1/27 (3.7%)	5/63 (7.9%)	0/27 (0%)	3/63 (4.8%)	2/27 (7.4%)	5/63 (7.9%)
C	3/14 (21%)		4/14 (29%)		2/14 (13%)		2/14 (13%)		2/14 (13%)	
D	6/10 (60%)	10/17 (59%)	6/10 (60%)	11/17 (65%)	7/10 (70%)	10/17 (59%)	5/10 (50%)	9/17 (53%)	6/10 (60%)	9/17 (53%)
E	4/7 (57%)		5/7 (71%)		3/7 (43%)		4/7 (57%)		3/7 (43%)	
大阪府全域	21/80 (26%)		20/80 (25%)		15/80 (19%)		12/80 (15%)		14/80 (18%)	

(注) m：年平均濃度が0.03mg/Lを超える地点があった水域の数、 n：全水域数

1 1 大阪府内河川の水溫

単位：

	河川(地点)名	類型	期間	H15			H16			H17			H18			H19		
				最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均
淀川水系	淀川下流(1)	B	八	6.2 ~ 30	17.9	6.0 ~ 29	17.1	5.4 ~ 30	17.3	7.5 ~ 31	18.1	6.9 ~ 29.6	18.3					
	淀川下流(2)	C	イ	7.7 ~ 30	19	6.7 ~ 29	17.8	6.7 ~ 30	18.4	9.2 ~ 30	19.9	8.3 ~ 29.8	19.5					
	船橋川	B	八	4.7 ~ 32	16.8	1.4 ~ 33	17.8	2.7 ~ 32	17	6.8 ~ 34	17.8	3.4 ~ 30.5	16.9					
	穂谷川	B	八	3.5 ~ 34	16.7	0.3 ~ 37	17.5	2.2 ~ 33	16.9	5.4 ~ 31	16.7	3.5 ~ 30.0	16.5					
	檜尾川	B	口	7.5 ~ 30	17.6	6.5 ~ 33	18.6	5.1 ~ 32	18.8	7.1 ~ 30	17.7	7.1 ~ 31.8	17.8					
	天野川	B	八	1.2 ~ 32	16.6	1.0 ~ 35	17.4	3.5 ~ 32	17.4	6.1 ~ 32	17.3	3.0 ~ 30.0	16.7					
	芥川(1)	A	イ	7.3 ~ 28	16.3	4.8 ~ 31	16.2	4.8 ~ 29	17	6.3 ~ 25	16.7	6.3 ~ 26.6	16.6					
	芥川(2)	A	イ	4.9 ~ 32	18	4.1 ~ 32	16.7	3.7 ~ 33	17.4	6.5 ~ 31	17.7	5.7 ~ 31.9	18.2					
水無瀬川	A	イ	4.2 ~ 27	13.8	1.8 ~ 29	15.6	4.6 ~ 29	15.8	4.5 ~ 24	14.3	4.0 ~ 28	15.3						
神崎川水系	神崎川	B	口	7.0 ~ 30	18.5	6.6 ~ 31	19.5	7.4 ~ 32	19.2	8.3 ~ 30	19	7.8 ~ 33	18.9					
	左門殿川	B	口	8.4 ~ 29	18.1	7.5 ~ 29	19.4	7.0 ~ 32	19.1	9.3 ~ 29	18.9	7.6 ~ 32	19.1					
	安威川上流	A	イ	4.4 ~ 27	14.9	2.1 ~ 30	14.7	3.0 ~ 28	15.1	4.2 ~ 27	14.9	3.9 ~ 26.9	15.3					
	安威川下流(1)	B	イ	5.0 ~ 32	16.6	1.4 ~ 31	16.1	2.6 ~ 33	17.1	4.8 ~ 31	16.8	4.5 ~ 30.9	17.2					
	安威川下流(2)	B	口	4.5 ~ 32	17.3	0.5 ~ 33	16.7	1.6 ~ 33	17.5	4.8 ~ 31	17.1	4.2 ~ 31	17.7					
	安威川下流(3)	C	イ	6.8 ~ 30	18.5	5.9 ~ 31	19.4	6.9 ~ 33	19.6	7.9 ~ 29	19.1	7.3 ~ 31	19.3					
	茨木川	B	イ	6.1 ~ 32	17.1	2.0 ~ 33	16.6	2.9 ~ 34	16.8	5.4 ~ 29	16.8	4.9 ~ 34	17.4					
	大正川	B	口	5.1 ~ 33	17.3	1.5 ~ 32	18.1	3.2 ~ 32	18.1	4.2 ~ 31	17	4.1 ~ 31	17.7					
	勝尾寺川	B	口	5.5 ~ 32	17.1	1.5 ~ 31	16.5	3.9 ~ 31	16.6	5.5 ~ 31	16.9	5.3 ~ 29	17.2					
	猪名川上流	B	八	5.2 ~ 27	15.6	4.1 ~ 27	16.3	4.8 ~ 28	15	6.2 ~ 29	15.9	5.3 ~ 29.8	16.7					
	猪名川下流(2)	D	イ	12.5 ~ 29	19.8	11.9 ~ 29	20.6	13.2 ~ 30	21.2	14.5 ~ 30	21.2	12.9 ~ 29.9	21.8					
	箕面川(1)	A	イ	4.0 ~ 25	13.4	1.5 ~ 26	14.5	2.9 ~ 27	14.3	4.5 ~ 22	13.7	2.6 ~ 26.1	14.5					
	箕面川(2)	A	イ	1.7 ~ 34	16.1	0.3 ~ 35	18	2.5 ~ 33	18	5.5 ~ 28	16.6	3.0 ~ 33.4	17.9					
	余野川	A	イ	5.2 ~ 26	15.3	2.3 ~ 29	16.3	2.7 ~ 32	16.3	4.7 ~ 25	15.1	2.4 ~ 30	16.1					
千里川	A	イ	4.0 ~ 35	17.6	1.9 ~ 34	17.9	3.9 ~ 34	18.2	4.9 ~ 32	17.4	4.8 ~ 34	18						
田尻川	A	イ	4.0 ~ 28	15	1.2 ~ 30	15.9	2.2 ~ 30	15.7	4.3 ~ 26	14.7	2.8 ~ 29	15.7						
一庫・大路次川	A	イ	4.6 ~ 30	14.7	2.3 ~ 28	15.8	2.8 ~ 29	15.7	2.8 ~ 26	14.6	3.0 ~ 30	15.7						
山辺川	A	イ	4.4 ~ 26	14.1	1.8 ~ 28	15.4	3.4 ~ 28	15.3	4.5 ~ 27	14.6	2.6 ~ 29	15.2						
寝屋川水系	寝屋川	D	八	7.1 ~ 30	18.2	3.4 ~ 29	16.9	6.7 ~ 32	18.8	10.3 ~ 31	19.3	3.4 ~ 35	18.4					
	恩智川	D	八	5.7 ~ 32	18.3	3.7 ~ 29	16.9	5.3 ~ 32	18.5	7.7 ~ 40	18.8	8.1 ~ 30	19					
	古川	D	八	8.5 ~ 28	18.3	6.2 ~ 30	19.1	7.9 ~ 29	19.1	9.6 ~ 30	20	9.7 ~ 28	20					
	第二寝屋川	D	八	13.5 ~ 31	21.8	8.2 ~ 31	19.7	11.1 ~ 31	21.2	14.5 ~ 39	22	11.3 ~ 31	21.3					
	平野川分水路	D	イ	12.8 ~ 30	21.2	12 ~ 31	21.4	10.7 ~ 31	21.4	14.3 ~ 31	22	13.3 ~ 29	21.8					
	平野川	D	口	9.5 ~ 29	19.8	9.0 ~ 30	20.2	8.9 ~ 31	20	12.3 ~ 31	20.9	10.1 ~ 28	19.8					
大阪市内河川	大川	B	イ	6.8 ~ 29	16.7	6.0 ~ 28	17.4	6.8 ~ 30	17.8	8.2 ~ 30	18.2	7.1 ~ 28	17.6					
	堂島川	B	イ	6.9 ~ 28.3	17.1	6.1 ~ 28.5	17.8	7.1 ~ 30.1	18	9.5 ~ 29.9	18.8	7.5 ~ 27.1	18.2					
	土佐堀川	C	八	7.2 ~ 30	17.4	6.1 ~ 28	18.1	8.3 ~ 31	18.5	9.5 ~ 30	18.9	7.8 ~ 28	18.4					
	道頓堀川	B	八	6.0 ~ 28	17.3	6.8 ~ 28	17.6	7.6 ~ 30	17.7	8.7 ~ 29	18.3	6.4 ~ 28	17.9					
	正蓮寺川	C	イ	7.9 ~ 29	18.4	11.9 ~ 28	19.7	10.3 ~ 29	19.2	11.9 ~ 27	19.4	11.4 ~ 27.6	19.9					
	六軒家川	B	イ	6.9 ~ 29	17.4	7.0 ~ 29	18.3	7.5 ~ 30	18	9.8 ~ 29	18.7	8.0 ~ 28	18.4					
	安治川	B	イ	6.4 ~ 28	17.2	7.5 ~ 28	18	7.7 ~ 28	17.6	10.2 ~ 27	18.3	8.5 ~ 28	18.2					
	尻無川	C	イ	6.7 ~ 29	17.7	9.0 ~ 28	18.4	7.5 ~ 28	18.2	10.1 ~ 28	19	9.6 ~ 28	18.7					
	木津川	C	イ	6.4 ~ 29	17.7	7.5 ~ 28	18.4	8.4 ~ 29	18.5	11.5 ~ 28	19.2	8.7 ~ 28.1	18.9					
	木津川運河	C	イ	6.2 ~ 29	18	8.0 ~ 29	18.9	8.6 ~ 29	18.7	10 ~ 28	19.1	8.6 ~ 28	19					
住吉川	C	八	8.5 ~ 29	18.5	10 ~ 29	19.7	9.8 ~ 30	19.3	12.1 ~ 28	19.9	11.1 ~ 29	20.1						
東横堀川	C	イ	6.2 ~ 28	17.6	7.0 ~ 27	17.9	7.8 ~ 30	18.1	9.9 ~ 29	18.8	7.3 ~ 28	18.2						

単位：

	河川(地点)名	類型	期間	H15			H16			H17			H18			H19		
				最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均
大和川水系	石川	川	B	八	5.9 ~ 29	16	1.9 ~ 30	16.4	5 ~ 30	16.3	4.2 ~ 30	15.9	6.1 ~ 29	17.1				
	千早	川	A	イ	3.5 ~ 27	14.3	1.6 ~ 28	15	4.2 ~ 27	14.9	5 ~ 26	15.4	4.7 ~ 33	15.7				
	天見	川	B	イ	5.7 ~ 26	15	2.6 ~ 29	15.9	4.7 ~ 30	16	4.3 ~ 26	15	5.5 ~ 29	16.1				
	石見	川	A	イ	4.5 ~ 24	14.1	2.0 ~ 26	14.7	2.3 ~ 27	14.3	2.2 ~ 24	13.6	4.1 ~ 26	14.5				
	飛鳥	川	C	ロ	3.8 ~ 30	17.1	1.5 ~ 31	17.4	5.5 ~ 31	17.5	5.2 ~ 31	17.5	6.5 ~ 30	17.6				
	梅	川	B	ロ	6.4 ~ 29	16.2	3.3 ~ 29	16.9	4.8 ~ 30	16.4	7.0 ~ 28	16.8	6.9 ~ 28	17				
	佐備	川	C	ロ	5.2 ~ 29	16.1	1.2 ~ 31	16.7	3.2 ~ 30	16.5	6.1 ~ 28	16.5	5.1 ~ 30	16.7				
	大和川中流	川	C	ハ	7.3 ~ 31	18	2.8 ~ 31	18	5.6 ~ 32	18.1	7.3 ~ 30	18.3	8.9 ~ 31	19.1				
	大和川下流	川	D	ハ	6.2 ~ 32	18.3	2.2 ~ 33	18.6	5.0 ~ 33	18.5	8.0 ~ 30	18.8	8.3 ~ 32.3	19.8				
	東除	川	C	ハ	6.2 ~ 31	18.3	4.1 ~ 30	17.3	5.0 ~ 31	18.7	7.0 ~ 34	18.8	9.5 ~ 31	20.4				
	西除川(1)	川	B	ハ	4.8 ~ 33	17.7	3.9 ~ 33	18.4	4.6 ~ 30	17.6	4.1 ~ 30	17.9	4.7 ~ 31	17.9				
	西除川(2)	川	D	ハ	10.5 ~ 32	19.9	11.2 ~ 31	21.8	12 ~ 31	21.3	14.6 ~ 30	22	8.4 ~ 31	20.2				
泉州諸河川	石津	川	E	ハ	9.8 ~ 32	19.5	6.3 ~ 31	19.7	7.5 ~ 33	19.4	9.2 ~ 30	19.5	8.0 ~ 32	19.4				
	和田	川	C	ハ	5.2 ~ 32	18.5	1.9 ~ 31	18.5	4.1 ~ 32	18.6	7.5 ~ 31	18.3	6.5 ~ 32	17.9				
	大津川上流	川	B	ロ	6.3 ~ 32	18.2	2.0 ~ 30	18.3	4.9 ~ 32	18.3	6.6 ~ 28	17.8	5.7 ~ 31	18.4				
	大津川下流	川	D	ハ	5.8 ~ 31	18.1	2.4 ~ 31	18.5	5.0 ~ 33	18.5	7.0 ~ 30	17.7	5.9 ~ 32	18.6				
	牛滝	川	B	ハ	3.7 ~ 31	17.5	1.3 ~ 32	17.3	4.5 ~ 33	17.2	6.0 ~ 28	17.1	4.7 ~ 31	18.4				
	松尾	川	B	ハ	5.9 ~ 32	17.6	1.5 ~ 30	17.9	4.2 ~ 32	18	5.8 ~ 30	17.4	5.8 ~ 31	17.9				
	槇尾	川	B	イ	4.8 ~ 32	17.5	2.2 ~ 32	18.1	4.9 ~ 31	17.9	6.7 ~ 29	17.1	4.8 ~ 30	17.8				
	父鬼	川	A	イ	4.2 ~ 27	15.1	1.8 ~ 29	16	3.9 ~ 29	15.8	5.4 ~ 27	15.1	4.2 ~ 32	16.4				
	春木	川	E	ハ	4.8 ~ 31	18.3	3.3 ~ 32	18.3	5.5 ~ 32	18.1	6.5 ~ 28	18.1	7.0 ~ 32	19.2				
	津田	川	E	ハ	4.7 ~ 34	17.9	1.4 ~ 34	18.5	4.7 ~ 33	18.2	6.6 ~ 32	17.6	6.4 ~ 39	18.5				
	近木川上流	川	B	イ	3.9 ~ 28	15.6	1.6 ~ 30	15.9	2.6 ~ 30	15.8	4.7 ~ 27	15.5	5.1 ~ 29	16.5				
	近木川下流	川	E	ハ	5.4 ~ 34	17.9	3.1 ~ 33	18.1	6.0 ~ 31	18.1	8.3 ~ 31	17.8	7.9 ~ 32	18.4				
	見出	川	E	ハ	7.2 ~ 33	18.6	3.8 ~ 32	18.6	6.7 ~ 31	18.3	7.5 ~ 31	18	7.3 ~ 32	18.6				
	佐野	川	E	ハ	6.9 ~ 32	18.7	2.6 ~ 32	18.8	6.3 ~ 32	18.8	8.3 ~ 31	18.6	8.4 ~ 32	19				
	檜井川上流	川	B	イ	5.5 ~ 34	17.6	1.6 ~ 33	17.7	1.2 ~ 33	17.9	5.7 ~ 29	17.3	6.1 ~ 31	18				
	檜井川下流	川	E	ハ	6.0 ~ 33	17.7	1.6 ~ 30	17.7	6.0 ~ 31	18.2	8.4 ~ 31	17.9	7.0 ~ 32	18.8				
	男里	川	A	イ	5.5 ~ 33	17.1	1.4 ~ 32	17.1	4.6 ~ 34	17.4	6.4 ~ 29	16.7	5.9 ~ 32	17.8				
	金熊寺	川	A	イ	4.0 ~ 35	17	1.1 ~ 33	17.4	3.8 ~ 33	17.5	5.5 ~ 32	16.8	5.3 ~ 31.4	17.9				
	菟砥	川	A	イ	4.5 ~ 32	16.7	2.1 ~ 30	17.2	4.1 ~ 32	17.5	6.7 ~ 31	16.7	6.6 ~ 31	18				
	山中	川	A	イ	4.5 ~ 31	16.3	1.4 ~ 31	16.5	3.4 ~ 31	16.5	5.1 ~ 31	16	5.8 ~ 30	16.9				
番	川	A	イ	4.7 ~ 30	15.9	1.8 ~ 29	16.3	3.5 ~ 30	16.3	5.6 ~ 27	15.8	6.2 ~ 30.9	17.0					
大	川	A	イ	5.0 ~ 29	16.2	1.3 ~ 28	16.3	3.5 ~ 28	16.5	5.6 ~ 26	16	6.8 ~ 30	16.9					
東	川	A	イ	4.0 ~ 32	16.5	0.4 ~ 30	16.7	3.3 ~ 31	16.9	5.0 ~ 30	16.1	5.8 ~ 32	17.4					
西	川	A	イ	4.0 ~ 30	17.2	1.2 ~ 28	16.2	2.9 ~ 34	16.6	5.8 ~ 30	15.7	5.5 ~ 28	16.4					

1 2 大阪府内に生息している魚類

水系	水 域 (範 囲)	確 認 魚 類 等	参 考 文 献
淀川水系	淀川下流(1) (京都府界から長柄橋まで)		
	淀川下流(2) (長柄橋より下流)		
	船橋川 (全 域)	タモロコ、モツゴ、コイ、ギンブナ フナ、オイカワ、モツゴ、ヨシノボリ、ドジョウ、オオクチバス	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画(芥川・榎尾川・水無瀬川水系)参考資料 「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)
	穂谷川 (全 域)	オイカワ、タモロコ、モツゴ、コイ、ギンブナ、カワムツ、キンギョ、シマヨシノボリ、カワヨシノボリ、トウヨシノボリ、ドンコ、ドジョウ、オオクチバス	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画(芥川・榎尾川・水無瀬川水系)参考資料 「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)
	榎尾川 (全 域)	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、ドンコ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリ フナ、オイカワ、モツゴ、ナマス	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画(芥川・榎尾川・水無瀬川水系)参考資料 「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)
	天野川 (奈良県界より下流)	オイカワ、タモロコ、モツゴ、コイ、ニゴイ、ギンブナ、イトモロコ、コウライモロコ、カマツカ、カワムツ、キンギョ、シマヨシノボリ、カワヨシノボリ、トウヨシノボリ、ドンコ、シマドジョウ、ドジョウ、キギ、ウナギ、ナマス、オオクチバス、ブルーギル フナ、ヨシノボリ	淀川水系淀川左岸ブロック河川整備計画(天野川・穂谷川・船橋川水系)参考資料 「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)
	芥川(1) (京都府界から塚脇橋まで)	オイカワ、カワムツ、タカハヤ、ドンコ、カワヨシノボリ アマゴ、ニジマス、アユ、カマツカ、ムギツク、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ギンブナ、ドジョウ、シマドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画(芥川・榎尾川・水無瀬川水系)参考資料 「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	芥川(2) (塚脇橋より下流)	カマツカ、オイカワ、ニゴイ、コウライモロコ、ギンブナ、ドンコ、カワヨシノボリ	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画(芥川・榎尾川・水無瀬川水系)参考資料
	水無瀬川 (全 域)	オイカワ、ギンブナ、カワムツ、アブラハヤ、ドンコ、カワヨシノボリ アマゴ、カマツカ、ムギツク、アブラハヤ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ギンブナ、ドンコ、カワヨシノボリ	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画(芥川・榎尾川・水無瀬川水系)参考資料 「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	神崎川水系	神崎川 (安威川、猪名川を除く神崎川)	
安威川上流 (茨木市取水口より上流)		カマツカ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ドジョウ、アジメドジョウ、アカザ、ドンコ、カワヨシノボリ	「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
安威川下流(1) (茨木市取水口から戸伏まで)		オイカワ、ナマス	茨木市教育研究所ホームページ http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/nature/index.htm
安威川下流(2) (戸伏から大正川合流点まで)		オイカワ、ナマス	茨木市教育研究所ホームページ http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/nature/index.htm
安威川下流(3) (大正川合流点より下流)		オイカワ、ナマス	茨木市教育研究所ホームページ http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/nature/index.htm
佐保川及び茨木川 (全 域)		ドジョウ、カマツカ、ドンコ	淀川水系神崎川ブロック河川整備計画
大正川 (全 域)		メダカ、オオヨシノボリ	淀川水系神崎川ブロック河川整備計画
勝尾寺川 (全 域)		タモロコ、メダカ、オオヨシノボリ、ドンコ	淀川水系神崎川ブロック河川整備計画
猪名川上流 (箕面川合流点より上流)			
猪名川下流(2) (薄川分岐点から薄川合流点まで)			
箕面川水系	箕面川(1) (箕面川取水口より上流)	フナ、オイカワ、カワヨシノボリ、ドンコ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)
	箕面川(2) (箕面川取水口から兵庫県界まで)		
	余野川 (全 域)	アユ、モツゴ、カマツカ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ギンブナ、ドジョウ、シマドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ、メダカ、オオクチバス	「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	千里川 (全 域)	フナ、オイカワ、ナマス、モツゴ、ドジョウ カワムツ、オイカワ、カマツカ、ギンブナ、ドンコ、カワヨシノボリ、モツゴ、タモロコ、ドジョウ、キギ、ナマス	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988) 淀川水系猪名川上流ブロック河川整備計画参考資料
	田尻川 (兵庫県界より上流)	アユ、ムギツク、カマツカ、タモロコ、カワムツ、オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、キギ、ドンコ、カワヨシノボリ、オオヨシノボリ、メダカ	「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	一庫・大路次川 (京都府界から兵庫県界まで)	アユ、カワムツ、オイカワ、ムギツク、カマツカ、イトモロコ、ギンブナ、シマドジョウ、ドンコ、シマヨシノボリ、カワヨシノボリ、アユ、ムギツク、カマツカ、タモロコ、イトモロコ、カワムツ、オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、シマドジョウ、マナマス、アカザ、キギ、ドンコ、カワヨシノボリ	淀川水系猪名川上流ブロック河川整備計画参考資料 「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	山辺川 (全 域)	ムギツク、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、フナ類、ドジョウ、シマドジョウ、アカザ、ドンコ、カワヨシノボリ、カジカ、オヤニラミ	「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	寝屋川 (全 域)	コイ、カダヤシ コイ、フナ類、コウライニゴイ、カダヤシ、ボラ	寝屋川水系寝屋川流域水環境改善緊急行動計画参考資料(平成16年5月、寝屋川流域協議会) 大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	恩智川 (全 域)	オイカワ、タモロコ、カダヤシ、ギンブナ、ドジョウ	寝屋川水系寝屋川流域水環境改善緊急行動計画参考資料(平成16年5月、寝屋川流域協議会)
	古川 (全 域)	カダヤシ	寝屋川水系寝屋川流域水環境改善緊急行動計画参考資料(平成16年5月、寝屋川流域協議会)
大阪府内河川	第一寝屋川 (全 域)	コイ、フナ類、モツゴ、カダヤシ、ボラ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	平野川分水路 (全 域)	コイ、フナ類、オイカワ、モツゴ、タモロコ、カダヤシ、ボラ フナ類、モツゴ、カダヤシ、ボラ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度) 大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	大川 (大川全域及び城北川全域)	フナ類、ハス、オイカワ、カワヒガイ、カマツカ、ニゴイ属、コウライモロコ、スズキ、ボラ、マハゼ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	堂島川 (全 域)	フナ類、オイカワ、ニゴイ属、スズキ、ボラ、マハゼ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	土佐堀川 (全 域)	フナ類、コウライニゴイ、ニゴイ属、カダヤシ、スズキ、ボラ、マハゼ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	道頓堀川 (全 域)	フナ類、オイカワ、コウライモロコ、ブルーギル、オオクチバス、ワカサギ、ボラ、マハゼ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	正蓮寺川 (全 域)	ボラ	淀川水系正蓮寺川ブロック河川整備計画参考資料
	六軒家川 (全 域)		
	安治川 (全 域)	フナ類、ブルーギル、スズキ、ボラ、セジボラ、メナダ、マハゼ、ヒメハゼ、サッパ、コトヒキ、キチヌ、イシガレイ、マコガレイ、シマフグ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
	尻無川 (全 域)	スズキ、ボラ、メナダ、マハゼ、ヒメハゼ、サッパ、キチヌ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)
木津川 (全 域)	スズキ、ボラ、マハゼ、ヒメハゼ、カタクチイワシ、クロダイ	大阪市魚類生息状況調査(平成18年度)	
木津川連河 (全 域)			
住吉川 (全 域)			
東横堀川 (全 域)			

水系	水域(範囲)	確認魚類等	参考文献
大和川系	石川(全域)	アユ、カマツカ、タモロコ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、コイ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、ドジョウ、マナマス、カワヨシノボリ、オオクチバス	「大阪府下の川と魚」(平成20年3月、大阪府環境農林水産部水産課)
	千早川(全域)	オイカワ、カワムツ、メダカ、カワヨシノボリ、タカハヤ	「大和川の自然」(大阪市立自然史博物館 2006 第35回特別展)
	天見川(全域)	カワムツ、カワヨシノボリ、タカハヤ	
	石見川(全域)	カワムツ、カワヨシノボリ、タカハヤ	
	飛鳥川(全域)	カマツカ、ドジョウ、メダカ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ、ドンコ	
	梅川(全域)	モツゴ、タモロコ、カマツカ、ナマス、メダカ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ、ドンコ	
	川佐備川(全域)	カワムツ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ、ドンコ、タカハヤ	
	大和川中流(桜井市初瀬取水口から浅香山まで)		
	大和川下流(浅香山より下流)		
	東除川(全域)	コイ、フナ属、モツゴ、オオクチバス	
西除川(1)(狭山池流出端より上流)	コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、フナ属、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、カマツカ、ドジョウ、ワカサギ、メダカ、ブルーギル、オオクチバス、ドンコ、ヨシノボリ、カワヨシノボリ	大和川水系西除川ブロック河川整備計画参考資料	
西除川(2)(狭山池流出端より下流)	フナ、オイカワ、モツゴ、ヨシノボリ、タモロコ、メダカ、コイ、ナマス、オオクチバス、ブルーギル	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
石津川(全域)	コイ、ギンブナ、ボラ	石津川水系河川整備基本方針	
和田川(全域)	ドジョウ、コイ、フナ	石津川水系河川整備基本方針	
大津川上流(泉大津市高津取水口より上流)	フナ、オイカワ、コイ、ウナギ、カムルチー	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
大津川下流(泉大津市高津取水口より下流)	ギンブナ、ボラ、ゲンゴロウブナ、コイ、フナ、オイカワ、キンギョ、タモロコ、ウナギ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、ツチフキ、コトヒキ、ボウスハゼ	大津川水系河川整備計画参考資料	
牛滝川(全域)	カワムツ、モツゴ、ギンブナ、アブラハヤ、コイ科、ヨシノボリ属、アマゴ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
松尾川(全域)	フナ、オイカワ、タモロコ、モツゴ	大津川水系河川整備計画参考資料	
横尾川(全域)	オイカワ、モツゴ、ギンブナ、ドジョウ、カワヨシノボリ、カワムツ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
父鬼川(全域)	フナ、オイカワ、ヨシノボリ、モツゴ、タモロコ、ウナギ	大津川水系河川整備計画参考資料	
春木川(全域)	ギンブナ、オイカワ、タモロコ、メダカ、モツゴ、ムギツク、コイ、シマドジョウ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ、カワムツ、ギギ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
津田川(全域)	フナ、オイカワ、カワムツ、タカハヤ	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
近木川上流(程谷川合流点より上流)	ウナギ、タモロコ、モツゴ、コイ、ギンブナ、ドジョウ、ボラ、スズキ、オオクチバス、ブルーギル、カワアナゴ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ、マハゼ	春木川水系河川整備計画参考資料	
近木川下流(程谷川合流点より下流)	ウナギ、ギンブナ、モツゴ、タモロコ、フナ属、メダカ、ドジョウ、ヨシノボリ属	津田川水系河川整備計画参考資料	
見出川(全域)	アマゴ、カワムツ、アブラハヤ	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
佐野川(全域)	カワムツ、カワヨシノボリ、ドンコ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
櫻井川上流(兔田橋より上流)	モツゴ、ギンブナ、ボラ、オイカワ、タモロコ、ドンコ	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
櫻井川下流(兔田橋より下流)	コイ、オイカワ、モツゴ、タモロコ、アユ、ドンコ、トウヨシノボリ、カワヨシノボリ	近木川水系河川整備計画参考資料	
男里川(全域)	フナ、メダカ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
金熊寺川(全域)	カワムツ、カワヨシノボリ、オイカワ、コイ、タモロコ、ボラ、メダカ、ギンブナ、モツゴ、ウナギ、カワアナゴ	「平成19年度大阪府見出川流域における健全な水循環の構築に向けた計画策定調査業務報告書」(平成20年3月、財団法人大阪府みどり公社)	
菟砥川(全域)	ギンブナ、ウナギ	佐野川水系河川整備計画参考資料	
山中川(全域)	カワムツ、オイカワ、オオクチバス、ヨシノボリ属	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
番川(全域)	オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ギンブナ、シマヨシノボリ、トウヨシノボリ、ドンコ、オオクチバス、ヨシノボリ属	櫻井川水系河川整備計画参考資料	
大川(全域)	フナ、ゲンゴロウブナ、モツゴ、タモロコ、ツチフキ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
東川(全域)	オイカワ、コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、フナ属、ハゼ科	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
西川(全域)	オイカワ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、コイ、タモロコ、ハゼ科、フナ属、オオクチバス、モツゴ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	フナ、ゲンゴロウブナ、ボラ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	ギンブナ、ヨシノボリ	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
	カワムツ、オイカワ、コイ、ギンブナ、フナ属、ヨシノボリ	大阪府泉南地域河川環境管理基本計画(H8.3)	
	フナ、オイカワ、モツゴ、カワムツ、ドジョウ、ドンコ、ウナギ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	フナ、コイ、オイカワ、タモロコ、カワムツ、ヨシノボリ、ブルーギル	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	カワムツ、カワヨシノボリ、ヨシノボリ、アユ、ウナギ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	スズキ、ボラ、クサフグ、ヒイラギ、カワムツ、カワヨシノボリ、ギンブナ、コイ、アユ	平成18年度第6回大阪府河川整備委員会資料(大川水系河川整備基本方針関係)	
	フナ、カワムツ、アユ、ドンコ、ウナギ、オオクチバス	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	フナ、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ、アユ、ボウスハゼ、ドンコ、ウナギ、マハゼ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	
	オイカワ、カワヨシノボリ、ヨシノボリ、ドンコ、ウナギ、マハゼ、ウキゴリ	「大阪府下中小河川の生息魚種と水質について」(水産増殖36巻2号、1988)	

(注) 確認された魚種を記載。ゴシック + 下線表記は生物A類型に対応する主な魚種、ゴシック
表記は生物B類型に対応する主な魚種。 は優占種を示す。

1.3 水生生物の保全に関する項目に係る【生物A】の指定についての検討結果

水系	河川水域名	現行類型	改定案	BOD75%値(単位:mg/L)及びA類型の環境基準達成状況									BOD75%値(単位:mg/L)及びAA類型の環境基準達成状況									水生生物の保全に関する項目【生物A】	漁業権(ます)設定	水生生物確認状況												
				H15			H16			H17			H18			H19			H15						H16			H17			H18			H19		
				○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△				○	×	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△
淀川水系	芥川(1)	A-I	—	1.0	0.8	1.4	0.9	0.7	○	1.0	0.8	1.4	0.9	0.7	△	0.003	アモゴ、ニジマス、アユ、カマツガ、ムギツク、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ギンブナ、ドジョウ、シマドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ	○																		
	芥川(2)	A-I	—	1.5	1.1	1.8	1.1	0.9	○	1.5	1.1	1.8	1.1	0.9	×	0.004	カマツガ、オイカワ、ニゴイ、コウライモロコ、ギンブナ、ドンコ、カワヨシノボリ	○																		
	水無瀬川	A-I	—	1.0	0.6	0.7	1.0	0.6	○	1.0	0.6	0.7	1.0	0.6	○	0.015	アモゴ、カマツガ、ムギツク、アブラハヤ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ギンブナ、ドンコ、カワヨシノボリ	○																		
	安威川上流	A-I	—	1.2	1.1	0.8	0.8	1.4	○	1.2	1.1	0.8	0.8	1.4	△	0.003	カマツガ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ドジョウ、アジドジョウ、アガザ、ドンコ、カワヨシノボリ	○																		
	安威川下流(1)	B-I	A-I	1.7	1.5	1.8	1.1	1.5	○	1.7	1.5	1.8	1.1	1.5	×	0.003	オイカワ、ナマズ																			
	安威川下流(2)	B-II	A-I	1.6	1.5	1.8	1.5	1.9	○	1.6	1.5	1.8	1.5	1.9	×	0.005	オイカワ、ナマズ																			
	佐保川及び炭木川	B-I	A-I	1.7	1.9	1.7	1.1	1.5	○	1.7	1.9	1.7	1.1	1.5	×	0.004	ドジョウ、カマツガ、ドンコ																			
	大正川	B-II	A-I	2.7	1.5	2.0	1.8	1.8	△	2.7	1.5	2.0	1.8	1.8	×	0.026	メダカ、オオヨシノボリ																			
	勝尾寺川	B-II	A-II	2.4	2.3	2.3	1.5	1.7	△	2.4	2.3	2.3	1.5	1.7	×	0.004	タモロコ、メダカ、オオヨシノボリ、ドンコ																			
	箕面川(1)	A-I	—	0.9	0.5	0.5	0.9	0.6	○	0.9	0.5	0.5	0.9	0.6	○	0.028	アユ、オイカワ、カワヨシノボリ、ドンコ	☆																		
箕面川(2)	A-I	—	2.1	1.3	1.1	1.4	1.4	△	2.1	1.3	1.1	1.4	1.4	×	0.009	アユ、オイカワ、カワヨシノボリ、ドンコ																				
余野川	A-I	—	1.0	0.8	0.8	1.1	0.7	○	1.0	0.8	0.8	1.1	0.7	△	0.007	アユ、モツゴ、カマツガ、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、ギンブナ、ドジョウ、シマドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ、メダカ、オオクチバス	○																			
千里川	A-I	—	0.8	1.1	1.7	1.2	1.4	○	0.8	1.1	1.7	1.2	1.4	×	0.022	アユ、オイカワ、ナマズ、モツゴ、ドジョウ																				
田尻川	A-I	—	1.4	0.9	1.2	1.3	1.0	○	1.4	0.9	1.2	1.3	1.0	△	0.019	ギンブナ、モツゴ、ナマズ、アユ、ムギツク、カマツガ、タモロコ、カワムツ、オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、キギ、ドンコ、カワヨシノボリ、オオヨシノボリ、メダカ	☆																			
一庫・大路次川	A-I	—	1.2	0.8	0.8	1.2	1.0	○	1.2	0.8	0.8	1.2	1.0	△	0.014	オイカワ、ギンブナ、ドンコ、シマヨシノボリ、アユ、ムギツク、カマツガ、タモロコ、イノモロコ、カワムツ、オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、シマドジョウ、メナマズ、アガザ、キギ、ドンコ、カワヨシノボリ	○																			
山辺川	A-I	—	1.1	0.6	0.7	1.1	0.8	○	1.1	0.6	0.7	1.1	0.8	△	0.021	ムギツク、タカハヤ、カワムツ、オイカワ、フナ類、ドジョウ、シマドジョウ、アヒ、メダカ、カワヨシノボリ、カシガ、オヤニラミ	○																			
千早川	A-I	—	1.4	1.1	0.9	1.3	1.6	○	1.4	1.1	0.9	1.3	1.6	×	0.019	オイカワ、カワムツ、メダカ、カワヨシノボリ、タカハヤ																				
石見川	A-I	—	1.3	0.7	0.8	1.3	0.8	○	1.3	0.7	0.8	1.3	0.8	△	0.029	カワムツ、カワヨシノボリ、タカハヤ	☆																			
梅川	B-II	A-I	2.3	1.6	1.7	1.7	1.8	△	2.3	1.6	1.7	1.7	1.8	×	0.014	モツゴ、タモロコ、カマツガ、ナマズ、メダカ、ドジョウ、シマドジョウ、カワヨシノボリ、ドンコ																				
父鬼川	A-I	—	1.9	1.9	1.6	1.6	2.0	○	1.9	1.9	1.6	1.6	2.0	×	0.016	アユ、オイカワ、カワムツ、タカハヤ																				
男里川	A-I	—	5.0	4.3	3.8	3.4	3.5	×	5.0	4.3	3.8	3.4	3.5	×	0.042	ギンブナ、ヨシノボリ																				
金熊寺川	A-I	—	2.9	3.3	3.0	2.2	2.9	×	2.9	3.3	3.0	2.2	2.9	×	0.016	カワムツ、オイカワ、コイ、ギンブナ、フナ類、ヨシノボリ																				
菟砥川	A-I	—	3.4	4.3	3.1	3.4	3.4	×	3.4	4.3	3.1	3.4	3.4	×	0.017	アユ、オイカワ、モツゴ、カワムツ、ドジョウ、ドンコ、ウナギ																				
山中川	A-I	—	2.2	1.8	1.7	1.5	2.0	△	2.2	1.8	1.7	1.5	2.0	×	0.009	アユ、コイ、オイカワ、タモロコ、カワムツ、ヨシノボリ、ブルーギル																				
番川	A-I	—	1.3	1.2	1.2	0.9	1.2	○	1.3	1.2	1.2	0.9	1.2	×	0.019	カワムツ、カワヨシノボリ、ヨシノボリ、アユ、ウナギ																				
大川	A-I	—	1.6	1.5	1.7	1.1	1.7	○	1.6	1.5	1.7	1.1	1.7	×	0.014	スズキ、ボラ、クサブリ、ヒラギ、カワヨシノボリ、ギンブナ、コイ、フナ、カワムツ、アユ、ドンコ、ウナギ、オオクチバス																				
東川	A-I	—	1.8	1.6	1.9	1.4	2.0	○	1.8	1.6	1.9	1.4	2.0	×	0.013	アユ、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ、アユ、ボウズハゼ、ドンコ、ウナギ、マハゼ																				
西川	A-I	—	1.2	1.3	1.5	1.0	1.5	○	1.2	1.3	1.5	1.0	1.5	×	0.028	アユ、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ、アユ、ボウズハゼ、ドンコ、ウナギ、マハゼ																				

1.4 水生生物の保全に関する項目の達成期間についての検討結果

水系	水域名	地点名	BOD類型 改定案	水生生物 保全類型 指定案	全亜鉛年平均濃度(単位:mg/L)及び 環境基準値(0.03mg/L)との比較結果 :5年連続0.03mg/L以下、概ね0.03mg/L以下 ×:5年連続0.03mg/L超過、概ね超過					達成 期間 案	
					H15	H16	H17	H18	H19		
淀川水系	船橋川	新登橋上流	B	生物B	0.043	0.017	0.029	0.014	0.046	イ	
	穂谷川	淀川合流直前	B	生物B	0.024	0.007	<0.001	0.001	0.025	イ	
	檜尾川	磐手杜神社	B	生物B	0.002	0.004	0.003	0.003	0.004	イ	
	天野川	淀川合流直前	B	生物B	0.017	0.008	0.016	<0.001	0.013	イ	
	芥川(1)	塚脇橋	A	生物A	0.001	0.001	0.002	0.003	0.003	イ	
	芥川(2)	鷺打橋	A	生物B	0.007	0.009	0.004	0.003	0.004	イ	
	水無瀬川	名神高速道路高架橋下	A	生物A	0.006	0.011	<0.001	0.006	0.015	イ	
神崎川水系	安威川上流	桑ノ原橋	A	生物A	0.002	0.003	0.002	<0.001	0.003	イ	
	安威川下流(1)	千歳橋	A	生物B	0.002	0.001	0.003	<0.001	0.003	イ	
	安威川下流(2)	宮島橋	A	生物B	0.002	0.041	0.007	<0.001	0.005	イ	
	安威川下流(3)	新京阪橋	B	生物B	0.027	0.044	0.022	0.035	0.030	イ	
	佐保川及び茨木川	安威川合流直前	A	生物B	0.002	0.005	0.002	<0.001	0.004	イ	
	大正川	安威川合流直前	A	生物B	0.014	0.029	0.020	0.021	0.026	イ	
	勝尾寺川	中河原橋	A	生物B	0.002	0.003	0.001	<0.001	0.004	イ	
	箕面川(1)	箕面市取水口	A	生物A	0.003	0.021	<0.001	0.012	0.028	イ	
	箕面川(2)	府県境	A	生物B	0.012	0.008	0.025	0.012	0.009	イ	
	余野川	猪名川合流直前	A	生物A	0.009	0.010	0.004	0.023	0.007	イ	
	千里川	猪名川合流直前	A	生物B	0.002	0.001	0.003	<0.001	0.022	イ	
	田尻川	兵庫県界	A	生物A	0.007	0.006	0.001	0.017	0.019	イ	
	一庫・大路次川	兵庫県界	A	生物A	0.008	0.029	0.010	0.020	0.014	イ	
	山辺川	一庫・大路次川合流直前	A	生物A	0.029	0.053	0.002	0.009	0.021	イ	
寝屋川水系	寝屋川(1)	萱島橋	C	生物B	0.058	0.031	0.034	<0.001	0.029	×	ロ
		住道大橋			0.020	0.040	0.034	0.030	0.046		
大阪市内河川	大川	桜宮橋	B	生物B	0.058	0.020	0.029	0.003	0.005	イ	
	堂島川	天神橋	B	生物B	0.037	0.034	0.035	0.001	0.012	イ	
	土佐堀川	天神橋	C	生物B	0.076	0.046	0.034	0.015	0.013	イ	
	道頓堀川	大黒橋	B	生物B	0.049	0.028	0.019	0.026	0.013	イ	
	正蓮寺川	北港大橋下流700m	B	生物B	0.010	0.006	0.023	0.017	0.009	イ	
	六軒家川	春日出橋	B	生物B	0.034	0.010	0.013	0.016	0.008	イ	
	安治川	天保山渡	B	生物B	0.007	0.011	0.003	0.022	0.008	イ	
	尻無川	基兵衛渡	B	生物B	0.042	0.019	0.011	0.015	0.018	イ	
	木津川	千本松渡	B	生物B	0.024	0.010	0.011	0.016	0.016	イ	
	木津川運河	船町渡	B	生物B	0.030	0.016	0.014	0.023	0.006	イ	
	住吉川	住之江大橋下流1100m	B	生物B	0.028	0.019	0.029	0.015	0.045	イ	
東横堀川	本町橋	B	生物B	0.031	0.029	0.028	0.030	0.022	イ		
大和川水系	石川	高橋	B	生物B	0.014	0.020	0.019	0.009	0.012	イ	
		石川橋			0.012	0.008	0.009	0.008	0.011		
	千早川	石川合流直前	A	生物B	0.012	0.006	0.003	0.017	0.019	イ	
	天見川	新喜多橋	B	生物B	0.019	0.012	0.005	0.014	0.028	イ	
	石見川	新高野橋	A	生物A	0.012	0.006	<0.001	0.011	0.029	イ	
	飛鳥川	円明橋	C	生物B	0.008	0.020	0.020	0.017	0.028	イ	
	梅川	石川合流直前	A	生物B	0.029	0.029	0.015	0.026	0.014	イ	
	佐備川	大伴橋	C	生物B	0.008	0.012	0.002	0.015	0.011	イ	
東除川	明治小橋	C	生物B	0.029	0.042	0.072	0.032	0.063	×	ロ	
西除川(1)	狭山池流出端	B	生物B	0.025	0.047	0.007	0.015	0.022	イ		
泉州諸河川	和田川	小野々井橋	C	生物B	0.022	0.034	0.016	0.013	0.016	イ	
	大津川上流	高津取水口	B	生物B	0.031	0.008	0.018	0.005	0.016	イ	
	牛滝川	高橋	B	生物B	0.030	0.012	0.021	0.030	0.022	イ	
	松尾川	新緑田橋	B	生物B	0.005	0.005	0.005	0.005	0.016	イ	
	檜尾川	繁和橋	B	生物B	0.007	0.009	0.010	0.009	0.017	イ	
	父鬼川	神田橋	A	生物B	0.008	0.003	0.005	0.003	0.016	イ	
	近木川上流	厄除橋	B	生物B	0.006	0.006	0.008	0.003	0.013	イ	
	櫻井川上流	兔田橋	B	生物B	0.007	0.027	0.006	0.003	0.028	イ	
	男里川	男里川橋	A	生物B	0.170	0.048	0.037	0.120	0.042	×	ロ
	金熊寺川	男里橋	A	生物B	0.013	0.004	0.003	0.003	0.016	イ	
	兔砥川	西打合橋	A	生物B	0.015	0.007	0.004	0.006	0.017	イ	
	山中川	東打合橋	A	生物B	0.011	0.006	0.004	0.002	0.009	イ	
	番川	田身輪橋	A	生物B	0.004	0.006	0.003	0.003	0.019	イ	
	大川	昭南橋	A	生物B	0.011	0.004	0.007	0.003	0.014	イ	
	東川	一軒屋橋	A	生物B	0.010	0.005	0.005	0.003	0.013	イ	
	西川	こうや橋	A	生物B	0.008	0.002	0.003	0.004	0.028	イ	

参 考

1	河川の水質環境基準（生活環境の保全に関する項目）	・・・	参 1
2	審議経過	・・・	参 2
3	大阪府環境審議会委員・臨時委員	・・・	参 3
4	水質環境基準部会委員	・・・	参 4
5	河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）（写）	・・・	参 5

1. 河川の水質環境基準（生活環境の保全に関する項目）

BOD等5項目

項目		類型	AA	A	B	C	D	E
		利用目的の適応性	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	工業用水3級 環境保全
基準値	水素イオン濃度 (pH)		6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下
	生物化学的酸素要求量 (BOD)		1 mg/L 以下	2 mg/L 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	10 mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)		25 mg/L 以下	25 mg/L 以下	25 mg/L 以下	50 mg/L 以下	100 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと
	溶存酸素量 (DO)		7.5 mg/L 以上	7.5 mg/L 以上	5 mg/L 以上	5 mg/L 以上	2 mg/L 以上	2 mg/L 以上
	大腸菌群数		50 MPN /100mL 以下	1,000 MPN /100mL 以下	5,000 MPN /100mL 以下	-	-	-

- (注) 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 農業用利水点については、水素イオン濃度 6.0以上7.5以下、溶存酸素量 5mg/L以上とする。
 3 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 4 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈澱ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 5 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 水産3級：コイ、フナ等、 - 中腐水性水域の水産生物用
 6 工業用水1級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの
 7 環境保全：府民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

水生生物の保全に関する項目

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全 垂 鉛
生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下
生物特 B	生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

2 . 審議経過

	開催日等	審議事項
第37回 環境審議会	平成20年 11月7日	河川水質環境基準に係る類型指定について(諮問)
第1回部会	12月1日	BOD等5項目の水質環境基準に関する類型改定の検討 水生生物の保全に係る項目に関する水質環境基準類型 当てはめの検討
第2回部会	平成21年 1月23日	BOD等5項目の水質環境基準に関する類型改定素案の 検討 水生生物の保全に係る項目に関する水質環境基準類型 指定素案の検討
平成21年 2月12日～3月13日		「河川水質環境基準に係る類型指定(素案)」に対する府民 意見等を募集(意見の提出はなし)
第3回部会	平成21年 3月26日	府民意見等の募集結果について 河川水質環境基準に係る類型指定について(報告)
第38回 環境審議会	平成21年 5月11日	河川水質環境基準に係る類型指定について(答申)

3 . 大阪府環境審議会委員・臨時委員

大阪府環境審議会委員

平成21年5月11日現在
(敬称略)

1 . 学識経験のある者(28名)

池田敏雄	(関西大学名誉教授)
池田知隆	(大阪市教育委員会委員長)
石井実	(大阪府立大学大学院教授)
内山巖雄	(京都大学名誉教授)
海老瀬潜一	(摂南大学教授)
奥野武俊	(大阪府立大学学長)
川本信義	(大阪府漁業協同組合連合会代表理事会長)
桑野園子	(大阪大学名誉教授)
佐伯昭子	(情報産業労働組合連合会大阪地区協議会常任幹事)
阪智香	(関西学院大学教授)
酒井英雄	(社団法人大阪府医師会副会長)
笹川悦子	(JA大阪女性協議会副会長)
高橋叡子	(大阪国際文化協会理事長)
辻本智子	(株式会社本智子環境デザイン研究所代表取締役)
津野洋	(京都大学大学院教授)
津留崎直美	(大阪弁護士会所属弁護士)
鳥居春己	(奈良教育大学准教授)
西田賢治	(大阪商工会議所常務理事・事務局長)
花嶋温子	(大阪産業大学講師)
坂東博	(大阪府立大学大学院教授)
古川光和	(大阪府森林組合名誉組合長)
槇村久子	(京都女子大学教授)
増田昇	(大阪府立大学大学院教授)
益田晴恵	(大阪市立大学大学院教授)
又野淳子	(財団法人日本野鳥の会大阪支部会員)
三田村宗樹	(大阪市立大学大学院准教授)
水野稔	(大阪大学名誉教授)
吉川萬里子	(消費生活専門相談員)

2 . 府議会議員（ 6 名 ）

永	野	孝	男	（自由民主党）
宮	本	一	孝	（自由民主党）
橋	本	昇	治	（自由民主党）
西	尾	佳	晃	（民主党・無所属ネット）
野	田	昌	洋	（公明党）
蒲	生		健	（日本共産党）

3 . 市町村長（ 4 名 ）

平	松	邦	夫	（大阪市長）
木	原	敬	介	（堺市長）
中	田	仁	公	（交野市長）
浅	野	克	己	（太子町長）

大阪府環境審議会臨時委員

平成 2 1 年 5 月 1 1 日現在

1 . 関係地方行政機関の長（ 6 名 ）

齊	藤		昭	（近畿農政局長）
平	工	奉	文	（近畿経済産業局長）
木	下	誠	也	（近畿地方整備局長）
各	務	正	人	（近畿運輸局長）
山	内	一	良	（第五管区海上保安本部長）
瀬	川	俊	郎	（近畿地方環境事務所長）

4 . 水質環境計画部会委員

氏 名	役 職	備 考
海老瀬 潜一	摂南大学教授（環境工学）	部会長
益田 晴恵	大阪市立大学大学院教授（地球化学）	部会長代理
以上 環境審議会委員 計 2 名		
池 道彦	大阪大学大学院教授（環境工学）	
大浦 律子	大阪人間科学大学名誉教授（生活環境学）	
平松 和也	大阪府環境農林水産総合研究所主任研究員（水生生物）	
以上 環境審議会専門委員 計 3 名		
合 計 5 名		

5 . 河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）（写）

写

環保第1950号
平成20年11月7日

大阪府環境審議会会長 様

大 阪 府 知



河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）

河川水質環境基準に係る類型指定にあたり、水質汚濁防止法（昭和45年法律第138号）第21条第1項の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

(説 明)

1 水質汚濁に係る環境基準について

水質汚濁に関する環境基準は、環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づき、昭和46年環境庁告示第59号「水質汚濁に係る環境基準について」により、人の健康の保護、及び生活環境の保全に関する環境基準が定められています。

このうち、生活環境の保全に関する環境基準は、水域の利用目的に対応して複数の類型が設けられており、個々の水域にいずれかの類型をあてはめることになっています。

類型指定については、2以上の都道府県の区域にわたる水域であって政令で定められたものについては政府が、それ以外の水域については都道府県知事が行うこととされており、水域の利用目的や水質汚濁の状況等、事情の変化に応じて適宜改定することとされています。

2 類型指定の見直し等について

現在、大阪府は、生活環境の保全に関する環境基準について、64河川73水域に対して類型指定を行っています。類型指定については、平成15年5月の見直し以降5年が経過しており、より一層の水質保全を図るために、水域の利用目的や水質汚濁の状況等の変化を踏まえて適切な見直しを行う必要があります。

また、生活環境の保全に関する環境基準については、平成15年11月に水生生物保全の観点からの項目が追加設定されたことから、類型を新たに指定する必要があります。

このため、水質汚濁防止法第21条第1項の規定に基づき、府内河川の類型指定について貴審議会の意見を求めるものです。